

平成26年度 第5次福生市行政改革大綱推進計画 実施状況（総括表）

所管部署（課長）	重点 項目 番号	取 組 事 項 番 号	推 進 事 項 番 号	推 進 事 項 番 号	推 進 事 項	達 成 指 標	進 捗 評 価	個 票 ペ ー ジ
企画調整課長	(1)	①	1	1	本部長制の推進	本部長制の実施	A	P. 4
企画調整課長	(1)	①	2	1	効果・効率的な組織の検討	組織改正の実施	A	P. 5
職員課長	(1)	①	2	2	効果・効率的な勤務形態の検討	市職員の年次有給取得率100%	A	P. 6
企画調整課長	(1)	②	1	1	定員適正化計画の推進	平成27年度職員数 370名以内	B	P. 7
職員課長	(1)	②	2	1	職員採用計画の推進	平成27年度職員数 370名以内	A	P. 8
職員課長	(1)	②	2	2	人材発掘策の検討・導入	前年比受験者数	A	P. 9
企画調整課長	(1)	③	1	1	情報共有システムの徹底	情報共有の継続実施	A	P. 10
企画調整課長	(1)	③	2	1	庁議等の経営会議の電子化の推進	電子会議の実施回数	A	P. 11
企画調整課長	(1)	③	2	2	会議におけるコスト意識の徹底	会議に係るコストの明示	B	P. 12
企画調整課長	(1)	③	3	1	進行管理の徹底	進捗率100%以上 進捗状況の公表	A	P. 13
企画調整課長	(1)	③	4	1	各部経営方針(インナーマニフェスト)の検討	インナーマニフェストの実施	B	P. 14
企画調整課長	(1)	③	4	2	各部の執行責任の強化	事業部制の実施	C	P. 15
財政課長	(2)	①	1	1	予算編成方法の見直し	枠配分方式の実施	B	P. 16
財政課長	(2)	①	2	1	財政計画の策定	実施	B	P. 17
財政課長	(2)	①	2	2	財政状況の分析とわかりやすい公表	バランスシート、行政コスト計算書の作成及び 公表	B	P. 18
監査事務局長	(2)	①	2	3	監査機能の強化	実施	A	P. 19
契約管財課長	(2)	①	2	4	入札・契約方式の見直し	実施	A	P. 20
財政課長	(2)	①	3	1	公会計制度改革の推進	新地方公会計制度の導入	A	P. 21
◆全課長 (企画調整課長)	(2)	①	4	1	経費節減策の検討	業務改善事例集の作成	A	P. 22
職員課長	(2)	②	1	1	給与・退職金水準の適正化	実施	A	P. 23
職員課長	(2)	②	1	2	給与制度の適正化	実施	A	P. 24
職員課長	(2)	②	1	3	委員報酬等の検討	委員報酬等	A	P. 25
職員課長	(2)	②	1	4	福利厚生事業の見直し	実施	A	P. 26
職員課長	(2)	②	2	1	職員数・給与等の状況のわかりやすい公表	実施	A	P. 27
企画調整課長 秘書広報課長	(2)	③	1	1	広告収入の積極的な確保	新規広告媒体数	A	P. 28
企画調整課長 契約管財課長 ※各施設所管課長	(2)	③	1	2	行政財産使用に係る見直し	実施	A	P. 29
収納課長 課税課長 保険年金課長 介護福祉課長 子ども育成課長 まちづくり計画課長 学校給食課長	(2)	③	2	1	市税等収納率向上対策	前年度収納率	A	P. 30
収納課長 課税課長	(2)	③	3	1	納税意識の啓発	前年度収納率	A	P. 31

所管部署（課長）	重点項目番号	取組事項番号	推進項目番号	推進事項番号	推進事項	達成指標	進捗評価	個票ページ
企画調整課長 ----- 財政課長 ----- ※各担当課長	(2)	③	4	1	国・都の補助金等の有効な活用	実施	A	P. 32
財政課長 ----- ※各担当課長	(2)	④	1	1	使用料及び手数料等の見直し	使用料等減免基準の策定	C	P. 33
企画調整課長 ----- ※各担当課長	(2)	④	1	2	公共施設の駐車場の有料化の検討及び導入	有料化の実施	達成	P. 34
企画調整課長 ----- 財政課長 ----- ※各担当課長	(2)	⑤	1	1	補助金及び負担金の適正化	補助金等の見直しの実施	A	P. 35
企画調整課長	(2)	⑥	1	1	公共施設の有効利用の検討	施設白書の作成	B	P. 36
施設課長 ----- 都市建設部主幹	(2)	⑥	2	1	公共施設延命化施策の検討	施設の延命化の実施	B	P. 37
企画調整課長 ----- 契約管財課長 ----- まちづくり計画課長	(2)	⑥	3	1	未利用地の有効利用の検討	未利用地の有効利用	B	P. 38
企画調整課長	(3)	①	1	1	行政マネジメントサイクルによる事業の見直しの推進	実施	B	P. 39
企画調整課長	(3)	①	2	1	職員提案制度の推進	職員提案数前年比増	B	P. 40
企画調整課長	(3)	②	1	1	市の関与基準の策定	関与基準の策定	C	P. 41
◆全課長	(3)	②	1	2	アウトソーシングの推進	実施	B	P. 42
子ども育成課長	(3)	②	1	3	公設保育園の民営化	すみれ保育園移管(平成25年4月1日)	達成	P. 43
企画調整課長	(3)	②	1	4	民間提案型業務改善制度の検討	民間提案型業務改善制度の導入	C	P. 44
企画調整課長 ----- ※指定管理者導入施設所管課長	(3)	②	1	5	指定管理者制度の新規導入と適切な更新	指定管理者制度の新規導入及び更新	A	P. 45
企画調整課長 ----- ※指定管理者導入施設所管課長	(3)	②	1	6	指定管理者に対するモニタリングの強化	モニタリングに関する指針の策定と実施	A	P. 46
企画調整課長	(3)	③	1	1	予算・決算・評価がリンクした行政評価システムの推進	施策評価の実施	A	P. 47
契約管財課長	(3)	④	1	1	総合評価落札方式の導入	総合評価落札方式の実施	B	P. 48
総合窓口課長 ----- 職員課長 ----- 秘書広報課長	(3)	④	1	2	接遇等市民サービスの向上	実施	A	P. 49
企画調整課長	(3)	④	1	3	時間外開庁の効率的な実施	実施	A	P. 50
企画調整課長	(3)	④	1	4	広域的な連携の検討・推進	実施	A	P. 51
総務課長	(3)	⑤	1	1	電子決裁システムの活用	電子決済の実施	B	P. 52
情報システム課長	(3)	⑤	1	2	システムと運用手法の最適化に関する検討	実施	A	P. 53
情報システム課長	(3)	⑤	1	3	庁内情報のICTによる統合化の推進	検討内容の報告	A	P. 54
※各担当課長	(3)	⑤	1	4	ICT化された事務の検証と改善 ※業務システム導入課は全て対象	実施	B	P. 55
情報システム課長	(3)	⑤	1	5	情報セキュリティ対策の強化	情報セキュリティポリシーの改定と実施	A	P. 56
◆全課長	(3)	⑤	1	6	職員向け内部資料のペーパーレス化の推進	実施	B	P. 57
秘書広報課長	(4)	①	1	1	パブリシティの推進	マスメディアへの発信数	A	P. 58
生活環境部主幹	(4)	①	1	2	まちの魅力に関する情報発信	実施	B	P. 59
協働推進課長	(4)	①	1	3	市政出前講座の推進	年間30回以上実施	A	P. 60
秘書広報課長	(4)	①	1	4	ホームページのリニューアル	ホームページのリニューアル	達成	P. 61
企画調整課長 ----- ※各担当課長	(4)	①	2	1	パブリックコメントの推進	検討内容の報告と実施	A	P. 62
◆全課長	(4)	①	3	1	情報公開の推進	実施	B	P. 63
企画調整課長	(4)	①	4	1	自治基本条例制定の検討	検討内容の報告	B	P. 64

所管部署（課長）	重点項目番号	取組事項番号	推進項目番号	推進事項番号	推進事項	達成指標	進捗評価	個票ページ
秘書広報課長	(4)	②	1	1	タウンミーティングの実施	タウンミーティングの実施	A	P. 65
企画調整課長 ----- 秘書広報課長	(4)	②	1	2	市民意識の的確な把握	市政世論調査および市民満足度調査の実施	達成	P. 66
職員課長	(5)	①	1	1	人材育成推進計画の策定・推進	各項目の実施	A	P. 67
職員課長	(5)	①	1	2	人事考課制度の充実	実施	A	P. 68
職員課長	(5)	①	1	3	知識・技術の確実な継承	実施	A	P. 69
職員課長	(5)	①	1	4	職場内研修(OJT)の充実	実施	A	P. 70
職員課長	(5)	①	1	5	職場外研修の充実	実施	A	P. 71
職員課長	(5)	①	1	6	職員の地域活動等への参加促進	地域活動等への参加数	A	P. 72
職員課長	(5)	①	1	7	自己啓発支援制度の検討	検討内容の報告	A	P. 73
職員課長	(5)	①	1	8	職員のジョブローテーションの確立	検討内容の報告とモデルの設定	B	P. 74

平成26年度推進事項数：71 進捗評価内訳 A：43 B：20 C：4 達成：4

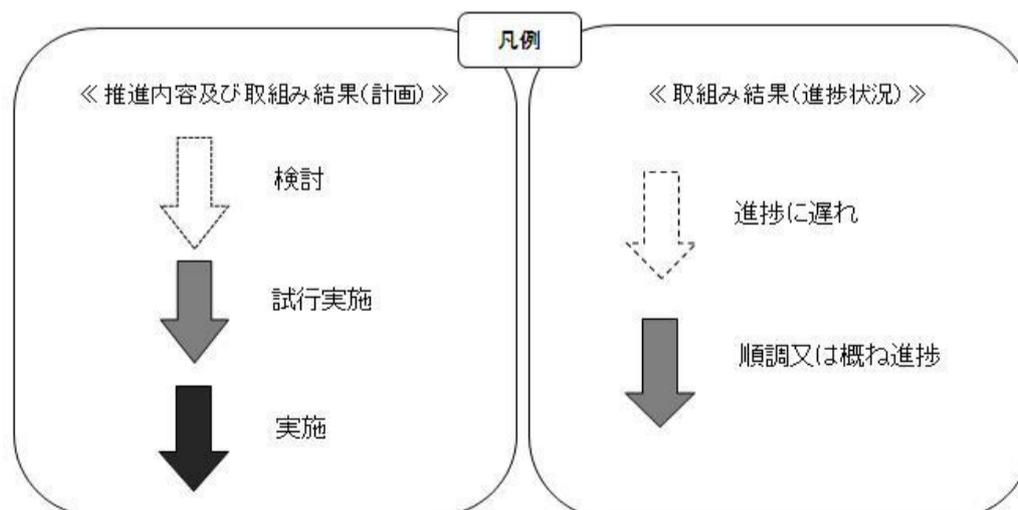
進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満) 達成:推進内容が終了したものの

(1) 横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立

① 組織編成の見直し

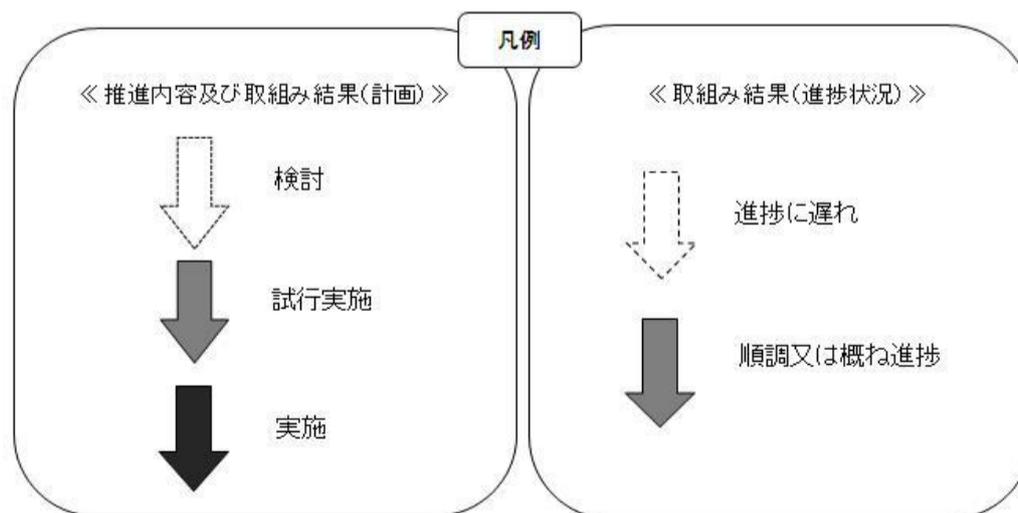
重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進責任者	企画調整課長
取組事項	①	組織編成の見直し		
推進項目	1	横断的組織の充実		
推進事項	1	本部長制の推進		
取組内容	組織を横断した政策課題を解決するため、本部長制及び政策課題別チームの体制を推進します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	本部長制及び政策課題別チームの体制を推進します。			実施
24	継続して実施します。			実施
25	継続して実施します。			実施
26	継続して実施します。			実施
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			市税の収納や環境など横断的政策課題を円滑に推進するため本部長制を活用し検討しました。また、政策課題別チームにおいては、指定管理者モニタリングの指針について検討しました。	A
24			横断的政策課題を円滑に推進するため本部長制を活用し検討しました。また、政策課題別チームにおいては、指定管理者モニタリングの指針を策定しました。	A
25			政策課題別チームにおいて、まちづくり総合活性化、エネルギーの地産地消、プレイパークがそれぞれ研究等を行いました。	A
26			政策課題別チームや調整会議を積極的に実施した結果、組織における横断的機能が充実してきたため、本部長制を発展的に廃止しました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



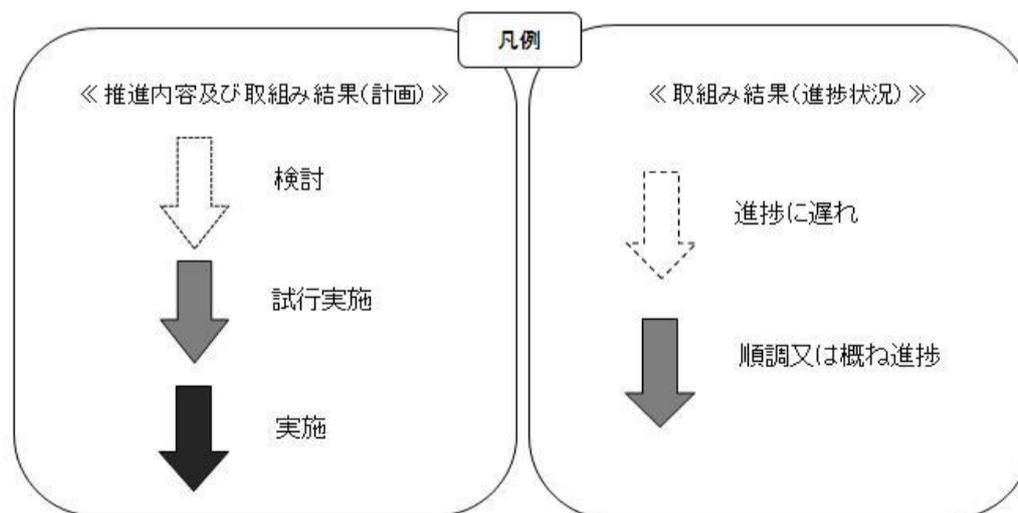
重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	①	組織編成の見直し		
推進項目	2	効果を最大限に引き出す組織の検討		
推進事項	1	効果・効率的な組織の検討		
取組内容	限られた人的資源を有効に活用する視点から、従来の組織形態を見直し、効果・効率的かつ地域主権改革にも対応可能な組織体制を検討します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	組織等検討委員会において、地域主権改革の動向を見ながら、より効果・効率的な組織体制を検討し、グループ制、組織のフラット化等を含めて組織改正を実施します。	組織改正の検討と実施	
24		継続して実施します。	組織改正の検討と実施	
25		継続して実施します。	組織改正の検討と実施	
26		継続して実施します。	組織改正の検討と実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	組織等検討委員会において、地域主権改革や安全・安心なまちづくり、国体開催準備といった諸課題に対応すべく組織体制を検討し組織改正を実施しました。	A
24			組織等検討委員会を恒常的な設置とし、毎年度における様々な政策課題等に取り組む効率的な組織体制を検討することとしました。	A
25			平成25年度から効率的な組織編成に資するため、組織等検討委員会を常設とし、合計5回開催しました。	A
26			様々な課題に対応するため、組織等検討委員会を6回開催し、新たな組織を創設するなど、効果・効率的な編成を行いました。	A

進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進 責任者	職員課長
取組事項	①	組織編成の見直し		
推進項目	2	効果を最大限に引き出す組織の検討		
推進事項	2	効果・効率的な勤務形態の検討		
取組内容	ワーク・ライフ・バランスを推進しつつ、組織の効果・効率的な体制により円滑に事務事業が推進できるように、業務内容に合わせ、フレックスタイム制、在宅勤務、有給休暇の事前指定（登録）制度、長期有給休暇の取得促進策等、様々な勤務形態を検討した上で、働き方の改革を進めます。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	時差出勤制度導入の効果について検証します。併せて、より柔軟な勤務形態がとれるような仕組みを検討し、環境整備を行います。		検討内容の報告
24				
25	↓	ワーク・ライフ・バランスと両立された効果、効率的な働き方を推進します。		実施
26				
26		継続して実施します。		市職員の年次有給休暇取得率 100%
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	時差出勤制度導入の効果としては、制度の定着が図られ、事務事業を円滑に実施できる効率的な実施体制が組み立てられていますが、より柔軟な勤務形態がとれるような仕組みの検討には至りませんでした。	B
24			時間外開庁により時差出勤制度の定着が図られたことにより、各部署において事務事業を円滑に実施できる効率的な実施体制を組むことが可能になりました。	A
25			時差出勤制度の定着が図られ、事務事業を円滑に実施できる効率的な実施体制を組むことができました。	A
26			時差出勤制度の定着が図られ、事務事業を円滑に実施できる効率的な実施体制を組むことができました。	A

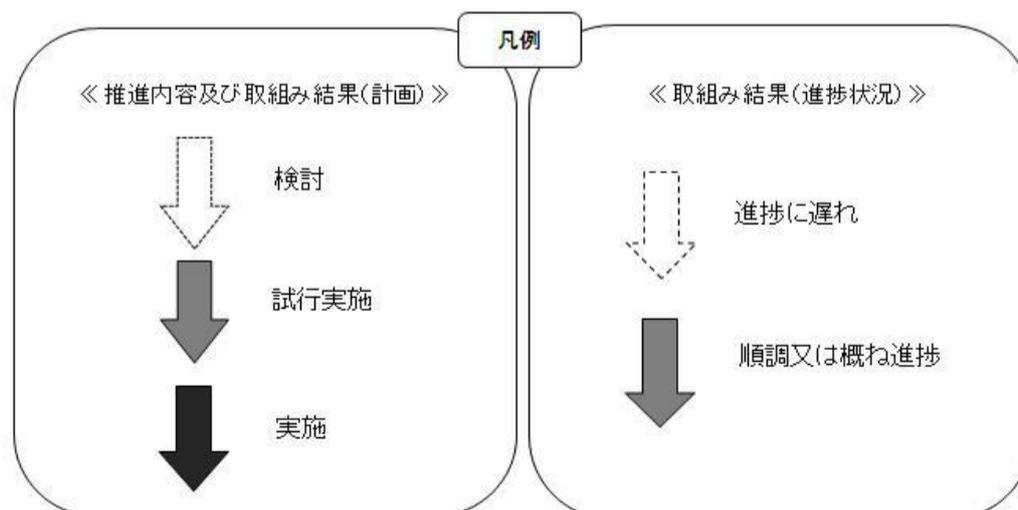
進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)

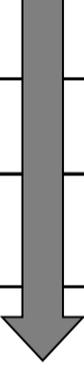
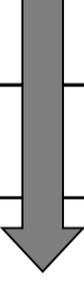
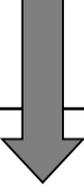


②定員管理の適正化

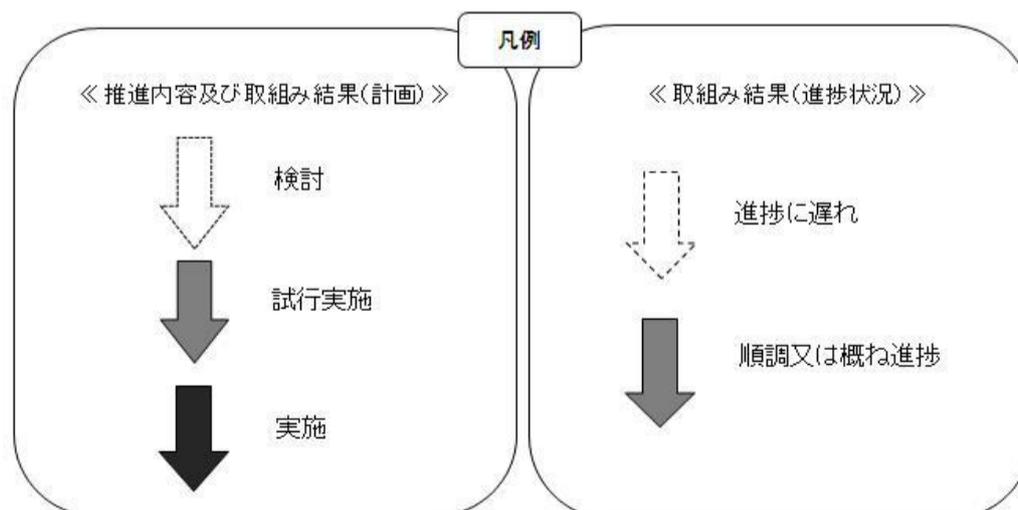
重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進責任者	企画調整課長
取組事項	②	定員管理の適正化		
推進項目	1	定員適正化計画の見直し		
推進事項	1	定員適正化計画の推進		
取組内容	地域主権改革に伴う権限移譲の動向を踏まえ、事務事業の整理、民間活力の導入などの取組と組織の合理化により、適正な定員管理を行います。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		地域主権改革に伴う権限移譲の動向を踏まえ、将来的な職員の退職、採用、組織の合理化、民間委託の推進等、併せて将来的な職員の退職を考慮して、定員の適正化を図ります。		H23. 4. 1現在 職員数375名
24		定員の適正化を図ります。		進捗状況の報告
25		継続して実施します。		進捗状況の報告
26		継続して実施します。		H27. 4. 1現在 職員数 370名以内
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			地域主権改革に伴う権限移譲の動向や将来的な職員の退職などを踏まえ、翌年度職員数を379名としました（職員数4名増）。	B
24			地域主権改革に伴う権限移譲の動向や将来的な職員の退職などを踏まえ、翌年度職員数を377名としました（職員数2名減）。	A
25			将来的な職員の大量退職を考慮しつつ、目標値である平成27年4月1日現在の職員数370名以内を達成しました（平成26年4月1日現在370名）。	A
26			地域主権改革に伴う権限委譲に対応するため組織の合理化を推進し、定員の適正化を図りましたが、平成27年度は地域包括支援センターや生活困窮者対策等に人員を配置する必要があることから2名増としました。（平成27年4月1日現在372名）。	B

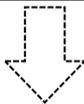
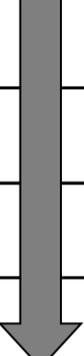
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



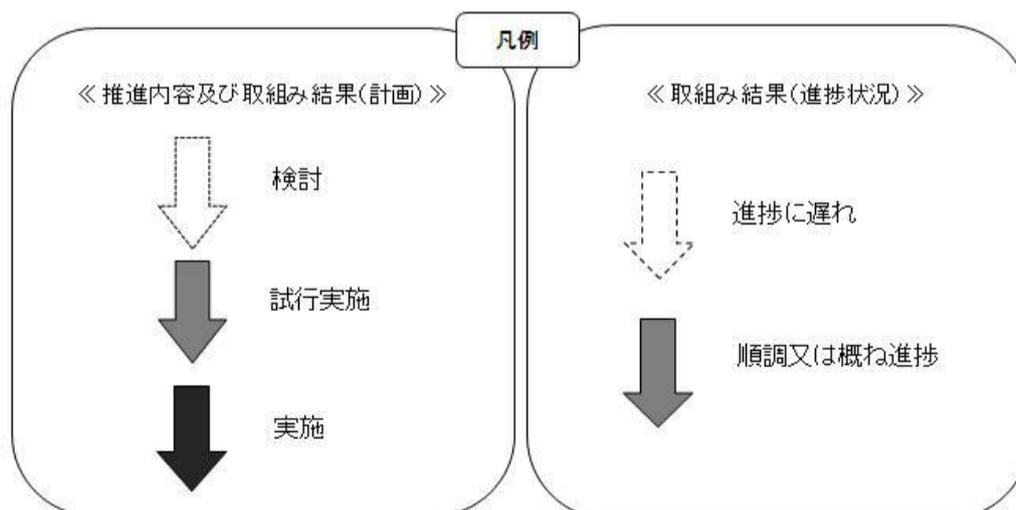
重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進 責任者	職員課長
取組事項	②	定員管理の適正化		
推進項目	2	職員採用計画の推進		
推進事項	1	職員採用計画の推進		
取組内容	団塊の世代の職員や行政拡張期に採用した職員の大量退職期を迎えることを考慮し、定員の適正化を踏まえた職員採用計画を推進します。また、専門的な資格を持つ人材や職種についても検討して採用します。			
年度	推進内容			目標・指標等
23		定員の適正化を踏まえた職員採用計画を策定します。 (定年退職者数8名)		計画の策定
24		職員採用計画を推進します。(定年退職者数10名)		進捗状況の報告
25		職員採用計画を推進します。(定年退職者数26名)		進捗状況の報告
26		職員採用計画を推進します。(定年退職者数28名)		H27.4.1現在 職員数 370名以内
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			定年退職者に加え、勸奨退職者が増加する傾向があることや再任用制度により退職者の継続雇用を制度化する動きがあるため、職員採用計画の策定を先送りとしました。	B
24			定年退職者が増加する傾向があることや、雇用と年金の接続の問題から再任用制度により、退職者を年金受給時期まで雇用する制度化の動きがあるため、職員採用計画の策定を先送りとしました。	B
25			職員の本格的な大量退職期を迎え、再任用制度を活用するとともに職員の年齢構成を考慮した職員採用を計画的に実施しました。また、一般事務として専門的な資格を持つ職員の採用(建築、司書)を行うとともにより高度な専門的知識、経験を有した職員を採用するため、特定任期付職員の採用を行いました。	B
26			職員の大量退職期を乗り切るため、再任用制度を活用するとともに職員の年齢構成を考慮した職員採用を計画的に実施し、平成27年4月1日現在の職員数(再任用職員を除く)を363名としました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進 責任者	職員課長
取組事項	②	定員管理の適正化		
推進項目	2	職員採用計画の推進		
推進事項	2	人材発掘策の検討・導入		
取組内容	新規受験者を増やし、行政運営を担う優秀な人材を確保するための積極的な方策（インターンシップ、就職説明会、経験者採用等）について検討し、導入します。			
年度	推進内容			目標・指標等
23		新規受験者を増やし、行政運営を担う優秀な人材を確保するための積極的な方策（インターンシップ、就職説明会、経験者採用等）について検討し、実施案を作成します。	実施案の作成	
24		人材発掘策を実施します。	前年比 受験者数増	
25		継続して実施します。	前年比 受験者数増	
26		継続して実施します。	前年比 受験者数増	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			職員採用案内を新たに作成するとともに職員採用専用サイトをホームページ内に立ち上げ、積極的な情報提供を行いました。また、東京都しごとセンターの就職面接会に参加し、職員採用情報の提供を行いました。	A
24			職員採用案内（パンフレット）を充実させ、多摩地区の大学のキャリアセンターへの訪問や採用説明会を開催することで、市のPRと職員採用情報の提供を行い、前年を上回る受験者数とすることができました。	A
25			職員採用案内（パンフレット）を充実させ、前年度より多くの多摩地区の大学のキャリアセンターを訪問することや採用説明会を開催することで、市のPRと職員採用情報の提供を行いました。前年を上回る受験者数とすることはできませんでした。	B
26			職員採用案内（パンフレット）を充実させ、多摩地区の大学のキャリアセンターへの訪問や採用説明会を開催することで、市のPRと職員採用情報の提供を行い、前年を上回る受験者数とすることができました。	A

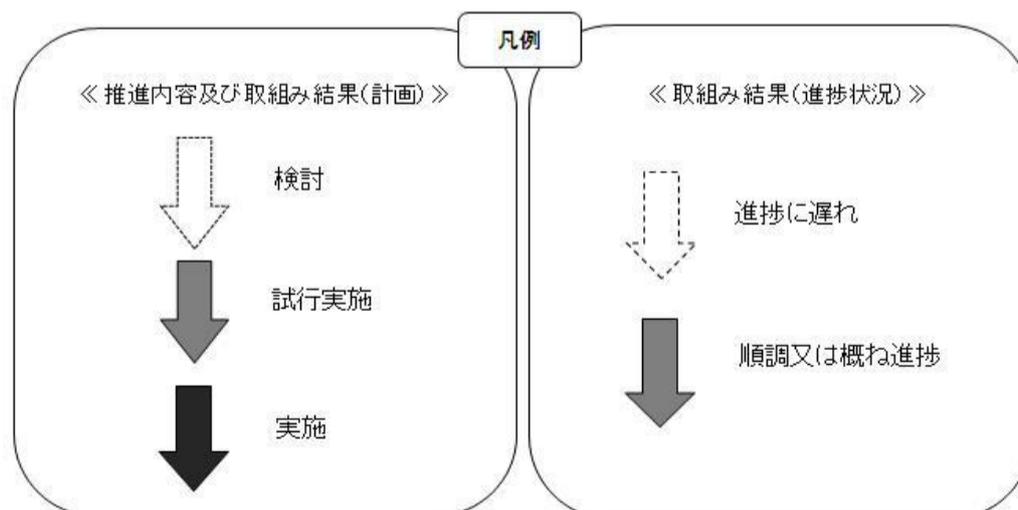
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)

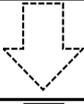
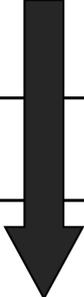
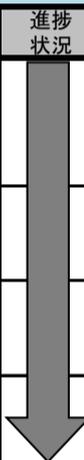


③ トップマネジメントの強化

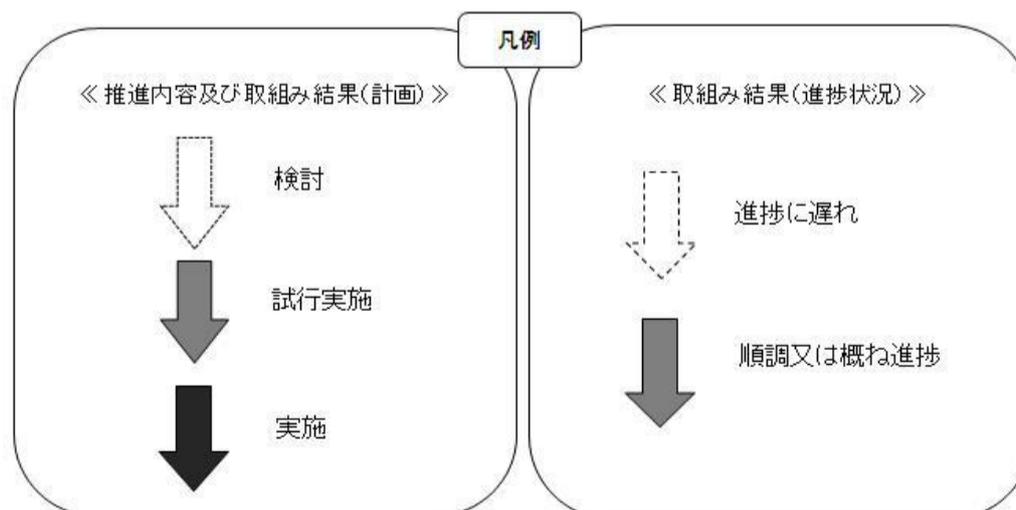
重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	③	トップマネジメントの強化		
推進項目	1	情報共有システムの徹底		
推進事項	1	情報共有システムの徹底		
取組内容	職員からトップへ、トップから職員への情報の共有化を徹底し、トップマネジメントを強化します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		各部の目標、重点事務事業等についてトップと協議します。また、各部の目標等を情報共有システムに掲載し、トップマネジメントを強化できる環境整備の充実を図ります。		会議の開催 システムへの掲載
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			年度当初に理事者との情報交換会を開催し、各部の目標、重点事務事業等について理事者と協議しました。また、部の目標や方針が明確になるよう様式の一部を見直しました。	A
24			年度当初に理事者との情報交換会を開催し、各部の目標、重点事務事業等について理事者と協議しました。	A
25			4月に理事者との情報交換会を実施しました。また、各部課の運営方針等を庁内キャビネットで公開し、全職員の共通認識としました。	A
26			年度当初に理事者との情報交換会を開催し、各部の目標等について理事者と協議した案件の中から各課の重点事務事業を選定することにより、トップマネジメントを強化しました。	A

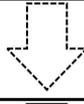
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



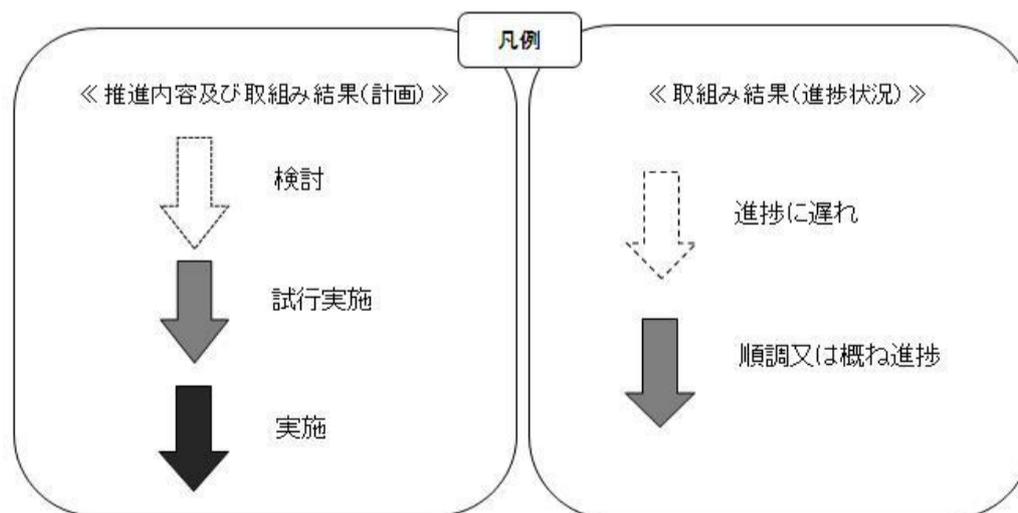
重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	③	トップマネジメントの強化		
推進項目	2	庁議等の経営会議の活性化・効率化		
推進事項	1	庁議等の経営会議の電子化の推進		
取組内容	庁議等の経営会議において、トップマネジメントが強化され、より活発な議論が可能となるよう、電子庁議等の実施方法を改善します。 また、紙媒体で行っている庁内会議についても電子化を推進します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		電子庁議等の実施方法の見直しについて検討します。	改善案の作成	
24		改善案に基づき、実施します。また、新たに他の庁内会議において、電子会議を実施します。	実施 電子会議数	
25		継続して実施します。	実施 電子会議数	
26		継続して実施します。	実施 電子会議数	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			庁議及び施策検討会において、可能な限り資料の電子化に努め、活発な議論が可能となるよう操作性の向上を図りました。また、新たに行政改革本部会議において資料の電子化を実施しました。なお、機器の更新やソフトの改善を検討しましたが、改善策の作成には至りませんでした。	B
24			庁議及び施策検討会等において、可能な限り資料の電子化に努め、活発な議論が可能となるよう操作性の向上を図りました。また例規審議会など他の庁内会議においても電子会議を実施しました。	A
25			引き続き、他の庁内会議も含めて資料の電子化を推進しました。	A
26			引き続き電子会議を推進しました。また、会議用端末を更新する必要性が生じていることから、今後の電子会議の方向性について検討しました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



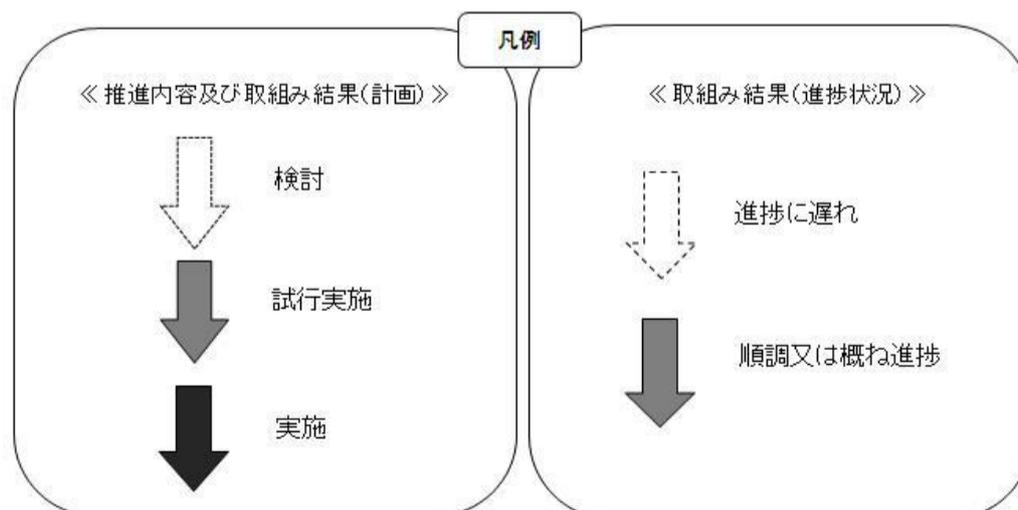
重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	③	トップマネジメントの強化		
推進項目	2	庁議等の経営会議の活性化・効率化		
推進事項	2	会議におけるコスト意識の徹底		
取組内容	会議効率化のポイントを取りまとめて市のモデル会議を設定し、庁内に浸透させることで、会議に対するコスト意識を職員に持たせ、会議の活性化と効率化を実現します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		会議効率化のポイントについてとりまとめ、会議開催時に、会議に要する人件費、光熱費、会議資料代等のコストを明示する手法について検討します。	モデル会議の設定 コスト明示策 の作成	
24		モデル会議を浸透させるため、開催案内等に明記を義務付けるなど、浸透策を検討し、徹底します。	実施会議数	
25		継続して実施します。	実施会議数	
26		継続して実施します。	実施会議数	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			会議にかかるコスト意識を持たせる取り組みについて情報収集を行いました が、具体的方策の作成までは至りませんでした。	C
24			会議にかかるコスト意識を持たせる取り組みについて検討を行いました が、統一的なコスト基準の策定まで至りませんでした。	C
25			会議に係るコストを試算し、具体的な金額を行政改革推進本部会議にて提示 しました。	B
26			引き続き会議におけるコスト意識の浸透を図ったほか、各種会議自体の必 要性について再検討しました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



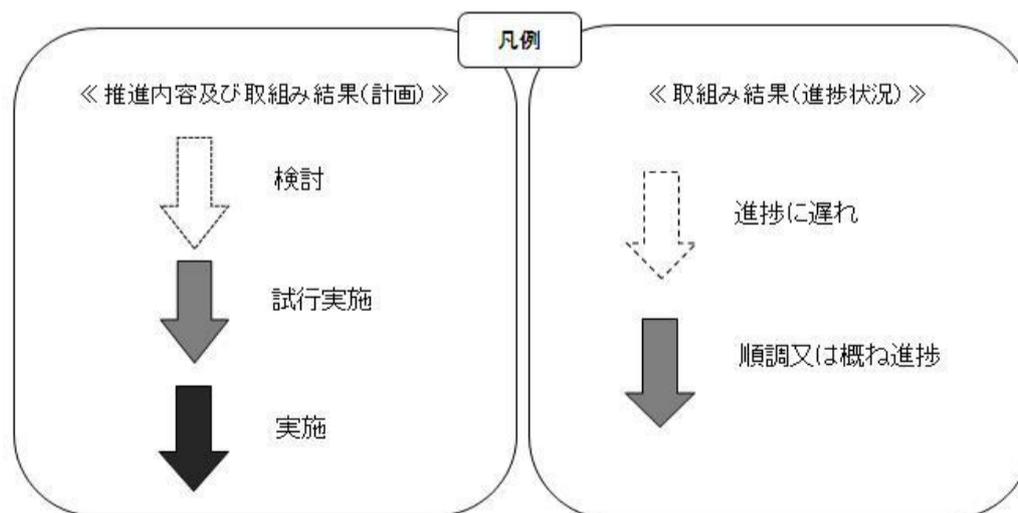
重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	③	トップマネジメントの強化		
推進項目	3	進行管理の徹底		
推進事項	1	進行管理の徹底		
取組内容	福生市総合計画進行管理要綱に基づき、重点事務事業の進行管理を行います。進捗状況については、市民に分かりやすく公表します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	重点事務事業進行管理を実施します。	進捗率100%以上	
24		重点事務事業進行管理を継続して実施します。 また、各部経営方針（インナーマニフェスト）の試行実施結果を踏まえて、重点事務事業の進捗状況を市民に分かりやすく公表します。	進捗率100%以上 進捗状況の公表	
25		継続して実施します。	進捗率100%以上 進捗状況の公表	
26		継続して実施します。	進捗率100%以上 進捗状況の公表	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	各課の重点事務事業について、四半期ごとに進捗状況調査を行い、計画的に進行管理を実施しました。	A
24			各課の重点事務事業について、四半期ごとに進捗状況調査を行い、計画的に進行管理を実施しました。	A
25			各課の重点事務事業について、四半期ごとに進捗状況調査を行い、計画的に進行管理を実施しました。	A
26			各課の重点事務事業について、四半期ごとに進捗状況調査を行い、計画的に進行管理を実施しました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



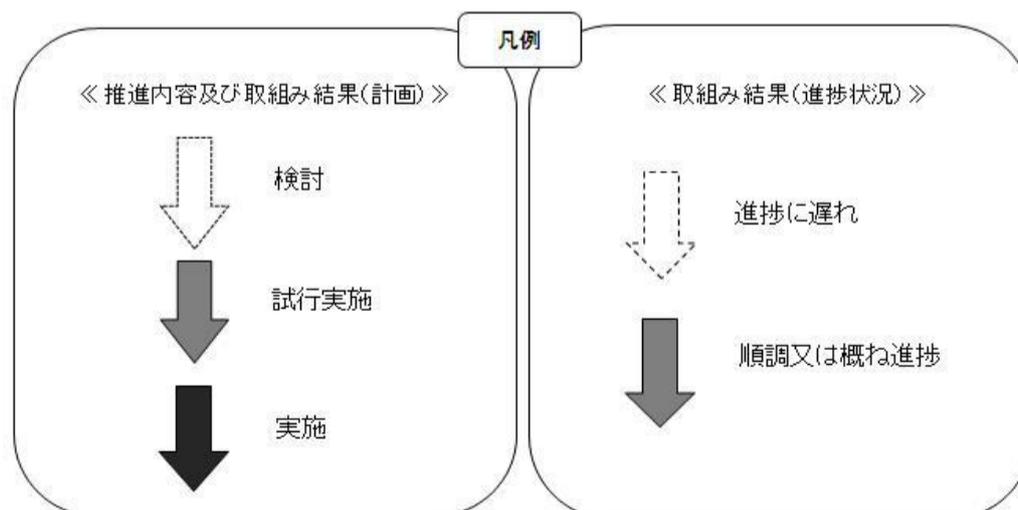
重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進 責任 者	企画調整課長
取組事項	③	トップマネジメントの強化		
推進項目	4	各部の執行責任の強化		
推進事項	1	各部経営方針(インナーマニフェスト)の検討		
取組内容	各部が責任をもって、トップの方針や総合計画を着実に推進するための手段として、各部長が重点的に取り組む課題を示した各部経営方針(インナーマニフェスト)の導入について検討します			
年度	推進内容			目標,指標等
23		各部経営方針(インナーマニフェスト)の導入について検討し、試行実施します。	実施案の作成 試行実施	
24		試行実施結果を踏まえて、各部経営方針(インナーマニフェスト)を実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			インナーマニフェストの実施を見据え、理事者との情報交換の様式を変更し、各部の運営方針を示す項目を追加しました。インナーマニフェストの試行実施には至りませんでした。	C
24			理事者との情報交換の重要性を更に高めるため、これに伴う様式の見直しと、各部の運営方針及び実施状況を報告する仕組みを検討しました。	B
25			全職員の共通認識とするため、各部課の運営方針等を庁内キャビネットで公開しました。また、年度末には運営方針等の総括も行いました。	B
26			検討した結果、インナーマニフェストとしての導入には至りませんでした。が、理事者との情報交換会を充実させることにより、トップの方針や総合計画を着実に推進することが出来ました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(1)	横断的かつ迅速に対応できる組織・執行体制の確立	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	③	トップマネジメントの強化		
推進項目	4	各部の執行責任の強化		
推進事項	2	各部の執行責任の強化		
取組内容	意思形成過程を簡素化し、スピーディーに対応できるように、政策立案、実施計画の事業部による権限を強化します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		実施計画に関する説明権限等、事業部制の強化とスピーディーな対応を図るため、実施計画の策定における係わり方を検討します。	見直し案の策定	
24		検討結果に基づく事業部制の在り方を検討し、試行実施します。	試行実施	
25		試行実施結果を踏まえ、実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			職員課と連携し、政策立案、実施計画の作成などに若手職員が携われるような取り組みについて検討しました。	B
24			職員課と連携し、政策立案、実施計画の作成などに若手職員が携われるような取り組みについて検討しましたが、試行実施までには至りませんでした。	B
25			実施計画における担当部署の係わり方について検討しましたが、説明権限の変更や意思形成過程の簡素化には至りませんでした。	C
26			事業部における権限強化には至りませんでした。実施計画の今後のあり方について多角的に検討しました。	C

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)

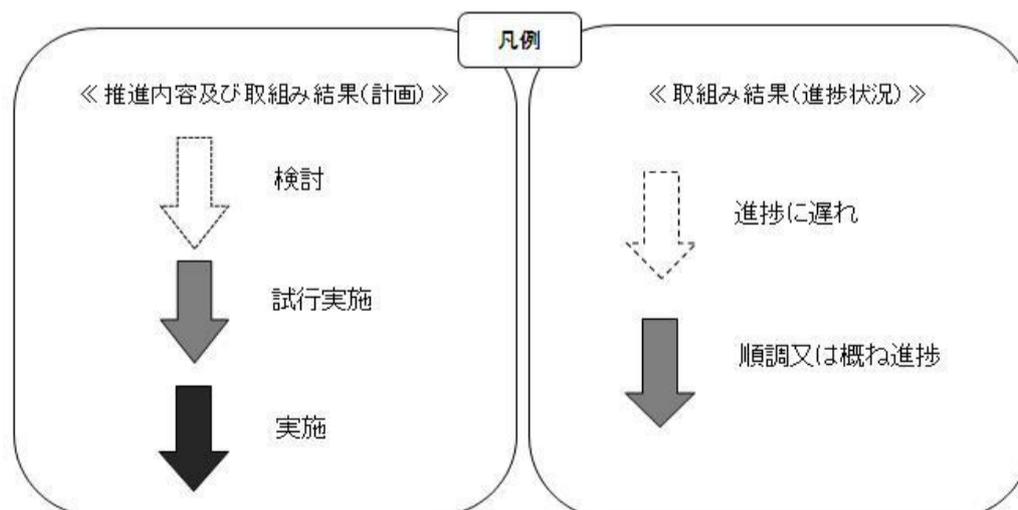


## (2) 自律性の高い財政運営

### ① 経常経費の節減

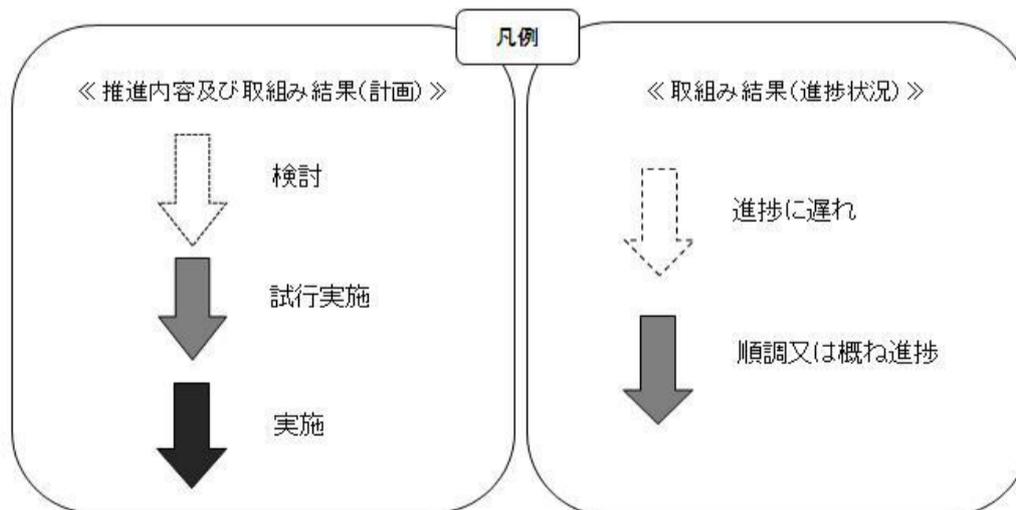
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進責任者	財政課長
取組事項	①	経常経費の節減		
推進項目	1	予算編成方法の見直し		
推進事項	1	予算編成方法の見直し		
取組内容	行政需要に応えるとともに、限られた財源を効果的・効率的に配分するため、予算編成方法を見直します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	予算の枠配分方式など、効果的・効率的な予算編成方法を検討し、実施します。			実施
24	継続して実施します。			実施
25	継続して実施します。			実施
26	継続して実施します。			実施
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			平成24年度当初予算編成において、枠配分に補助金等を加え、これまで以上の精査を行い、経常的な補助金等の削減に取り組みました。	B
24			平成25年度当初予算編成において、今までの枠配分方式の再検証を行うため、一件査定による予算編成を行い枠内事業の精査を行うとともに、経常経費の更なる削減に取り組みました。	B
25			平成25年度当初予算編成に引き続き、一件査定による予算編成を行い枠内事業の精査を行うとともに、経常経費の更なる削減に取り組みました。	B
26			平成25年度当初予算編成に引き続き、一件査定による予算編成を行い枠内事業の精査を行うとともに、経常経費の更なる削減に取り組みました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



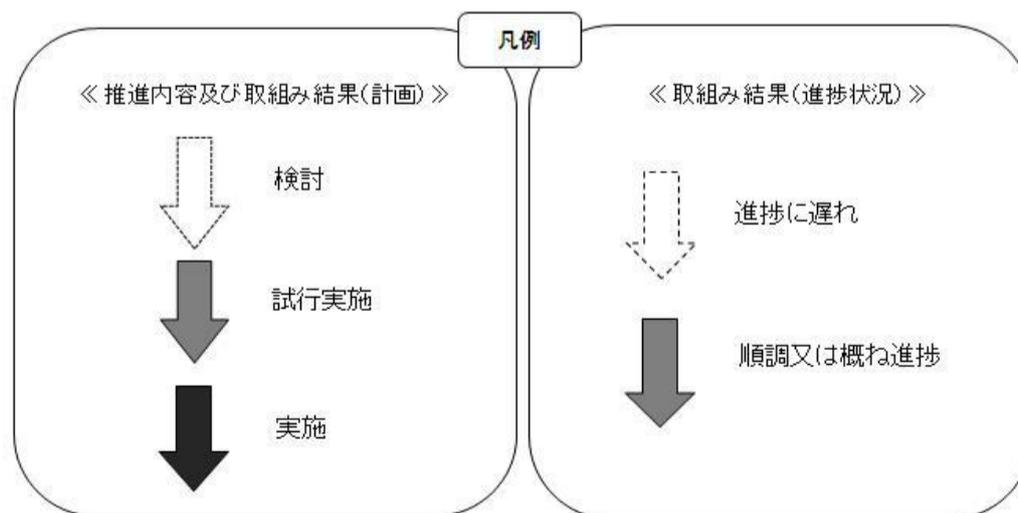
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進責任者	財政課長
取組事項	①	経常経費の節減		
推進項目	2	財政運営の健全化		
推進事項	1	財政計画の策定		
取組内容	財政状況を分析し、歳出全般の効率化を図るため、財政計画を策定し、健全な財政運営に努めていきます。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	財政状況を分析し、歳出全般の効率化を図るため、財政計画を策定し、健全な財政運営に努めていきます。		策定及び実施
24		計画に基づき、健全な財政運営に努めていきます。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	第5次行政改革大綱等に基づいた平成26年度までの財政計画を盛り込んだ財政白書を策定し、今後の健全な財政運営に向けた対策等を取りまとめました。	B
24			平成25年度当初予算において、予算規模を前年度比3億4,700万円マイナスとし、大規模事業を除くと201億6,731万円となり、行政改革大綱の目標数値内となっています。	B
25			平成26年度当初において、大規模事業を除いた予算規模が212億円となり、行政改革大綱の目標数値内となっています。	B
26			平成27年度当初において、大規模事業を除いた予算規模が217億円となり、行政改革大綱の目標数値を達成することができませんでしたが、健全な財政運営に努めました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



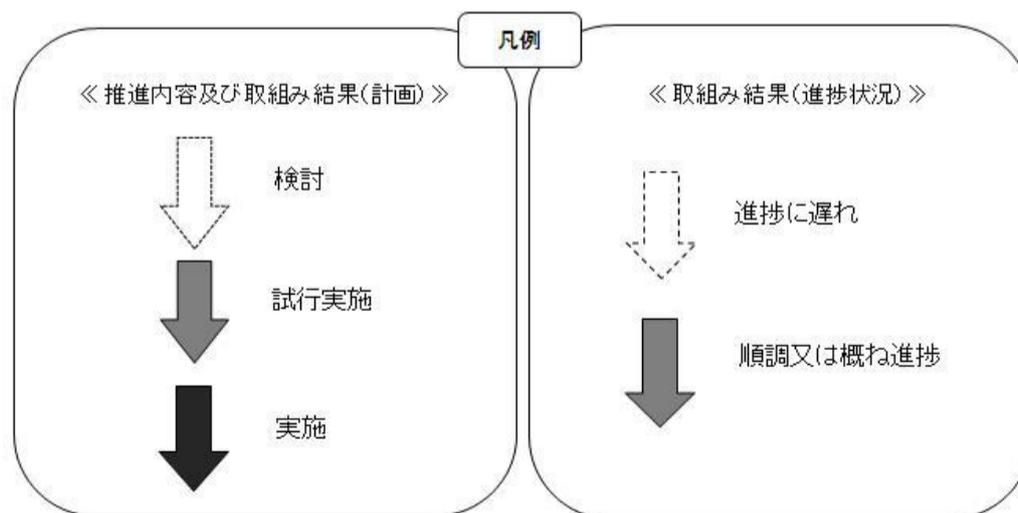
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	財政課長
取組事項	①	経常経費の節減		
推進項目	2	財政運営の健全化		
推進事項	2	財政状況の分析とわかりやすい公表		
取組内容	財政状況を分析し、歳入歳出の状況や財政指標などのほか、バランスシートや行政コスト計算書等及び財政白書を作成し、財政情報をよりわかりやすく公表します。			
年度	推進内容			目標、指標等
23		市の財政状況をわかりやすく市民に公表し、市財政の実態を市民との共通認識とする財政白書を作成します。		バランスシート 行政コスト計算書 財政白書 作成及び公表
24		継続して実施します。		バランスシート 行政コスト計算書 作成及び公表
25		継続して実施します。		バランスシート 行政コスト計算書 作成及び公表
26		継続して実施します。		バランスシート 行政コスト計算書 作成及び公表
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			23年6月に財政白書、財務書類を作成し、市広報紙・ホームページ等を通じて市民へ公表しました。	B
24			決算の概要、財務書類を作成し、市広報紙・ホームページ等を通じて市民へ公表しました。	B
25			決算の概要、財務書類を作成し、市広報紙・ホームページ等を通じて市民へ公表しました。	B
26			決算の概要、財務書類を作成し、市広報紙・ホームページ等を通じて市民へ公表しました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



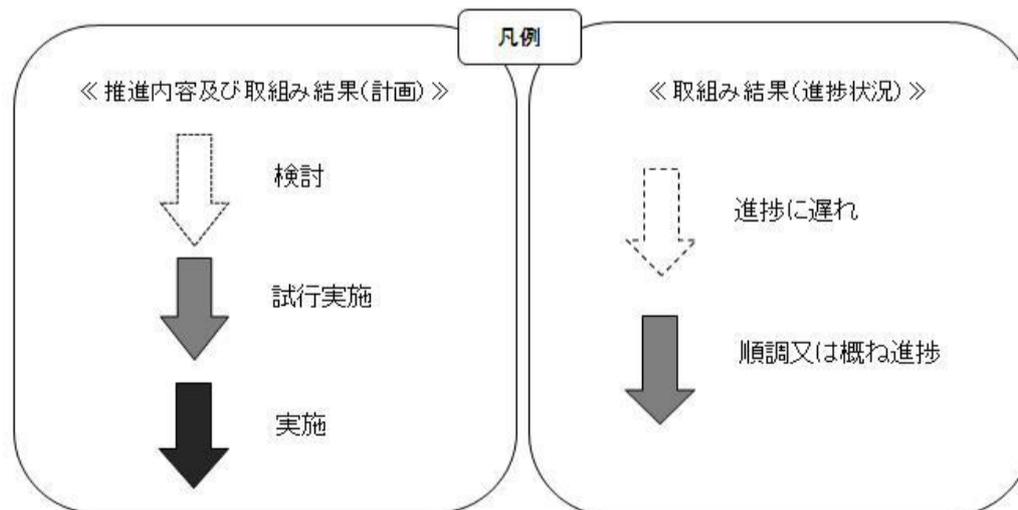
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	監査事務局長
取組事項	①	経常経費の節減		
推進項目	2	財政運営の健全化		
推進事項	3	監査機能の強化		
取組内容	財政援助団体への監査機能を強化します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		財政援助団体の監査を実施します。		実施
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			粗大ごみ等再生利用事業補助金、自主防災組織運営費補助金、青少年育成地区組織活動補助金及び青少年育成地区委員長会主催事業補助金についての財政援助団体等の監査を実施しました。	B
24			中小企業振興資金利子補給金及び信用保証協会保証料、自転車等駐車場指定管理委託、町会活動補助金及び地域活性化交付金、熊川地域・福生地域体育館指定管理委託、市民会館指定管理委託についての財政援助団体等の監査を実施しました。	B
25			保育所振興費補助金、保育所給食費補助金、保育所障害児加算補助金、保育所職員期末援助費補助金、保育所賠償保険加算補助金、保育所運営特別対策補助金、保育所延長保育対策補助金について財政援助団体（5の社会福祉法人が運営する11の保育園）の監査を実施しました。	B
26			平成26年度財政援助団体等監査実施計画に基づき、福生市観光事業補助金、福生市地域福祉推進事業補助金、福生市精神障害者グループホーム運営費補助金、福生市認定こども園運営費等補助金について、財政援助団体等の監査を実施しました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



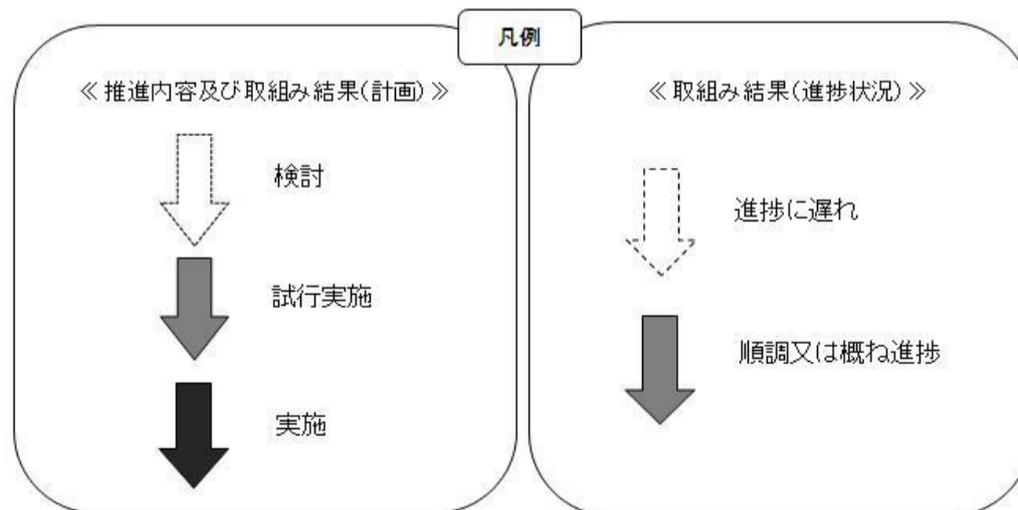
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	契約管財課長
取組事項	①	経常経費の節減		
推進項目	2	財政運営の健全化		
推進事項	4	入札・契約方式の見直し		
取組内容	入札・契約の透明性の確保及び公正な競争の促進を図るため、入札・契約方式を見直します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		入札・契約の透明性の確保及び公正な競争の促進を図るため、入札・契約方式の見直しについて検討します。	検討内容の報告	
24		検討内容を踏まえ、実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			工事、物品とも原則として入札案件は電子入札により実施しています。また、準備行為についても、電子調達で実行し、より公正、透明性を図りました。	B
24			工事、物品とも原則として入札案件は電子入札により実施しています。また、プロポーザルの実施に関するガイドラインを作成し、契約の公正性、透明性及び客観性の確保を図りました。	B
25			工事、物品とも原則として入札案件は電子入札により実施しています。また、総合評価方式による落札方式についての試行実施要綱及び、最低制限価格設定基準を制定したので、平成26年度から試行実施をしていきます。	B
26			工事、物品とも原則として入札案件は電子入札により実施しています。また、総合評価一般競争入札の試行実施要綱、最低制限価格設定基準、指名競争入札参加者指名基準を整備しました。	A

進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



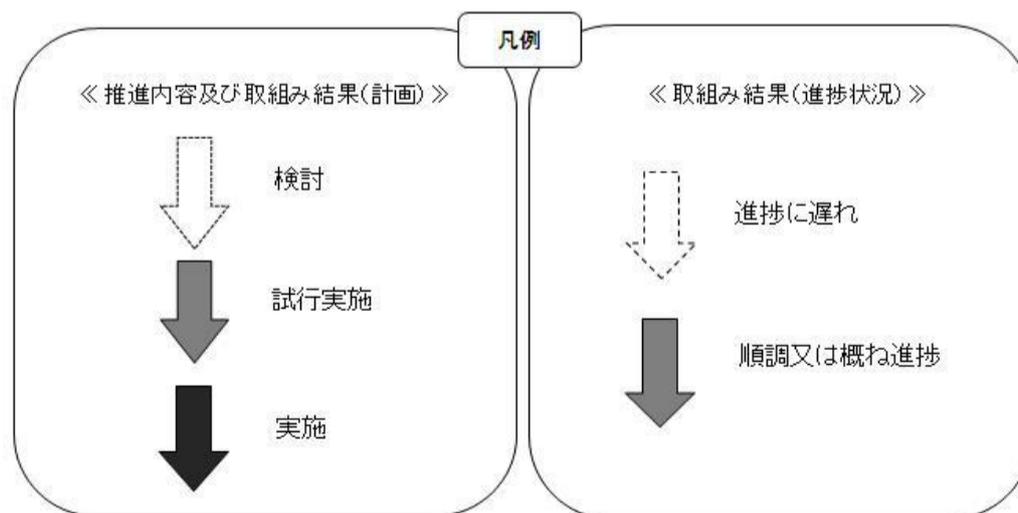
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任 者	財政課長
取組事項	①	経常経費の節減		
推進項目	3	公会計制度改革の推進		
推進事項	1	公会計制度改革の推進		
取組内容	より効率的な行政を実現するため、複式簿記・発生主義会計や事業別バランスシートの作成など検討し、実施します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		総務省の推進する新地方公会計制度の導入を検討します。	検討内容の報告	
24		検討内容に基づき、新地方公会計制度を導入します。	導入	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			他団体との比較可能性等を重視して、総務省方式改訂モデルを採用し、平成20年度決算から一部事務組合等も含めた連結ベースでの財務書類4表を作成して、市民に公表しました。	B
24			総務省方式改訂モデルを採用し、平成22年度決算について、一部事務組合等も含めた連結ベースでの財務書類4表を作成し市民に公表しました。	A
25			総務省方式改訂モデルを採用し、平成23年度決算について、一部事務組合等も含めた連結ベースでの財務書類4表を作成し市民に公表しました。	B
26			総務省方式改訂モデルを採用し、平成24年度決算について、一部事務組合等も含めた連結ベースでの財務書類4表を作成し市民に公表しました。また、平成28年度決算からの新公会計制度導入が決定しました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	※ 全課長
取組事項	①	経常経費の節減		
推進項目	4	経費節減策の検討		
推進事項	1	経費節減策の検討		
取組内容	内部事務の効率化、郵便経費節減策の実施、共同調達推進など、事務の見直しを進めるとともに、庁舎の一斉消灯など、環境に配慮し、光熱水費及び資源の節減を図り、経費の節減策に取り組みます。			
年度	推進内容			目標、指標等
23		従来の経費節減策に加え、新たな経費節減策について各課で検討し、取り組みます。取組結果は業務改善事例集に掲載し、共有化します。		実施
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			各課において節電に取り組み、また印刷用紙や郵便経費の節減など内部事務の効率化に努めました。さらに小中学校（10校）の電気需給契約を特定規模電気事業者（PPS）に変更し、光熱費の削減を図りました。	B
24			各課において引き続き節電の取組みや印刷用紙、郵券代等の経費の節減など内部事務の効率化に努めました。また、市内公共施設（11施設）の電気需給契約を特定規模電気事業者（PPS）に変更し、光熱費の削減を図りました。	A
25			各課において引き続き節電や印刷用紙、郵券代等の経費の節減、内部事務の効率化が進み、それぞれの取組みが定着してきました。	A
26			各課において引き続き節電や印刷用紙、郵券代等の経費の節減、内部事務の効率化を進めました。また26年度より福生市独自の環境マネジメントシステムF-eを運用し、環境に配慮した節減も図りました。	A

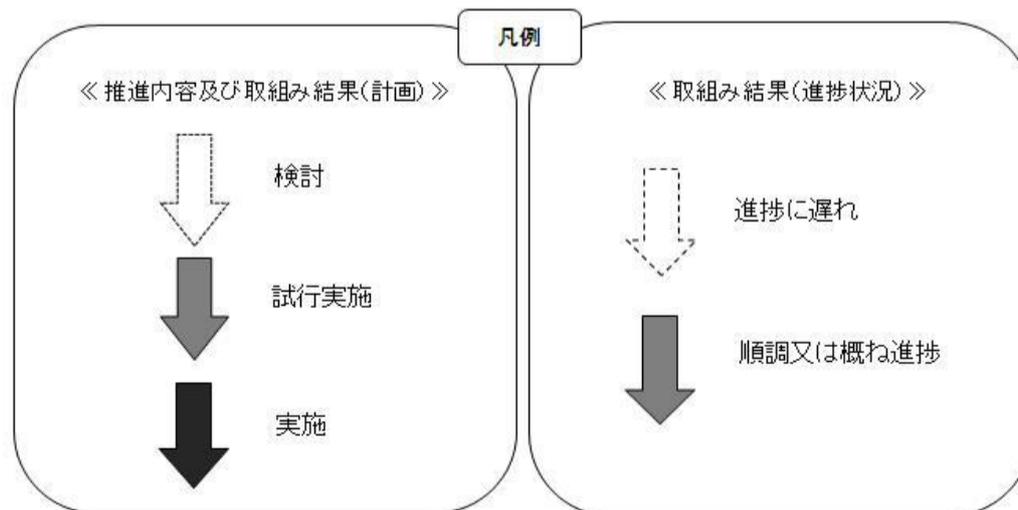
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



②給与の適正化

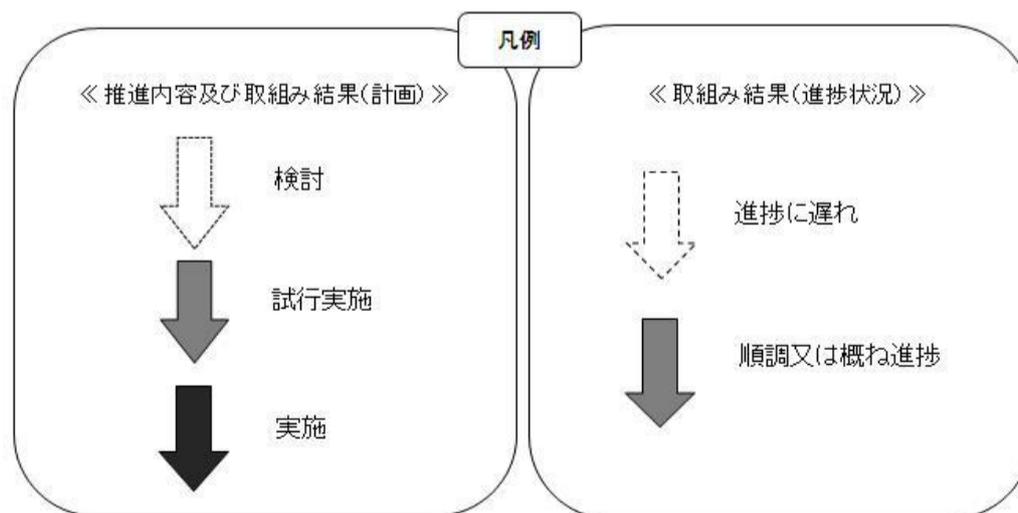
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	職員課長
取組事項	②	給与の適正化		
推進項目	1	給与・退職金水準の適正化		
推進事項	1	給与・退職金水準の適正化		
取組内容	給与は、人事院勧告及び東京都人事委員会勧告に基づき公民較差を是正する給与改定を行い、退職金は、東京都市町村職員退職手当組合に継続加入し、それぞれ支給額の適正化を図ります。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		給与・退職金水準の適正化を図ります。		実施
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			東京都人事委員会勧告に基づき公民較差を是正する給与改定を行い、給与水準の適正化を図りました。	A
24			東京都人事委員会勧告に基づき公民較差を是正する給与改定を行い、給与水準の適正化を図りました。	A
25			東京都人事委員会勧告に基づき公民較差を是正する給与改定を行い、給与水準の適正化を図りました。	A
26			東京都人事委員会勧告に基づき公民較差を是正する給与改定を行い、給与水準の適正化を図りました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



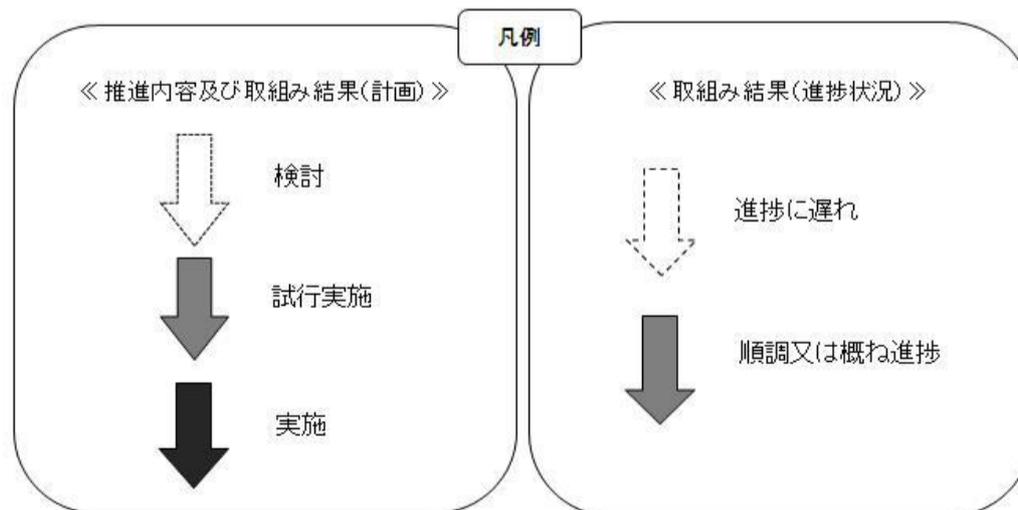
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	職員課長
取組事項	②	給与の適正化		
推進項目	1	給与・退職金水準の適正化		
推進事項	2	給与制度の適正化		
取組内容	職員の業績、能力、意欲に応じた人事考課制度の評価を、給与額及び退職金の決定等に反映し、給与制度の適正化を図ります。また評価方法については検証し、必要に応じて見直します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		人事考課制度の評価を適正に給与制度に反映します。		実施
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			人事考課制度の評価を適正に給与制度に反映し、給与制度の適正化を図りました。	A
24			人事考課制度の評価を適正に給与制度に反映し、給与制度の適正化を図りました。	A
25			人事考課制度の評価を適正に給与制度に反映し、給与制度の適正化を図りました。	A
26			人事考課制度の評価を適正に給与制度に反映し、給与制度の適正化を図りました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



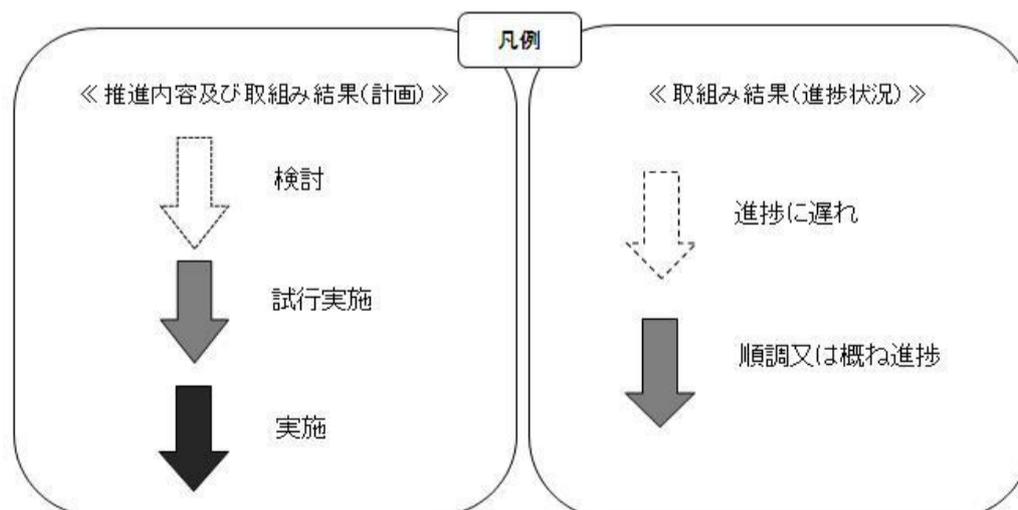
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	職員課長
取組事項	②	給与の適正化		
推進項目	1	給与・退職金水準の適正化		
推進事項	3	委員報酬等の検討		
取組内容	非常勤の特別職の職員の報酬について、審議会の統廃合や定数の見直しも視野に入れ、委員報酬等の見直しについて検討します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	各委員会、審議会等の運営状況について実態調査を行い、委員報酬等の見直しについて検討します。	検討内容の報告	
24				
25	↓	検討内容を踏まえて委員報酬等の見直しを実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23	↓	↓	委員報酬等の他市の状況について情報収集を行いました。	B
24			非常勤特別職の報酬について他市への調査を実施し、適正額の検討を行い、平成25年4月施行で非常勤特別職の報酬額の改正を行いました。	A
25			非常勤特別職の報酬について他市へ状況を把握するため、情報収集を行いました。	A
26			非常勤特別職の報酬について他市への調査を実施し、適正額の検討を行い、平成27年4月施行で非常勤特別職の報酬額の改正を行いました。	A

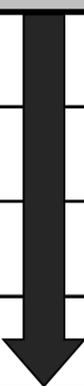
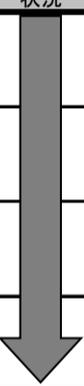
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



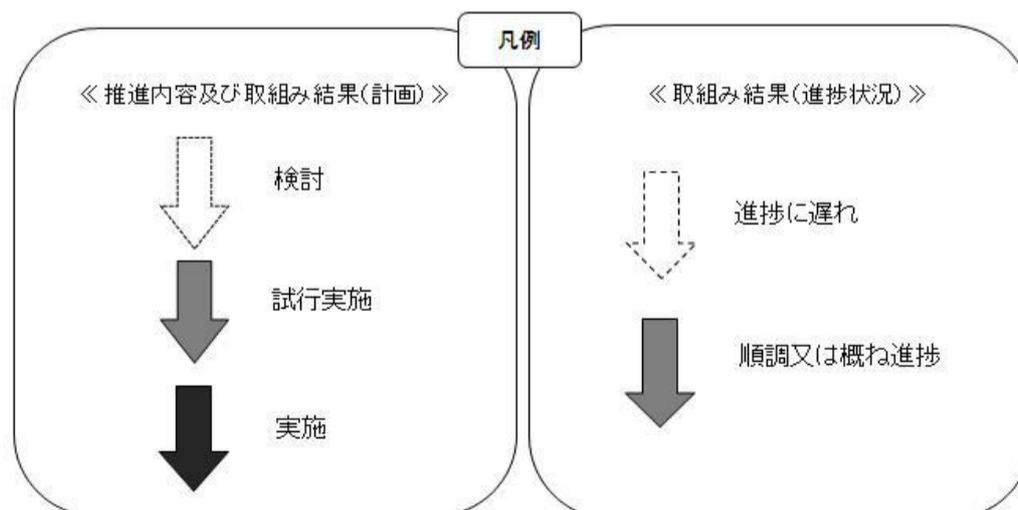
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	職員課長
取組事項	②	給与の適正化		
推進項目	1	給与・退職金水準の適正化		
推進事項	4	福利厚生事業の見直し		
取組内容	職員の福利厚生事業について、市交付金の在り方も含め、効率的・効果的に職員の健康増進や働く意欲の向上が図れるよう、内容を検討しながら事業を進めます。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		市交付金の在り方も含め、効率的・効果的に職員の健康増進や働く意欲の向上が図れるよう、内容を検討しながら事業を進めます。		実施
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施 交付金公費率
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			市職員共済組合の事業について見直し、福利厚生サービス業者へのアウトソーシングを導入するとともに、助成金制度を変更し、効率的・効果的な職員の健康増進、元気回復を図りました。	A
24			平成25年度予算編成にあたり、交付金公費率の見直しを行い、公費率を48%とすることとしました。	B
25			平成26年度予算編成にあたり、交付金公費率について共済組合理事による事業の検討会を開催し、平成26年度は公費率を48%とすることとしました。	A
26			平成27年度予算編成にあたり、交付金公費率について共済組合理事会を開催し、平成27年度は公費率を48%とすることとしました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	職員課長
取組事項	②	給与の適正化		
推進項目	2	職員数・給与等の状況の公表		
推進事項	1	職員数・給与等の状況のわかりやすい公表		
取組内容	今までの公表の仕方を見直し、職員数や給与の状況について市民によりわかりやすい形で公表します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		職員数・給与について、市民によりわかりやすい工夫を講じた公表を行い、その透明性を高めます。		公表
24		継続して実施します。		公表
25		継続して実施します。		公表
26		継続して実施します。		公表
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			職員数・給与について、市民によりわかりやすい工夫を講じた公表を行いました。	A
24			職員数・給与について、市民によりわかりやすい工夫を講じた公表を行いました。	A
25			職員数・給与について、市民にわかりやすい形で公表を行いました。	A
26			職員数・給与について、市民にわかりやすい形で公表を行いました。	A

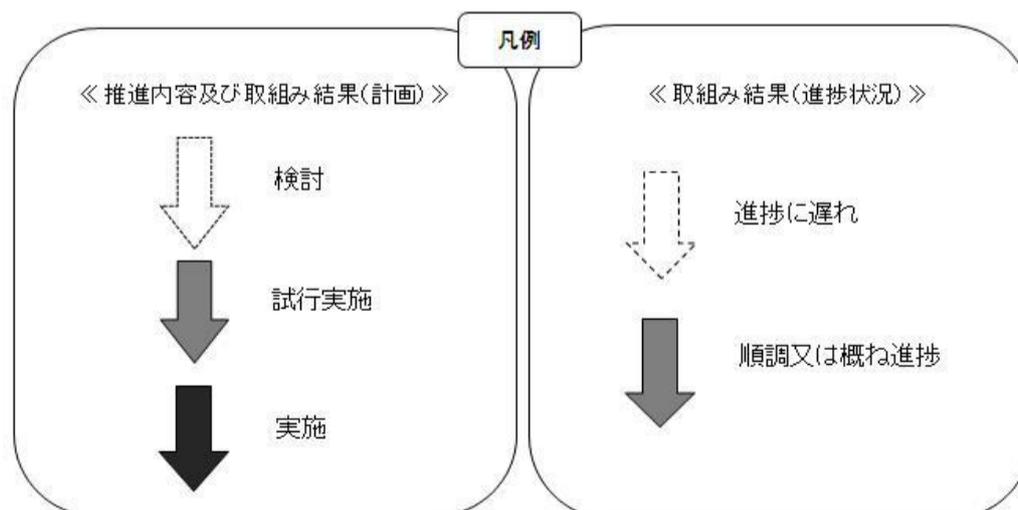
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)

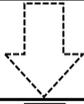
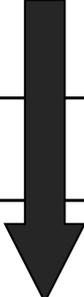
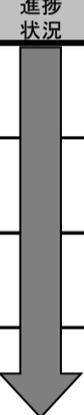
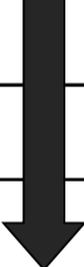


③税収入等の財源の確保

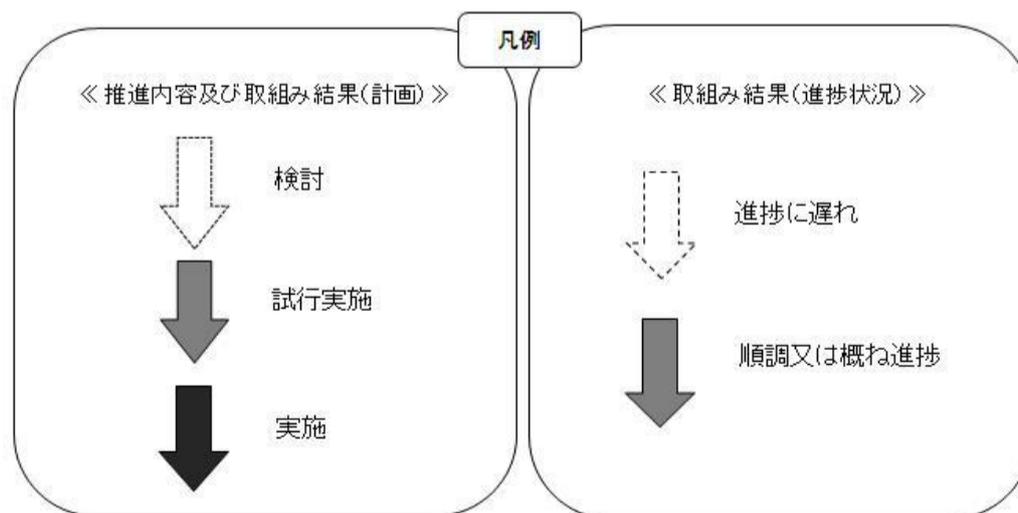
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	企画調整課長 秘書広報課長
取組事項	③	税収入等の財源の確保		
推進項目	1	自主財源確保策の検討・導入		
推進事項	1	広告収入の積極的な確保		
取組内容	市の有料広告について、統一的な掲載基準を作成し、新たな広告収入の確保に取り組みます。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	広告掲載基準を作成します。併せて印刷物や公共施設等、新たな広告媒体を検討します。	基準の策定 検討	
24	↓	新たな広告収入を確保します。策定した広告掲載基準にのっとり、HP等で広く募集します。	新規広告媒体数	
25	↓	継続して実施します。	新規広告媒体数	
26	↓	継続して実施します。	新規広告媒体数	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23	↓	↓	「ふっさわたしの便利帳2011」を市内事業者からの広告収入により、発行・配布しました。なお、広告掲載に係る統一基準については、先進事例の情報収集を行いました。	B
24	↓	↓	引き続き広告掲載に係る基準の検討を実施しました。なお、シティセールス推進課において、観光ガイドマップの作成や地域ポータルサイト「fussa Style」の開設に伴い、広告を募集し、新たな広告収入の確保を図りました。	A
25	↓	↓	HPバナー広告12社、1,865,000円の収入がありました。新規広告依頼企業については4社で、前年度比5.5%増となりました。また、コミュニティビジョンや便利帳（PPP）における広告収入もありました。	A
26	↓	↓	HPバナー広告の収入、コミュニティビジョン広告収入など、これまでの広告収入を引き続き確保すると同時に、新たな広告収入である「広告付き市内案内図」に関する検討を行いました。	A

進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



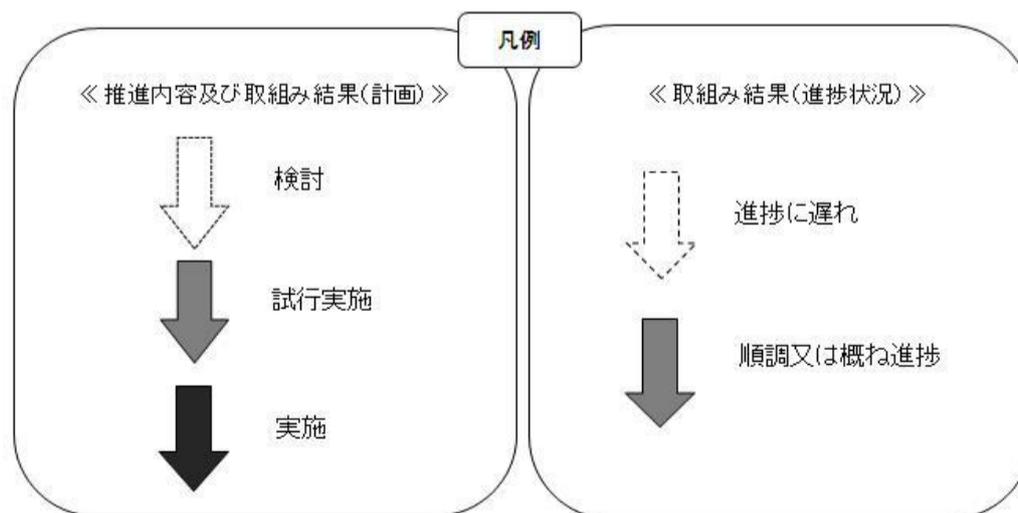
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進責任者	企画調整課長 契約管財課長 ※各施設所管課長
取組事項	③	税収入等の財源の確保		
推進項目	1	自主財源確保策の検討・導入		
推進事項	2	行政財産使用に係る見直し		
取組内容	行政財産の使用による歳入確保を図ります。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		行政財産使用（自動販売機設置等）に係る事業者の決定について、価格競争方式の導入を検討します。	検討内容の報告	
24		検討内容に基づき、実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			コミュニティビジョンの設置や市営住宅跡地を駐車場として貸し出すなど、歳入の確保を図りました。また、自動販売機設置について、情報収集を行いました。具体的な結論には至りませんでした。	B
24			公共施設に設置する自動販売機について、既存の設置団体へ平成25年度中の撤去の申し入れを行い、以降は市が設置主体となることに決定しました。	A
25			各公共施設に設置してある自動販売機（写真含む）13箇所28台について、競争入札により設置事業者を決定しました。また、一部の町会会館で使用料を徴収することが決定しました。	A
26			各公共施設に設置してある自動販売機（証明写真含む）13箇所28台について、競争入札により設置事業者を決定し、平成26年度予算額の増額が見込まれます。また、シルバー人材センターからの電気使用料の徴収により、歳入の確保を図りました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



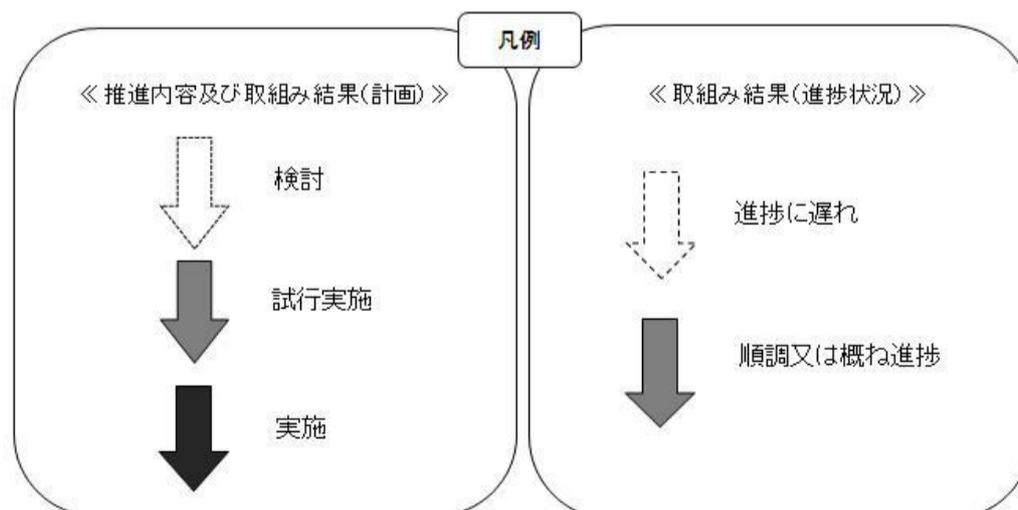
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	収納課長 課税課長 保険年金課長 介護福祉課長 子ども育成課長 まちづくり計画課長 学校給食課長
取組事項	③	税収入等の財源の確保		
推進項目	2	市税等収納率向上対策		
推進事項	1	市税等収納率向上対策		
取組内容	市民の税負担の公平性と財源の確保のために様々な手法を活用し、市税等の賦課部署と収納部署の連携や情報共有を強化し、収納率向上に努めます。また、各使用料等の未納対策を強化します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		市税等の収納基盤を強化するため、差押に重点を置いた取組を実施し、市税等の収納率向上を図ります。また、各使用料等の未納対策を強化します。		前年度収納率
24		継続して実施します。		前年度収納率
25		継続して実施します。		前年度収納率
26		継続して実施します。		前年度収納率
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			収納部門の組織体制等を見直し、差押に重点を置いた滞納整理を推進しました。また、西多摩地区市町村の課税部門と収納部門が連携し、住民税の特別徴収の推進を実施しました。	B
24			現年度課税分の収納に重点をおいた効率的な事務執行、滞納整理を実施しました。また、東京都主税局との連携を強化し、高額な滞納事案の解決と滞納整理業務に対するスキルアップを図りました。	A
25			現年度分に重点をおくことにより、収納率が前年度比で0.2%向上しました。また、高額滞納対策、都・他市との連携、職員のスキルアップ等に努めました。また各種使用料等も、収納交渉を強化しました。	A
26			現年度課税分の収納に重点をおいた効率的な事務執行、滞納整理を実施しました。東京都主税局との連携を強化し高額・困難事案の整理を図るとともに、他市町との連携、職員のスキルアップを図りました。また各種使用料等も収納交渉を強化しました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



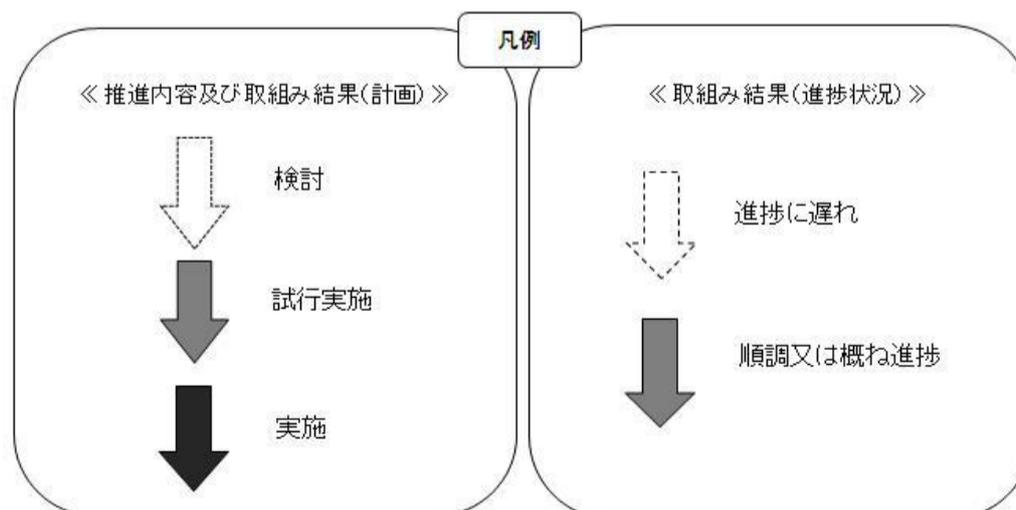
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進責任者	収納課長 課税課長
取組事項	③	税収入等の財源の確保		
推進項目	3	納税意識の啓発		
推進事項	1	納税意識の啓発		
取組内容	課税の仕組みや税の社会的に果たす役割を市民に広報し、税への理解を深め、納税義務の高揚を図り、市税等の自主納付と納期内納税を促進します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	広報誌、ホームページ、市税だより等で納税意識や市民の権利義務意識の高揚を図ります。	前年度収納率	
24		継続して実施します。	前年度収納率	
25		継続して実施します。	前年度収納率	
26		継続して実施します。	前年度収納率	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	市広報から個別通知まで、あらゆる手段を活用して納税に関する公平性や差押等の滞納処分の強化をPRし、市民の納税義務意識の向上を図りました。	B
24			広報紙、ホームページ、市税だより等により、納税の公平性などの権利義務意識の高揚を図り、催告書には「滞納整理ニュース」を同封して納税義務意識の啓発に努めました。	A
25			広報・HP・広報車等を活用し納税義務意識の高揚を図りました。また、「市税だより」には滞納処分等についての記事を掲載し、催告書には「滞納整理ニュース」を同封し、啓発に努めました。	A
26			市広報・ホームページ・広報車等を通じて、納税意識や納税の公平性などの権利義務意識の高揚を図りました。また、26年度には租税教育を市内各校の児童・生徒を対象に行いました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	企画調整課長 財政課長 ※各担当課長
取組事項	③	税収入等の財源の確保		
推進項目	4	国・都の補助金等の有効な活用		
推進事項	1	国・都の補助金等の有効な活用		
取組内容	新規事業や既存事業の見直しの際に、必ず、国等からの補助金等の特定財源を検討し、実施します。また、平成24年度より市町村分への段階的導入が予定されている一括交付金制度の有効活用を検討します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		実施計画策定の際には、特定財源を検討し、実施します。また、一括交付金の有効活用を検討します。		実施
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			各課において補助金等の有効な活用を実施しました。23年度はすみれ保育園の新園舎建設、次世代モビリティ活用モデル事業や消防ポンプ自動車の購入等を行いました。	A
24			国・都支出金については、関係機関に積極的な要望を行い、補助金等の確保に努めました。	A
25			補助対象となりうる事業については、関係機関に積極的な要望を行い、補助金の確保に努めました。	A
26			補助対象となりうる事業については、関係機関に積極的な要望を行い、引き続き補助金の確保に努めました。	A

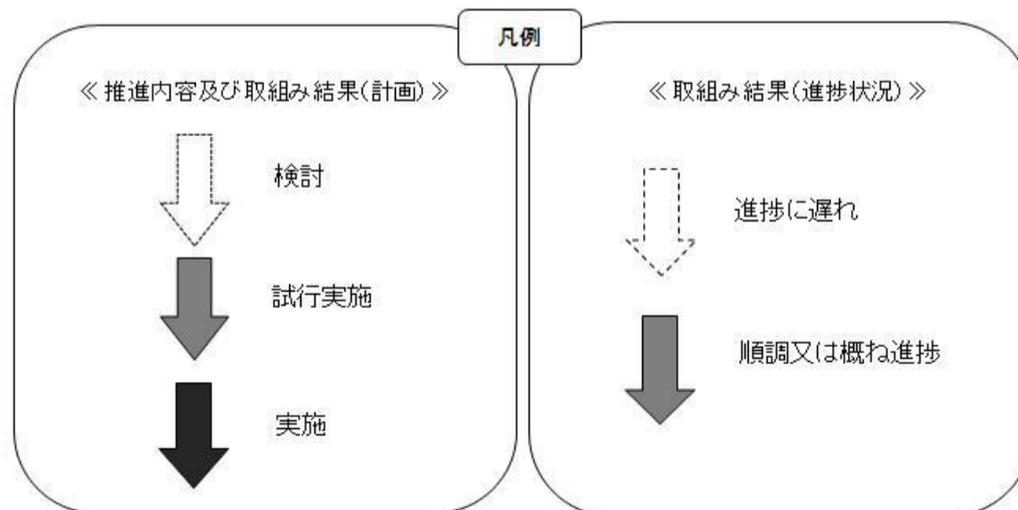
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)

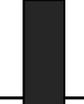
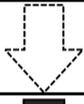
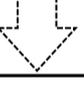


④使用料及び手数料等の見直し

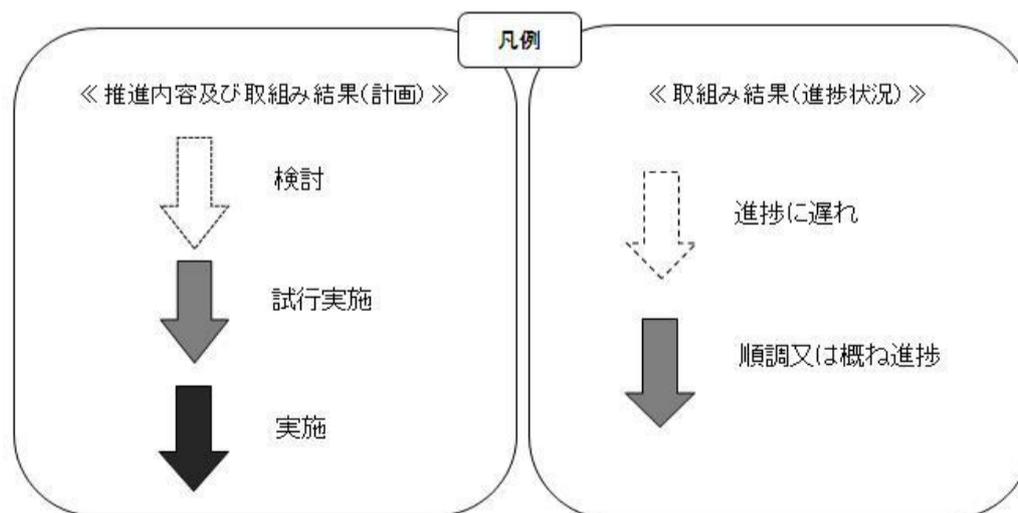
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	財政課長 ※各担当課長
取組事項	④	使用料及び手数料等の見直し		
推進項目	1	使用料及び手数料等の適正化		
推進事項	1	使用料及び手数料等の見直し		
取組内容	サービスの目的や性質を踏まえ、受益者負担の現状を把握し、使用料等の減免制度も含めた見直しの基準を作成し、実施します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	使用料及び手数料の受益者負担率等の検証を行い、新たに基準を作成します。	基準の作成	
24	↓	基準に基づいて使用料・手数料を改訂します。	実施	
25	↓	継続して実施します。	実施	
26	↓	継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	使用料及び手数料等の見直しについては、税外収入確保策の検討と合わせて行っていくことから、新たな基準作成までは至りませんでした。	C
24	↓	↓	税外収入確保策として、新たに公共施設の自動販売機等設置使用料を徴収について、各関係団体との調整を行い、26年度からは市が直営で管理することとしましたが、基準の作成まで至りませんでした。	C
25	↓	↓	税外収入確保策として、新たに公共施設の自動販売機等設置使用料や、町会会館土地貸付収入を徴収することとしました。	C
26	↓	↓	使用料及び手数料等の見直しについては、税外収入確保策の検討及び新公会計制度の導入と合わせて行っていくことから、新たな基準作成までは至りませんでした。	C

進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進責任者	企画調整課長 ※各担当課長
取組事項	④	使用料及び手数料等の見直し		
推進項目	1	使用料及び手数料等の適正化		
推進事項	2	公共施設の駐車場の有料化の検討及び導入		
取組内容	公共施設の駐車場の有料化を各施設の状況等を考慮して検討し、検討結果に基づき、有料化を実施します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		公共施設の駐車場の有料化を、各施設ごとに課題を整理し、検討を行います。	検討結果の報告	
24		検討結果に基づき、公共施設の駐車場の有料化を実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26				
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			南公園の駐車場利用状況調査を実施し、有料化の可否についての検討を行いました。	B
24			南公園駐車場利用状況調査の結果を踏まえ、有料化の方向性について検討しましたが、費用対効果の観点から有料化には至りませんでした。	B
25			主な公共施設の駐車場における有料化について検討しましたが、費用対効果の観点から有料化には至りませんでした。	C
26				

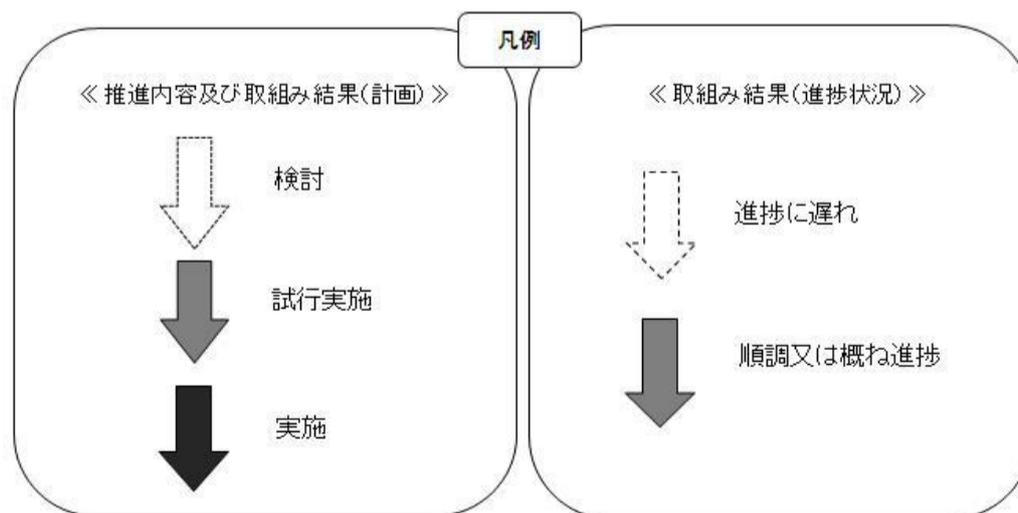
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



⑤補助金及び負担金の適正化

重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	企画調整課長 財政課長 ※各担当課長
取組事項	⑤	補助金及び負担金の適正化		
推進項目	1	補助金及び負担金の適正化		
推進事項	1	補助金及び負担金の適正化		
取組内容	補助金等を交付している事業の趣旨、事業の必要性、費用対効果などを踏まえ、基本的な交付基準等を検討し、見直しを行います。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	補助金等交付事業の適正化を図るため、基本的な交付基準等について検討します。	検討内容の報告	
24				
25	↓	検討結果に基づき、各担当課において補助金等の見直しを実施計画に反映します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	各担当部署において、補助金等交付事業の必要性と基準や金額の妥当性を再確認するとともに、市としては「補助金等調査検討委員会」の設置・開催に向けて準備を進めました。	B
24			補助金等調査検討委員会を設置し、廃止、縮減も含めた既存制度の見直しを行い、あわせて各担当課による適正化の検討を実施したことで、25年度当初予算において一部の補助金等の削減を行いました。	A
25			24年度に実施した補助金等調査検討委員会の検討結果を基に、25年度も引き続き補助金等の削減を行いました。	A
26			24年度に実施した補助金等調査検討委員会の検討結果を基に、26年度も引き続き補助金等の削減を行いました。	A

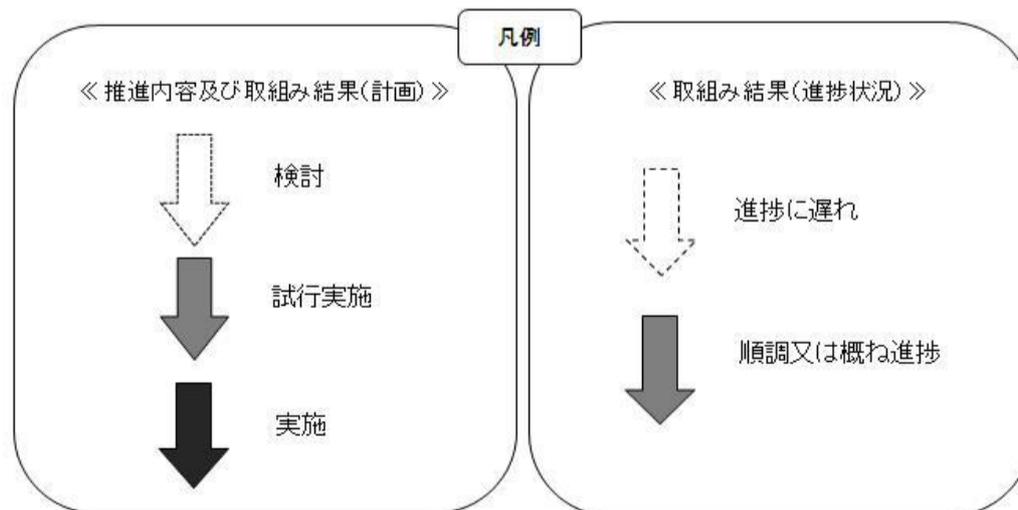
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



⑥公共施設等の有効利用と計画的な更新

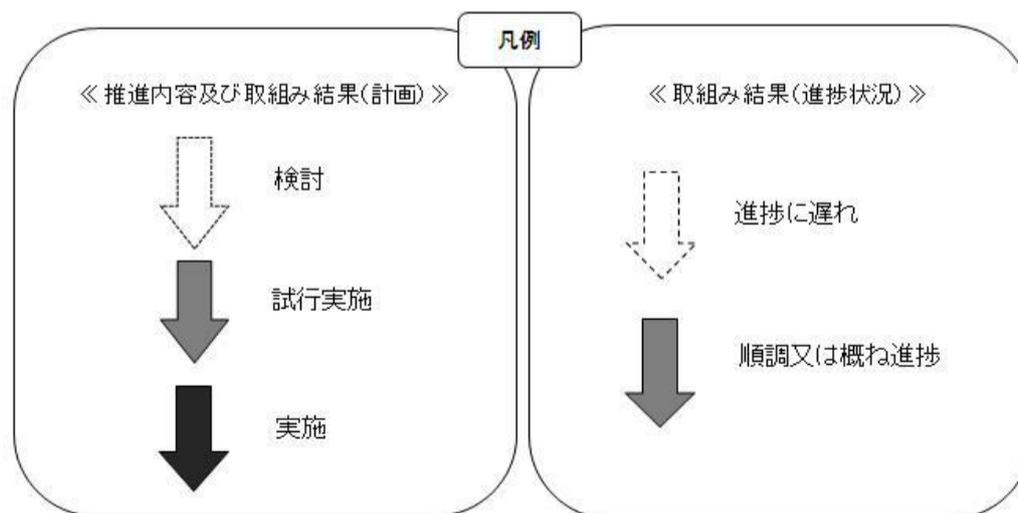
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	⑥	公共施設等の有効利用と計画的な更新		
推進項目	1	公共施設の有効利用の検討		
推進事項	1	公共施設の有効利用の検討		
取組内容	各施設の実態を把握し、設置目的に沿った利用の促進や、多目的利用及び統廃合も含め、公共施設の有効利用について検討し、方針を策定します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	市が所有する各施設の将来あるべき姿について、市民と共に検討する基礎資料として、施設白書を作成します。 その上で、現状や将来に向けての課題を整理し、公共施設の有効利用について検討し、方針を策定します。	施設白書の作成 方針の策定	
24				
25				
26				
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23	↓	↓	公共施設改修計画に基づき、早急に改修が必要とされる施設の選出（わかぎり会館、保健センター）や財源について検討し、改修費用を予算化しました。	B
24			公共施設改修計画に基づき、早急に改修が必要とされる施設の選出（わかたけ会館）や財源について検討し、改修費用を予算化しました。	B
25			施設白書作成方針の策定には至りませんでした。が、「まちづくり総合活性化研究」にて公共施設の現状把握を行い、今後の方向性について研究しました。	B
26			施設白書の作成には至りませんでした。が、固定資産台帳を整備し「公共施設等総合管理計画」の策定に着手しました。	B

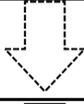
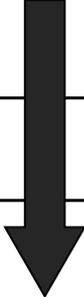
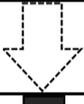
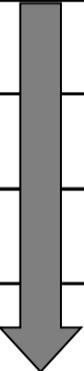
進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



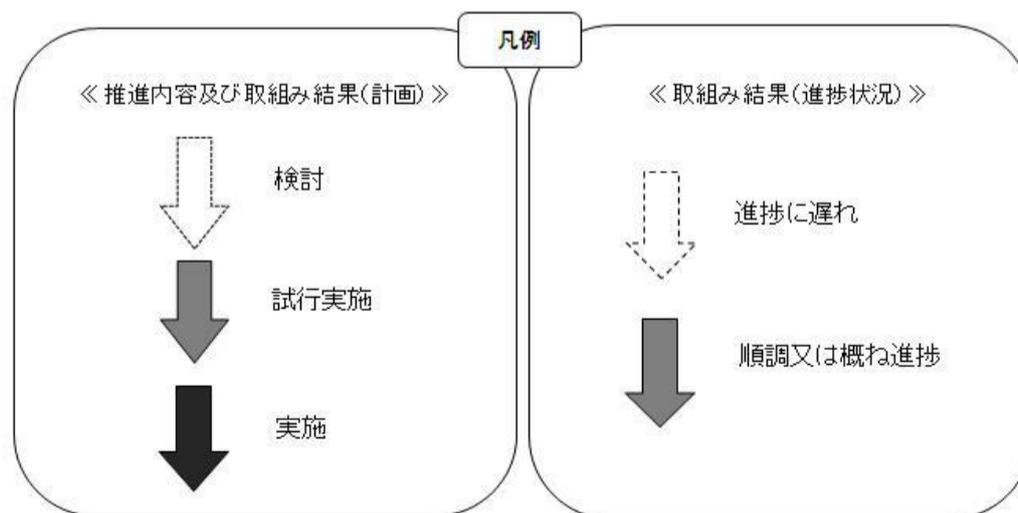
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進責任者	施設課長 都市建設部主幹
取組事項	⑥	公共施設等の有効利用と計画的な更新		
推進項目	2	公共施設延命化施策の検討		
推進事項	1	公共施設延命化施策の検討		
取組内容	公共施設の延命化施策について検討し、計画的な維持・更新を行います。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	公共施設の更新に係る財政負担の軽減を図りながら、既存施設の社会資源としての質を維持していくため、公共施設を計画的に維持・保全する延命化施策について検討し、計画の整備を進めます。 施設の多目的利用及び統廃合など有効利用に関する検討も踏まえて計画の整備を行います。	検討内容の報告 個別計画の整備	
24				
25				
26				
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	市民会館の外壁の老朽化を改修するため、市民会館外壁改修工事を実施し建物の延命化を図りました。	B
24			わかざり会館の延命化を図るため、建物躯体、環境負荷軽減、ユニバーサルデザイン、外構、動線計画等の機能改善を見据えた改良工事を実施しました。	A
25			市管理の19橋の点検を実施し、その結果をもとに長寿命化修繕計画を策定しました。市道等についても計画的に延命化を実施することが出来ました。	A
26			市道の舗装路面の状態を把握することにより、安全で円滑な交通を確保し、また、舗装の維持管理を効率的に行うため必要な路面の性状調査を行い、舗装の計画的な維持管理の策定の基礎データを作成しました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



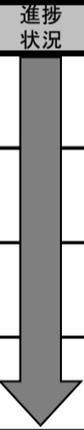
重点項目	(2)	自律性の高い財政運営	推進責任者	企画調整課長 契約管財課長 まちづくり計画課長
取組事項	⑥	公共施設等の有効利用と計画的な更新		
推進項目	3	未利用地の有効利用の検討		
推進事項	1	未利用地の有効利用の検討		
取組内容	未利用地検討委員会の報告内容を踏まえて、未利用地の有効利用を積極的に進めます。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		未利用地の有効利用を進めるため、プロジェクトチームを設置して、売却、定期借地権の活用等具体的な取組を検討します。	検討内容の報告	
24		検討結果に基づき、有効利用を進めます。 売却等の収入は将来への備えとして基金に積み立てます。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			市財産のうち未利用地の一部を売却、また福東地区の国有緑地を有効活用するため、市民の憩いの場や防災拠点としての整備事業を検討し、予算化を図りました。	B
24			市財産のうち未利用地の一部を売却し、また、すみれ保育園跡地利用の検討や、福東地区の国有地に平時は給食センターとして利用可能な災害対応施設の建設事業について検討しました。	B
25			公立福生病院、すみれ保育園に対し、第一市営住宅跡地の貸付を行いました。また、普通財産（廃道敷）1件 14.02㎡を売却しました。	B
26			第一市営住宅の除却後の空地について、公立福生病院組合、不動福祉会（すみれ保育園）に対し、駐車場用地として有償で貸付を行いました。また、自由広場における有効活用について検討を行い、詰所の解体や移転に係る費用を予算化しました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)

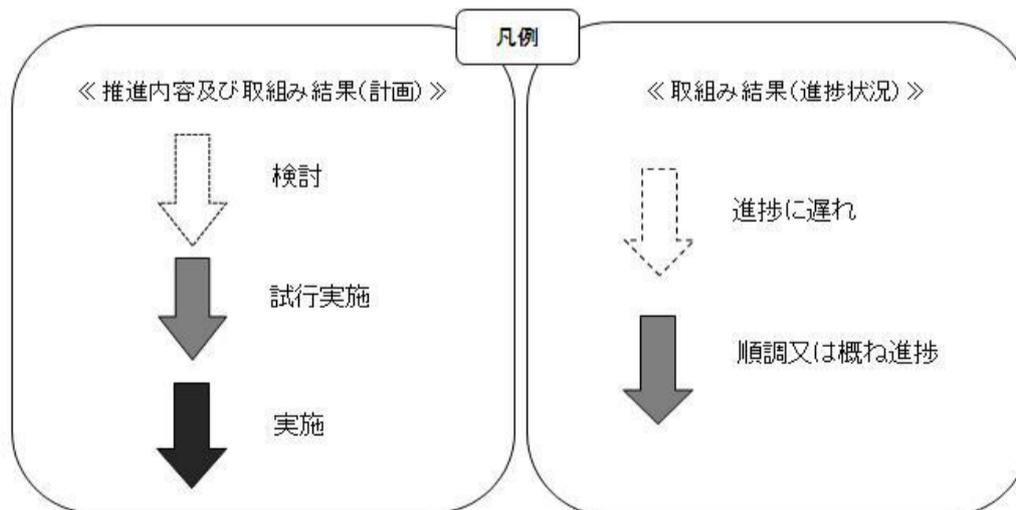


### (3) 効果・効率的な事務事業の実施

#### ①事務事業の見直し

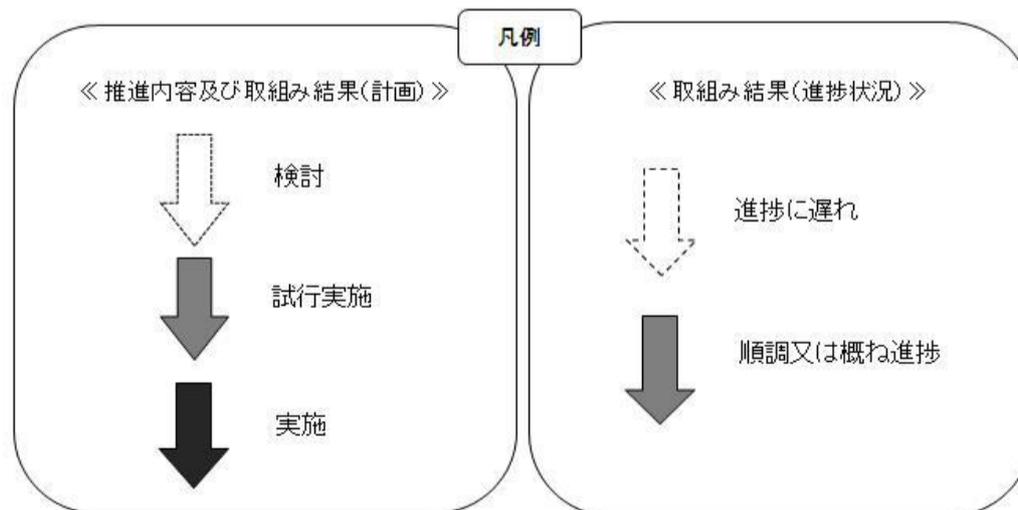
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進責任者	企画調整課長
取組事項	①	事務事業の見直し		
推進項目	1	事務事業の見直し		
推進事項	1	行政マネジメントサイクルによる事業の見直しの推進		
取組内容	実施計画、行政評価など既存のマネジメントサイクルにより事業の見直しを図ります。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		事務事業の見直しの仕組みについて、事務事業の外部評価の検討や、サンセット方式の徹底により事務事業を見直します。	検討内容の報告各部1事業以上見直し	
24		継続して実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			実施計画策定方針において、サンセット方式の徹底を周知しました。また、事業継続の理由やその必要性について各所管課より意見書を提出させ、検討しました。	B
24			実施計画策定方針において、サンセット方式の徹底を周知しました。また、事業継続の理由やその必要性について各所管課より意見書を提出させ、見直しの推進を実施しました。	B
25			実施計画策定方針において、サンセット方式の徹底を周知しました。また、事業継続の理由やその必要性について各所管課より意見書を提出させ、見直しの推進を実施しました。	B
26			実施計画策定方針において、サンセット方式の徹底を周知しました。また、新公会計制度の導入に伴う実施計画、行政評価のマネジメントサイクルについての方向性について検討しました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	①	事務事業の見直し		
推進項目	2	職員提案制度の推進		
推進事項	1	職員提案制度の推進		
取組内容	施策の充実及び業務改善を行うため、積極的に提案が出来るよう、環境整備を行い、職員提案制度の更なる活性化を図ります。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		多くの職員から施策に関する提案がなされ、予算にも反映されるような職員提案制度の活用方法を検討します。 実効性の高い業務改善に関する提案については、職員用ハンドブックを作成し、庁内掲示板等で改善事例を共有できるような全庁的な体制を整備します。	検討内容の報告 掲示板の設置	
24		検討された職員提案制度の活用方法に基づき、実施します。業務改善に関する提案については、新しい取組が評価されやすい環境づくりを進めます。	実施 提案数前年比増	
25		継続して実施します。	実施 提案数前年比増	
26		継続して実施します。	実施 提案数前年比増	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			他制度（チューター制度等）との併用による活性化策などについて検討しましたが、具体的な活用方法の提示には至りませんでした。	C
24			職員提案制度に係る様式を見直し、提案から事業化までの流れを図案化した資料等を作成し、庁内周知を図りましたが、提案の活性化までには至りませんでした。	B
25			政策形成研修、政策スクール等に職員が積極的に参加することにより職員提案を促しましたが、提案数増には至りませんでした。	B
26			政策形成研修、政策スクール等に職員が積極的に参加することにより職員提案を促しましたが、提案には至りませんでした。	B

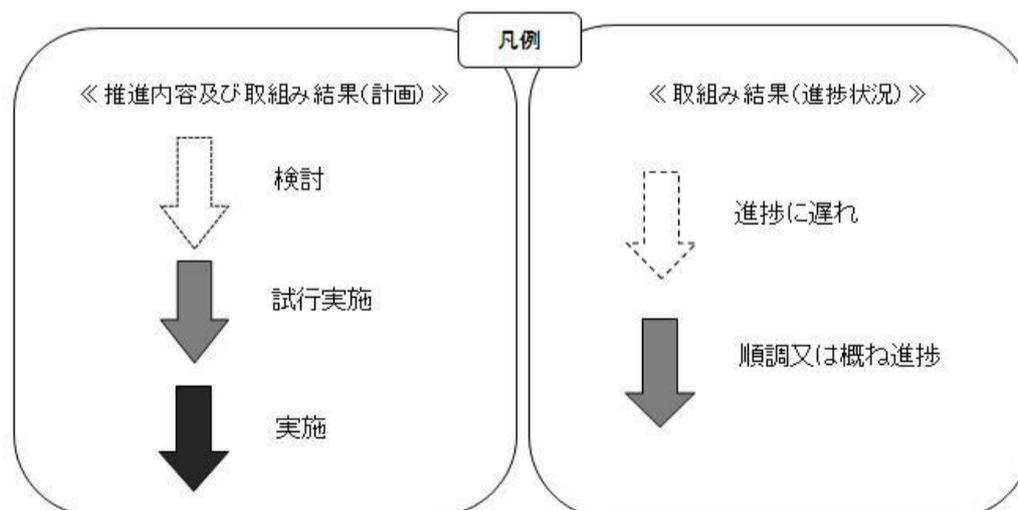
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



②行政の担うべき役割の重点化

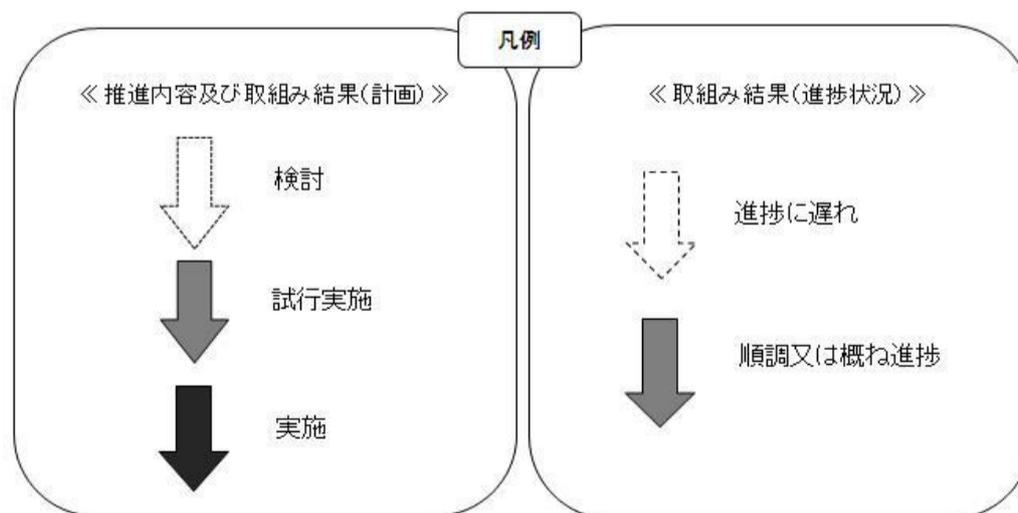
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	②	行政の担うべき役割の重点化		
推進項目	1	アウトソーシングの推進とモニタリングの強化		
推進事項	1	市の関与基準の策定		
取組内容	市の関与基準を策定し、事務事業の整理合理化を図ります。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	市の関与基準を策定します。	実施	関与基準の策定
24				
25		策定した関与基準に基づき、事務事業の整理合理化を進めます。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23	↓	↓	他市の先進事例について、情報収集を行いました。	B
24			情報収集等を行いました。市の関与基準の策定には至りませんでした。	C
25			市の関与基準策定に資するため、事務事業評価調書に「市関与の妥当性」という項目を設けましたが、具体的な策定には至っていません。	C
26			新公会計導入に伴う新しい行政評価システム構築のため、市の関与基準について検討しましたが、策定には至りませんでした。	C

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



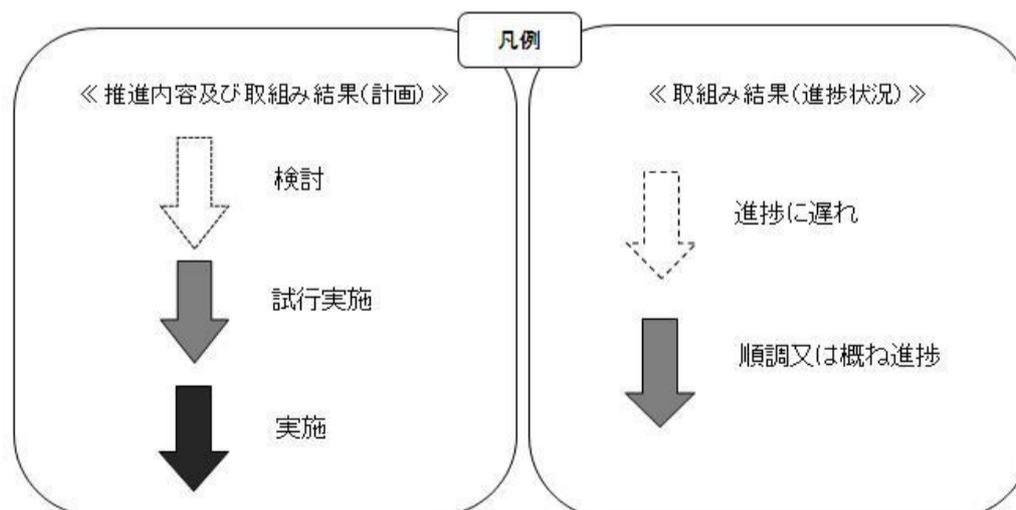
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	※全課長
取組事項	②	行政の担うべき役割の重点化		
推進項目	1	アウトソーシングの推進とモニタリングの強化		
推進事項	2	アウトソーシングの推進		
取組内容	民間活力導入方針に基づき、アウトソーシングを推進します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	民間活力導入方針に基づき、アウトソーシングを推進します。	実施	
24		継続して実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23	↓	↓	人材派遣会社による電算業務支援やシルバー人材センターによる選挙開票事務や各施設管理業務など、各関係部署においてアウトソーシングの導入を図りました。	B
24			市政情報や地域資料のデジタル化や国民健康保険のレセプト確認業務など、各関係部署においてアウトソーシングの導入を図りました。	B
25			市長車の運用について民間活力の導入が実現した等、各関係部署においてアウトソーシングの導入を図りました。	B
26			療養費レセプト点検の民間委託を通年化し、療養費の適正化を図ることが出来ました。また、各関係部署においてアウトソーシングの導入の可能性を探りました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



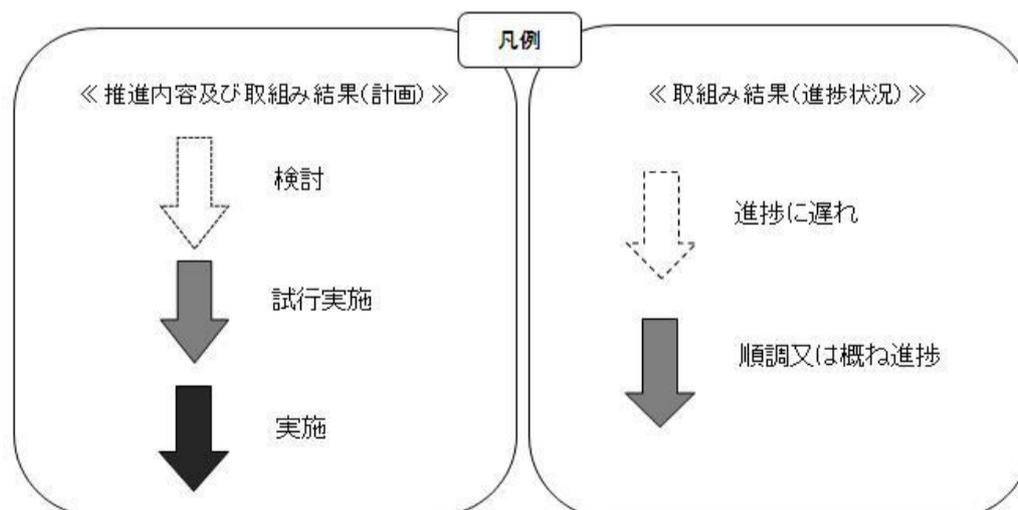
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	子ども育成課長
取組事項	②	行政の担うべき役割の重点化		
推進項目	1	アウトソーシングの推進とモニタリングの強化		
推進事項	3	公設保育園の民営化		
取組内容	公設保育園を民設民営に移管し、コスト削減、各種サービスへの取組促進を図るとともに、国庫補助金等の活用による財源の確保、コスト削減分を子育て支援策に還元し、総合的な子育て支援策の充実を図ります。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	公設公営すみれ保育園の民営化に向けて準備を進めます。		移管準備
24				
25	↓	公設公営すみれ保育園を民営化します。		25年4月1日移管
26				
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	すみれ保育園の民営化については、民営化主体の法人と、引継ぎについて打合せを進め、保護者に対しては平成23年12月、説明会を開催し、引継ぎや新園舎等の説明を行いました。	A
24	↓	↓	民営化後の保育内容について事業者と折衝し、協定を締結しました。保護者説明会も2回実施しました。また、25年1月～3月に民営化事業による引継保育を公立すみれ保育園にて行いました。	A
25	↓	↓	平成25年4月1日移管が完了し、公設公営すみれ保育園が民営化されました。	A
26	△	△		△

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



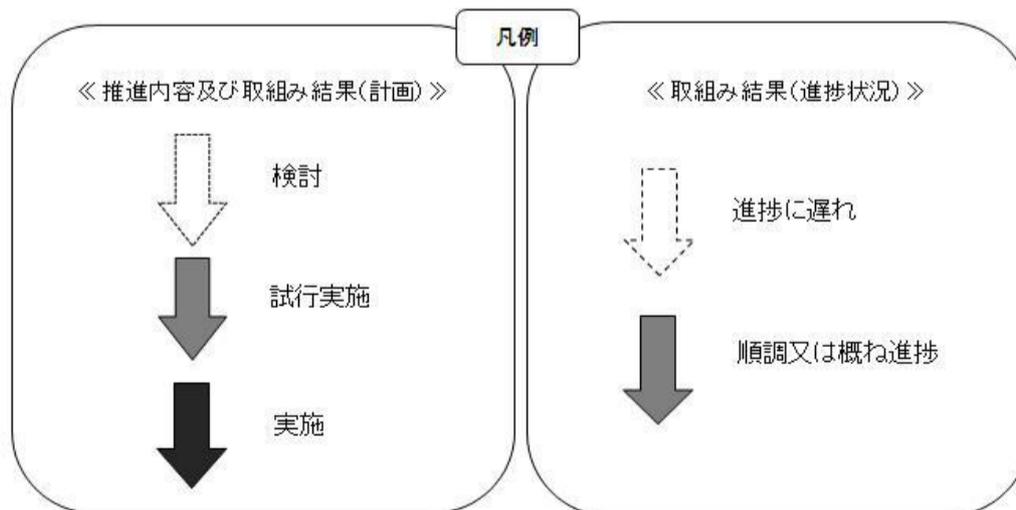
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	②	行政の担うべき役割の重点化		
推進項目	1	アウトソーシングの推進とモニタリングの強化		
推進事項	4	民間提案型業務改善制度の検討		
取組内容	民間事業者の創意工夫を反映した効率的で質の高い行政サービスを実現するため、市の施策及び業務について、幅広く改善提案を受け入れる民間提案型業務改善制度の導入を検討し、実施します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	民間提案型業務改善制度について、検討します。	実施要領の策定	
24				
25		検討結果に基づいて、民間提案型業務改善制度を導入します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23	↓	↓	他市の先進事例について、情報収集を行いました。	B
24			情報収集等を行いました。実施要領の策定には至りませんでした。	C
25			情報収集等を行いました。実施要領の策定には至りませんでした。	C
26			情報収集等を行いました。実施要領の策定には至りませんでした。	C

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



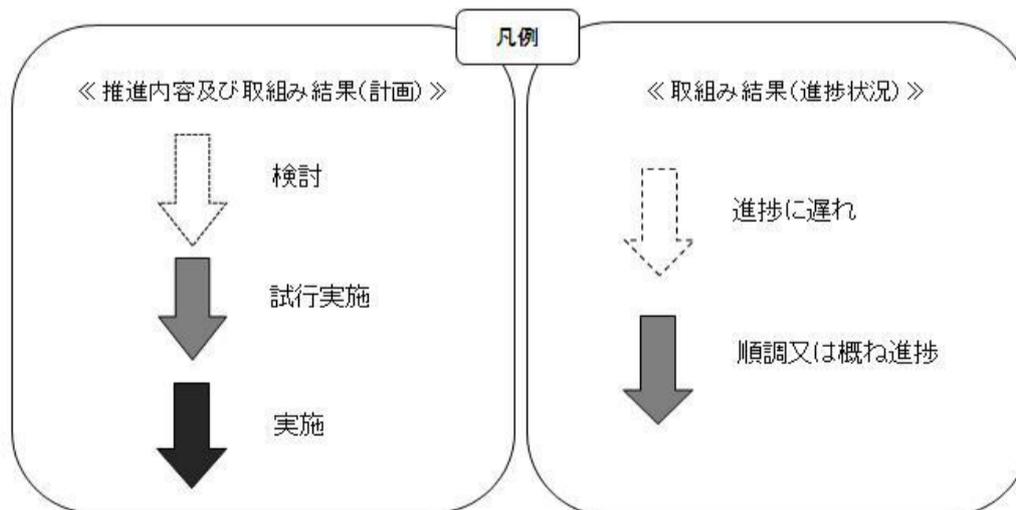
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任 者	企画調整課長 ※指定管理者導 入 施設所管課長
取組事項	②	行政の担うべき役割の重点化		
推進項目	1	アウトソーシングの推進とモニタリングの強化		
推進事項	5	指定管理者制度の新規導入と適切な更新		
取組内容	行政サービスの質の向上とコスト削減を図ることを目的として、新たな施設への指定管理者制度の導入を推進します。また、導入済の施設については適切に更新を進めます。			
年度	推進内容			目標・指標等
23		児童館等について指定管理者制度導入効果を検証したうえで、指定管理者を更新します。	児童館3館等の指定(更新)	
24		新規導入施設について検討を進めます。	検討内容の報告	
25		福生駅西口駐車場、自転車等駐車場、福祉センター、熊川地域・福生地域体育館について指定管理者制度導入効果を検証したうえで、指定管理者を更新します。 市民会館については、福庵等関連施設と一体的な指定管理者の指定を検討し、更新します。 市営競技場他体育施設について指定管理者を導入します。	西口駐車場、自転車等駐車場、福祉センター、地域体育館の指定(更新) 市民会館の指定(拡大) 体育施設の指定(新規)	
26		新規導入施設について検討を進めます。	検討内容の報告	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			児童館等施設については、指定管理者導入後の経過と事業実績を検証したうえで、指定管理者を更新しました。	A
24			福生市営プールについて、平成25年度から指定管理者制度を新規導入することを決定しました。	A
25			福生市営プールについて、指定管理者制度を新規導入しました。	A
26			新規導入について、指定管理者制度導入の有無も含め、多角的に検討しました。熊川地域体育館、福生地域体育館、公民館については、平成26年度より、さらに5年間指定管理者制度を導入しました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任 者	企画調整課長 ※指定管理者導 入 施設所管課長
取組事項	②	行政の担うべき役割の重点化		
推進項目	1	アウトソーシングの推進とモニタリングの強化		
推進事項	6	指定管理者に対するモニタリングの強化		
取組内容	行政サービスの質の更なる向上を目的として、指定管理者制度導入施設におけるモニタリングに関する指針に基づき、モニタリングを実施します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		指定管理者制度導入施設におけるモニタリングに関する指針に基づき、モニタリングを実施します。		結果の公表
24		継続して実施します。		結果の公表
25		継続して実施します。		結果の公表
26		継続して実施します。		結果の公表
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			指定管理者導入施設におけるモニタリングに関する指針について、庁内プロジェクトチームを設置し素案を作成しましたが、完成には至りませんでした。	B
24			指定管理者制度導入施設におけるモニタリング指針を策定して試行実施し、次年度以降での本実施を決定しました。	A
25			各指定管理者制度導入施設においてモニタリングを実施しました。また、指針の一部を修正し公表の準備を整えました。	B
26			指定管理者制度導入施設におけるモニタリングを適切に実施し、指定管理者制度の円滑かつ効果的な運用を定着させました。	A

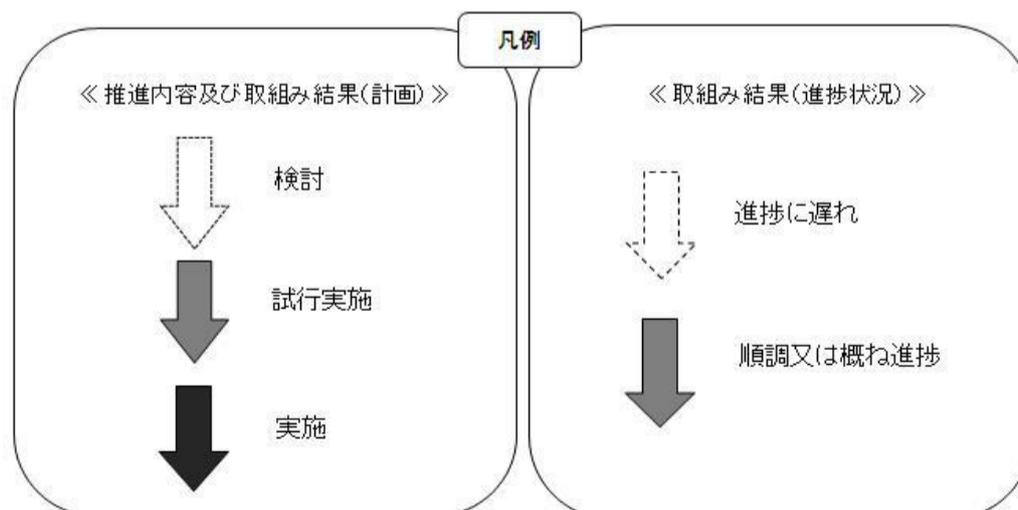
進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



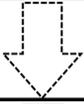
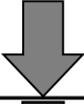
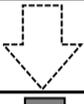
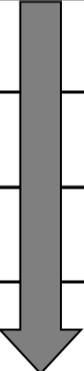
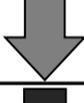
③成果を重視した行政経営の推進

重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	③	成果を重視した行政経営の推進		
推進項目	1	成果を重視した行政経営の推進		
推進事項	1	予算・決算・評価がリンクした行政評価システムの推進		
取組内容	行政評価システムを推進します。評価結果により事務事業の選択と集中、または見直しを図り、実施計画に反映させていきます。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	主要事務事業について評価します。	事務事業評価 40事業実施	
24		主要事務事業について評価します。	事務事業評価 40事業実施	
25		主要事務事業について評価します。	事務事業評価 40事業実施	
26		施策評価を行います。	施策評価の実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23	↓	↓	行政改革推進本部会議において、23年度事務事業評価（全37事業）の評価を実施し、総合評価で、1事業（火葬費等助成金）を「廃止」と評価しました。その後、事業は廃止となりました。	B
24			行政改革推進本部会議において、24年度事務事業評価（全40事業）の評価を実施し、総合評価において1事業（出生記念樹配布事業）を「廃止」と評価しました。その後、事業は廃止となりました。	A
25			行政改革推進本部会議において、25年度事務事業評価（全40事業）を実施し、適切な総合評価を行いました。また、施策評価のための準備として基本事業進捗度評価を行いました。	A
26			施策評価を適切に実施し、評価結果による事務事業の選択と集中、見直しを図り「福生市総合計画（第4期）修正後期基本計画」に反映させました。	A

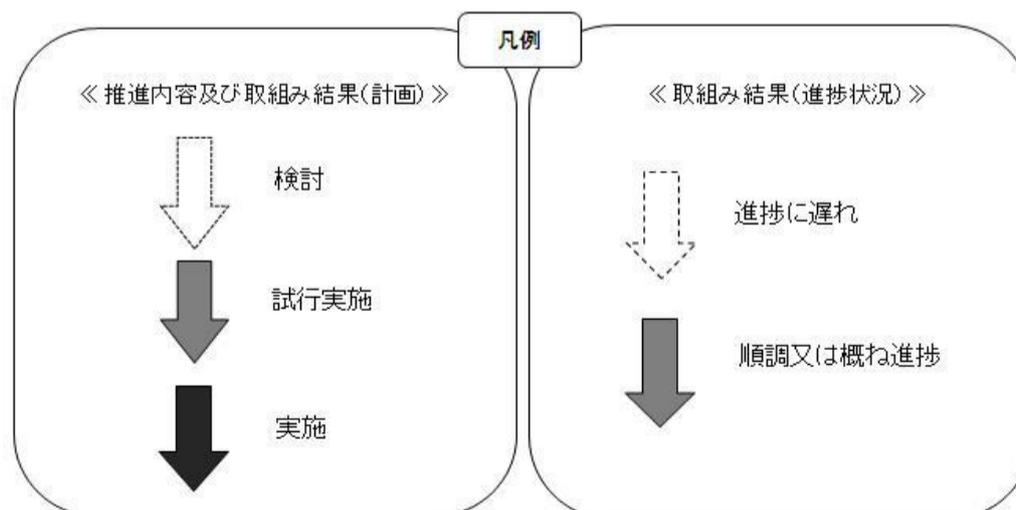
進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



④行政サービスの向上

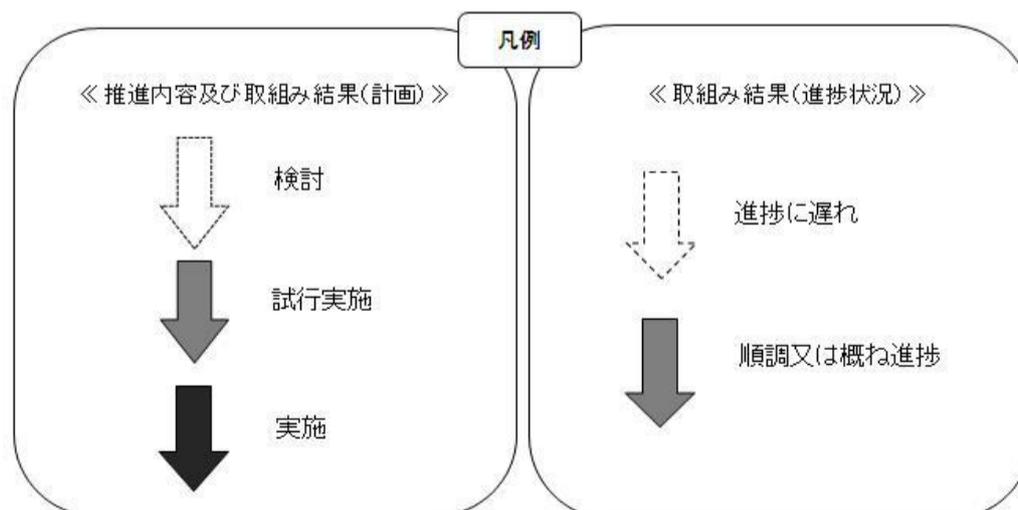
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	契約管財課長
取組事項	④	行政サービスの向上		
推進項目	1	行政サービスの向上		
推進事項	1	総合評価落札方式の導入		
取組内容	工事の品質を確保するため、価格と価格以外の要素を総合的に評価し、落札者を決定する総合評価落札方式の導入を検討します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		総合評価落札方式について検討します。	検討内容の報告	
24		検討結果に基づいて、総合評価落札方式を試行実施します。	試行実施	
25		試行実施結果を踏まえて、総合評価落札方式を実施します。	実施	
26				
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			入札制度全般の中で、市内事業者の育成等を協議し、総合評価落札方式についての導入効果等を検討しました。	B
24			入札制度全般の中で、市内事業者の育成等を協議し、総合評価落札方式についての試行導入効果等を検討しました。	B
25			工事の品質確保を目的として、総合評価落札方式の試行に関する実施要綱を制定しました。	B
26			工事の品質確保を目的として総合評価落札方式の試行に関する実施要綱を制定し、試行実施しました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



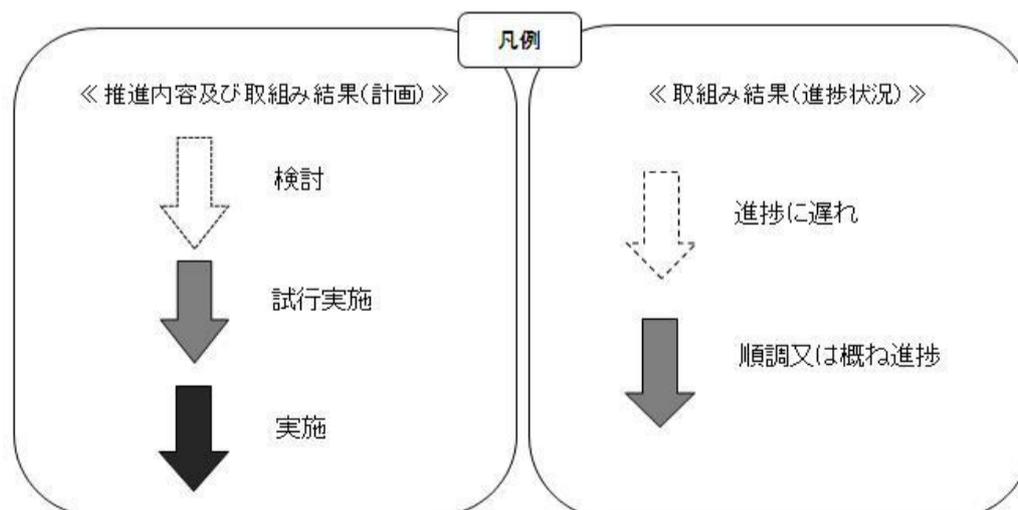
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	総合窓口課長 職員課長 秘書広報課長
取組事項	④	行政サービスの向上		
推進項目	1	行政サービスの向上		
推進事項	2	接遇等市民サービスの向上		
取組内容	市民サービスを向上し、市民から信頼される市役所づくりを進めます。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	職員に対する要望や苦情等を分析し、事例集等を配布するなど、情報を共有することで市民サービスの向上につなげていく仕組みについて検討します。	検討内容の報告	
24				
25	↓	検討内容を踏まえて、実施します。	実施	
26				
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23	↓	↓	総合窓口課では市民との対応を記録し、その対応や改善策をまとめた事例集を作成して情報共有を図るなど、市民サービス向上に向けた取り組みを実施しました。	A
24			市民の苦情や要望等を記録し、その対応や改善策をまとめた事例集を作成して、情報共有を図り、市民サービスの向上につなげる取り組みを実施しました。	A
25			苦情等を文書化し、速やかに関連部署と情報共有を図るなどの対応や、事例集の作成等を実施しました。また、職員に対し接遇研修を実施し、一定の効果をあげました。	A
26			引き続き、苦情や要望等を記録し、速やかに関連部署と情報共有を図るなどの対応や、事例集の作成等を実施しました。また、職員に対し接遇研修を実施し、市民サービスの向上に努めました。	A

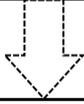
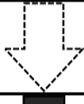
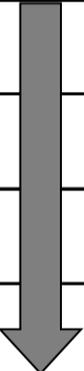
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



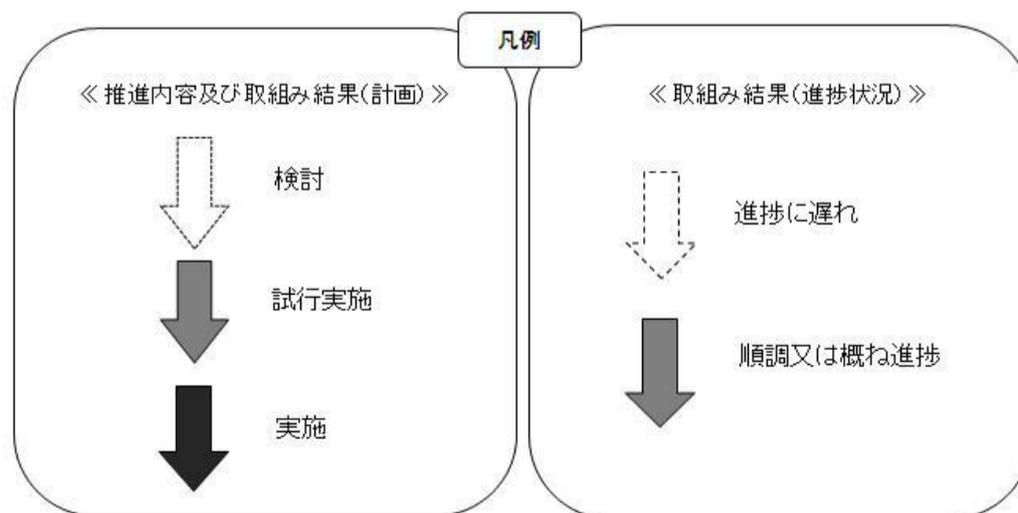
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	④	行政サービスの向上		
推進項目	1	行政サービスの向上		
推進事項	3	時間外開庁の効率的な実施		
取組内容	時間外開庁の実施状況を検証し、開庁部署、開庁時間等について、より効果的、効率的な方法に改善します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		時間外開庁の実施状況を検証し、効果的、効率的な方法を検討します。	検討内容の報告	
24		検討結果を踏まえ、時間外開庁を改善して実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			東日本大震災及び福島原発事故に伴う節電対策として、1階窓口業務を中心に、一部窓口における時間外開庁を行いました。その間実施した受付状況調査の結果を踏まえ、平成24年度からの開庁部署を見直し（1階窓口業務の強化）を行いました。	B
24			時間外開庁の受付状況調査の結果から、利用者数の少ない土曜日の祝日について、平成25年度から試行的に閉庁することとしました。	A
25			利用者数の少ない土曜日の祝日について、平成25年度から試行的に閉庁し、より効率的な運用に努めました。	A
26			信頼される市役所の構築を目指し、開庁時間の延長を実施してきましたが、利用実績及び節電効果等について検討した結果、平成26年4月以降は窓口を限定して実施することとしました。（「福生市時間外開庁の実施に係る事務取扱要綱」を改正）	A

進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	④	行政サービスの向上		
推進項目	1	行政サービスの向上		
推進事項	4	広域的な連携の検討・推進		
取組内容	市民サービスの向上が図られるよう、広域的に連携することが望ましい事業について検討し、推進します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		広域的に連携することが望ましい事業について検討し、検討内容に基づき実施します。	検討及び実施	
24		継続して実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			西多摩広域行政圏協議会において、新たな広域的課題に対応するため、国体分科会及び防災分科会を新設しました。	B
24			西多摩広域行政圏協議会の各分科会において、広域的課題に対応するための検討を行いました。	A
25			西多摩広域行政圏協議会の各分科会において、広域的課題に対応するための検討を行いました。	A
26			西多摩広域行政圏協議会の各分科会において、広域的課題に対応するための検討を行いました。	A

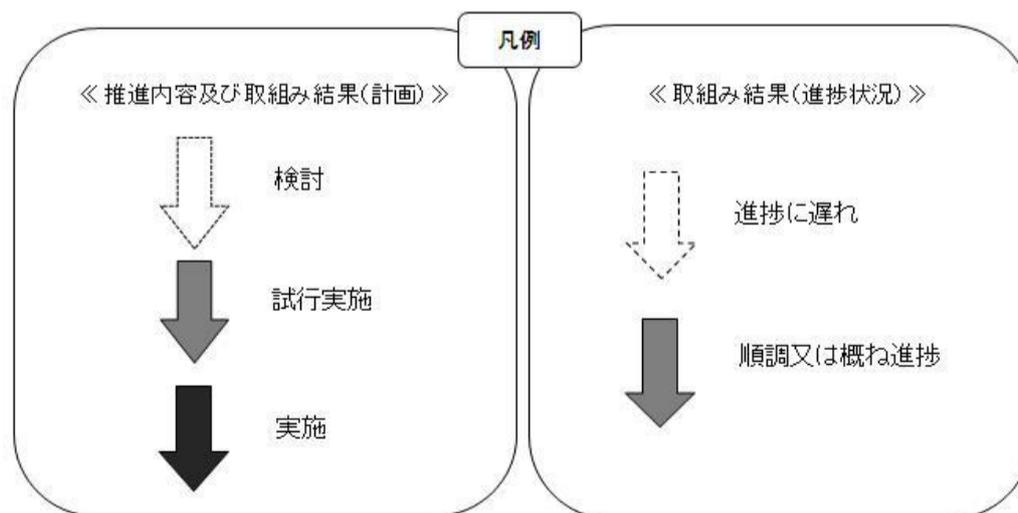
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



⑤ICT化の推進・効率化の検証

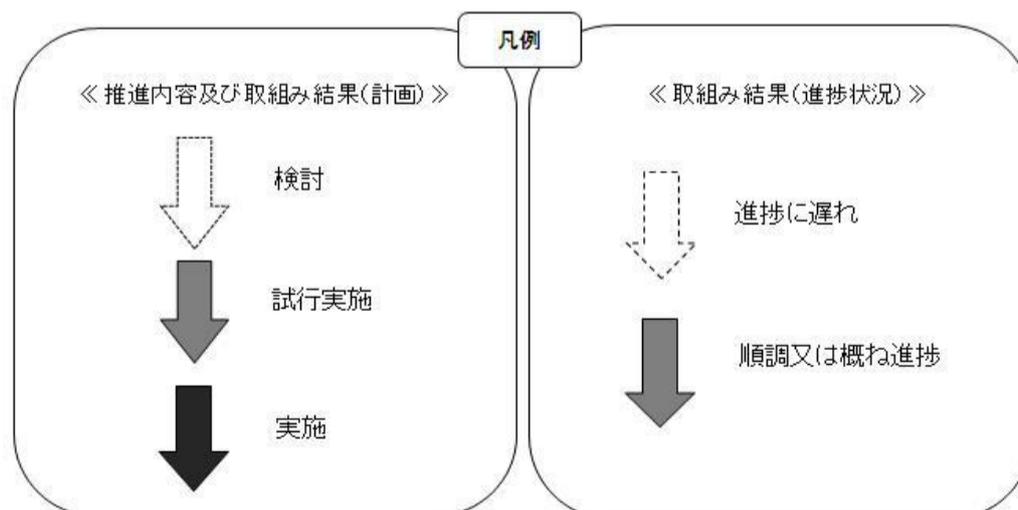
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	総務課長
取組事項	⑤	ICT化の推進・効率化の検証		
推進項目	1	ICT化の推進・効率化の検証		
推進事項	1	電子決裁システムの活用		
取組内容	事務処理の効率化及び事務のペーパーレス化を推進するため、電子決裁システムの具体的な導入を検討し、活用します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		電子決裁を行う範囲、方法など、電子決裁システムの活用方法及び費用対効果について検討します。	検討内容の報告	
24		検討結果に基づいて、電子決裁を試行実施します。	試行実施	
25		試行実施結果を踏まえて、電子決裁を実施します。	実施	
26				
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			福生市で導入した場合、電子決裁システムの導入と運用に係る費用が必要となり、また、他市では導入したものの廃止した市もあることから、費用対効果の面も含めて、さらに検証が必要です。	B
24			公文書管理に関するセミナーに参加し、電子決裁システムの活用についての情報収集を行いました。また、現行の文書管理システムに機能追加する場合は高額なコストを要するため、次期文書管理システムへの切替の中で方向性を検討することとしました。	B
25			現行システムは平成27年1月までの契約ですが、1年間の再リースを予定しています。次期システムの切替時に合わせて方向性を検討していきます。	B
26			他市の導入状況、費用対効果等を検証しましたが、電子決裁システムの導入には、まだ検討が必要です。ただし、平成27年度からのシステム更新に際し、電子決裁システムに対応可能なシステムを採用することを予定しています。	B

進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



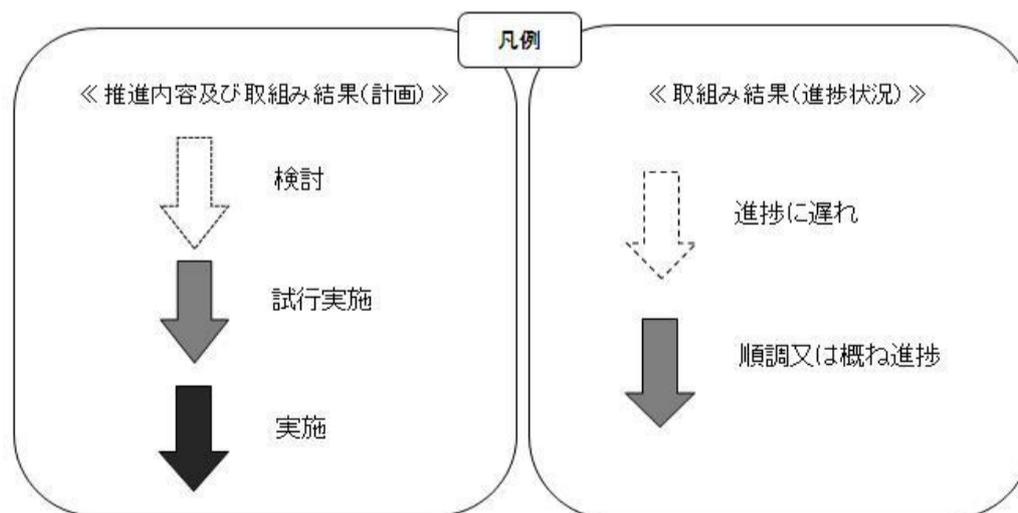
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	情報システム課長
取組事項	⑤	ICT化の推進・効率化の検証		
推進項目	1	ICT化の推進・効率化の検証		
推進事項	2	システムと運用手法の最適化に関する検討		
取組内容	住民サービスの向上と運営経費の抑制をはかるため、最適なシステムと運用手法について検討します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	住民サービスの向上につなげられるよう、様々なシステムの機能や運用形態の中から、利便性が高く、極力低コストで実施できるように、検討を進めます。	検討内容の報告	
24				
25				
26				
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	ICTの技術は、日進月歩であるため、常に最新のICT技術の動向に目を向け、情報収集に努めました。	B
24			(財) 地方自治情報センター主催の春と秋に行われる、自治体フェアへ視察に行ったほか、各ベンダー主催のフェアにも積極的に参加し、最新のIT技術及び新製品の情報収集に努めました。	A
25			(財) 地方自治情報センター主催の春と秋に行われる、自治体フェアへ視察に行くほか、各ベンダ主催のフェアにも積極的に参加し、最新のIT技術及び新製品の情報収集に努めました。	A
26			地方公共団体情報システム機構主催の春と秋に行われる、自治体フェアへ視察に行くほか、各ベンダ主催のフェアにも積極的に参加し、最新のIT技術及び新製品の情報収集に努めました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



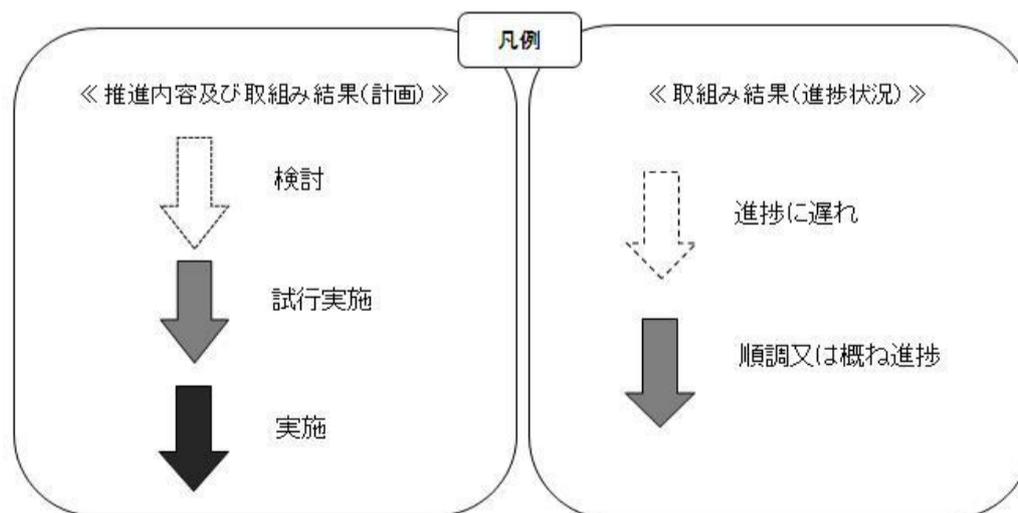
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進責任者	情報システム課長
取組事項	⑤	ICT化の推進・効率化の検証		
推進項目	1	ICT化の推進・効率化の検証		
推進事項	3	庁内情報のICTによる統合化の推進		
取組内容	情報のICT化による集約方法を検討し、有効的な活用方法を検討します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	各部署で進めている情報の電子化について検証、検討し、部署を越えて共有・統合していきます。	検討内容の報告実施	
24		継続して実施します。	検討内容の報告実施	
25		継続して実施します。	検討内容の報告実施	
26		継続して実施します。	検討内容の報告実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	平成22年度に更新した住民情報システム（住民記録、税など）へ福祉系システム（介護、障害福祉、健康管理及び幼稚園就園奨励費システム）の一部を統合し、機器等の有効活用に努めました。	A
24			平成23年度に引き続き、福祉系システム（介護、後期高齢、障害福祉、健康管理及び幼稚園就園奨励費システムなど）8つのシステムを既存住民情報システムへ統合し機器等の有効活用に努めました。	A
25			担当課において、システムの新規導入や更新事業に際しては、計画の段階から関わり最新の技術や機器の統合・共有化が出来るように助言を行いました。	A
26			担当課において、システムの新規導入や更新事業に際しては、計画の段階から関わり最新の技術や機器の統合・共有化が出来るように助言を行いました。	A

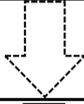
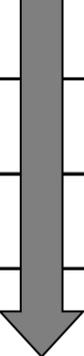
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



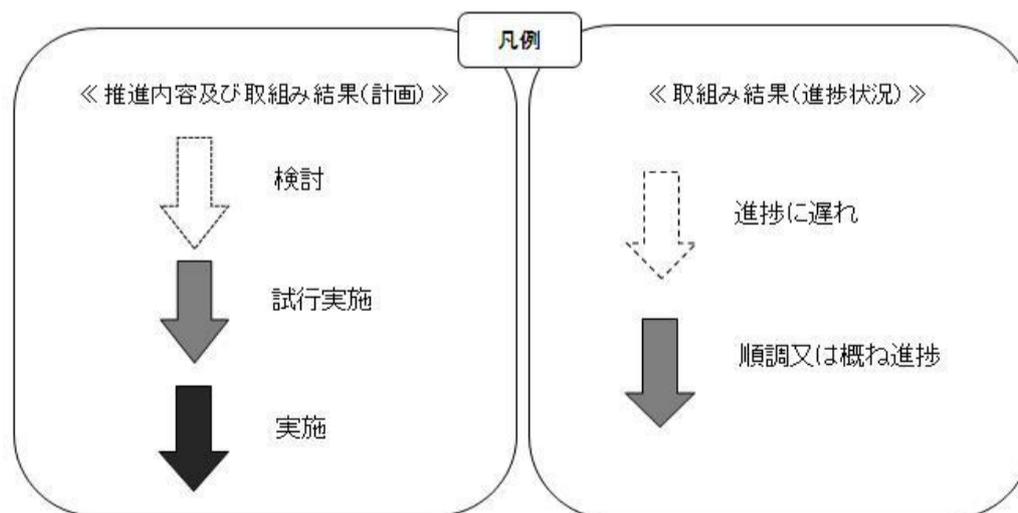
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進責任者	※各担当課長
取組事項	⑤	ICT化の推進・効率化の検証		
推進項目	1	ICT化の推進・効率化の検証		
推進事項	4	ICT化された事務の検証と改善		
取組内容	ICT化された事務について、業務内容の流れや、実施方法等の再点検を実施し、システム更新時に業務が効率的となるよう、システムの最適化を行います。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	ICTを活用した業務について再点検し、業務の効率化の観点から、必要とされる課題を抽出します。システム更新時には、検討した内容を踏まえてシステムの最適化を行います。	実施	
24		継続して実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	各業務システムの更新にあたっては、既存業務のあり方の見直しも併せて実施し、より効率的な業務の改善に取り組みました。	B
24			前年度に引き続き、各業務システムの更新にあたっては、既存業務のあり方の見直しも併せて実施し、より効率的な業務の改善に取り組みました。	B
25			情報システム課にて基盤の整備を実施するなど、各課においてシステムの最適化に取り組み、保守費等の抑制も一部実現できました。	B
26			引き続き各課にてシステムの最適化に取り組みました。情報システム課では、庁内のサーバ類の更新を行い、仮想化技術を活用して借上機器及び保守費の抑制に努めました。	B

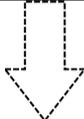
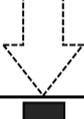
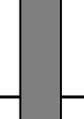
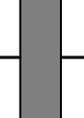
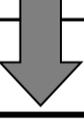
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



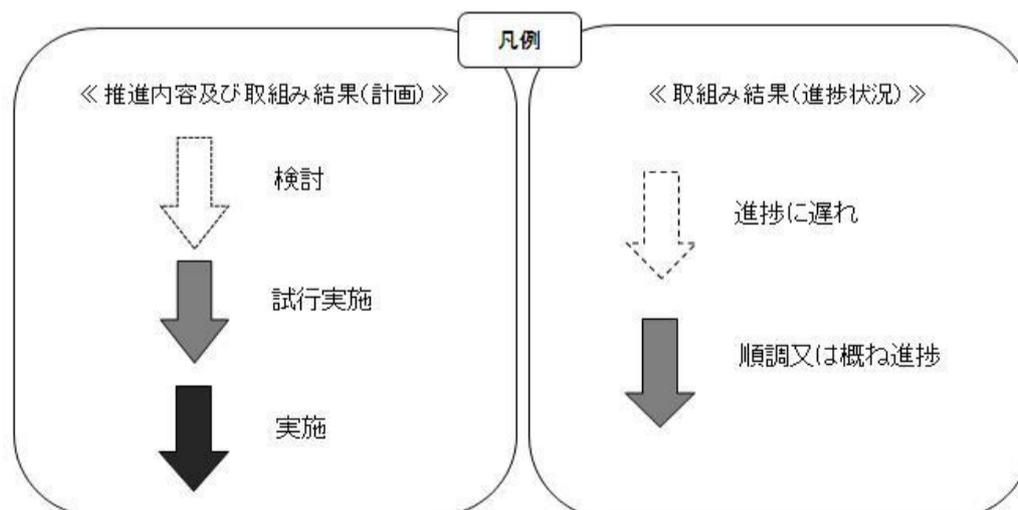
重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	情報システム課長
取組事項	⑤	ICT化の推進・効率化の検証		
推進項目	1	ICT化の推進・効率化の検証		
推進事項	5	情報セキュリティ対策の強化		
取組内容	ICT化された業務における個人情報等の流出を防ぐため、情報セキュリティ対策を強化します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		情報セキュリティポリシー（情報セキュリティ規則及び情報セキュリティ対策基準）の改定を行います。	改定	
24		改定した情報セキュリティポリシーに基づき、情報セキュリティ対策を実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			平成23年度に福生市の情報セキュリティポリシーの改定を行いました。また、職員向けのガイドブックと情報セキュリティ10カ条を作成しました。	A
24			職員を対象としたセキュリティ研修、自己診断及びネットワーク機器のセキュリティ診断を実施しました。	A
25			平成25年度においては、職員を対象としたセキュリティ研修、自己診断及びネットワーク機器のセキュリティ診断を実施しました。また、情報セキュリティの運用状況を見る内部監査を1部署実施しました。	A
26			職員を対象としたセキュリティ研修、自己診断及びネットワーク機器のセキュリティ診断を実施し、送信メールの添付ファイルを自動で暗号化するソフトウェアを導入した。また、情報セキュリティの運用状況を見る内部監査を2部署実施した。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(3)	効果・効率的な事務事業の実施	推進 責任者	※全課長
取組事項	⑤	ICT化の推進・効率化の検証		
推進項目	1	ICT化の推進・効率化の検証		
推進事項	6	職員向け内部資料のペーパーレス化の推進		
取組内容	職員向け内部資料のペーパーレス化を推進します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		会議等での文書ハンドリングソフト（複数・多様な電子文書を一括して表示・管理できるソフト）の導入を検討します。 また、給与明細書や研修通知など、職員向けの書類について、電子化や簡素化を検討します。	改定	
24		検討内容に基づき、ペーパーレス化を推進します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			各部署において課内文書等の電子データによる共有や、必要最低限の印刷を心がけることでペーパーレス化に努めました。会議等は順次電子化を導入していますが、文書ハンドリングソフトの導入の検討までには至りませんでした。	B
24			引き続き、各部署において課内文書等の電子データによる共有や、必要最低限の印刷を心がけることでペーパーレス化に努めました。また、会議等は既存ソフトでの運用とすることで、無駄なコストをかけずに電子化を推進することとしました。	B
25			引き続き、各部署において課内文書等の電子データによる共有や、必要最低限の印刷を心がけることでペーパーレス化に努めました。また、会議等は既存ソフトでの運用とすることで、無駄なコストをかけずに電子化を推進することとしました。	B
26			引き続き、各部署において課内文書等の電子データによる共有や、必要最低限の印刷を心がけることでペーパーレス化に努めました。また、会議等は既存ソフトでの運用とすることで、無駄なコストをかけずに電子化を推進することとしました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)

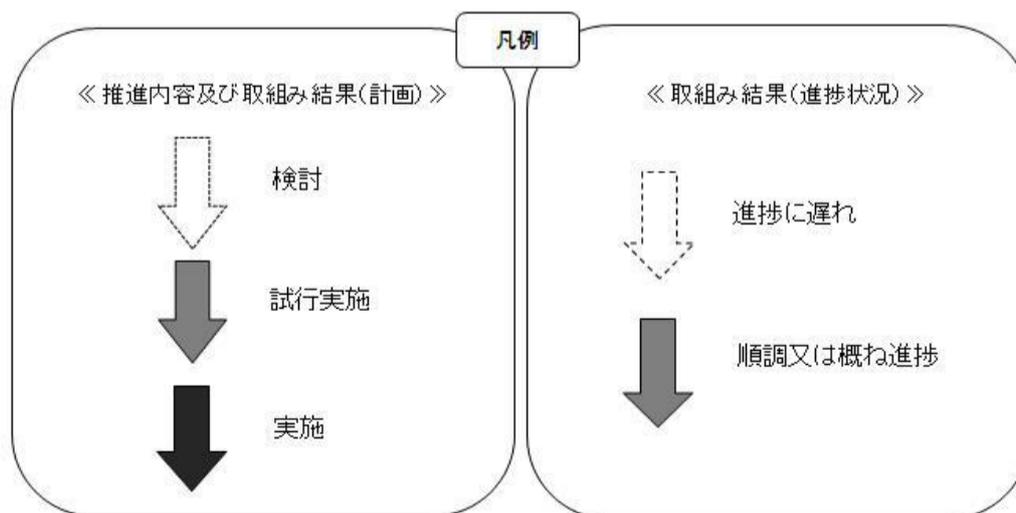


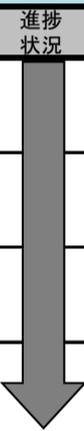
#### (4) 市民とのパートナーシップの確立

##### ①積極的な市政情報の提供

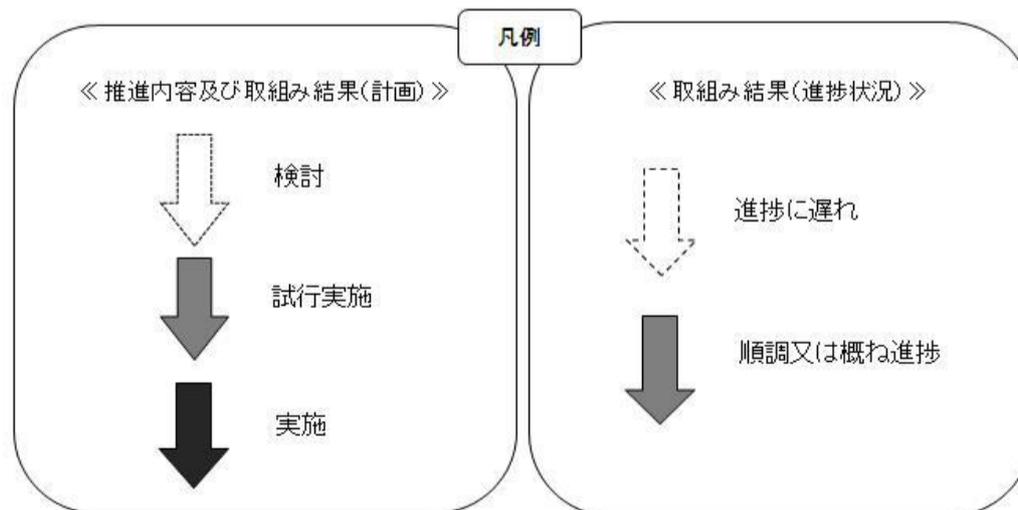
重点項目	(4)	市民とのパートナーシップの確立	推進 責任者	秘書広報課長
取組事項	①	積極的な市政情報の提供		
推進項目	1	効果的な情報提供手法の研究・推進		
推進事項	1	パブリシティの推進		
取組内容	市政や地域に関する情報をマスコミに提供し、マスメディアを通じて報道伝達されるような積極的な広報活動（パブリシティ）を推進します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	パブリシティを推進します。			マスメディアへの発信数
24	継続して実施します。			マスメディアへの発信数
25	継続して実施します。			マスメディアへの発信数
26	継続して実施します。			マスメディアへの発信数
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			プレスリリースの実施のほか、記者会見会場の配置を変え、市の前向きなイメージを印象づけました。また、バックパネルを作成し、写真撮影の背景として、福生市のPR効果を高めました。	A
24			定例記者会見（4回）、プレスリリース（101件）を実施しました。また、行事予定の案内も毎月提供し、TCNの番組である広報ネタの撮影に協力しました。	A
25			定例記者会見(4回)、臨時記者会見(2回)、プレスリリース(96件)を実施しました。また、行事予定の案内も毎月提供し、広報ネタの撮影に協力しました。また、まちネタとして9件の福生市の話題を提供を行いました。	A
26			定例記者会見やプレスリリースを実施し、また、まちの魅力発信事業をとおして広報活動（パブリシティ）を推進しました。また、行事予定の案内も毎月提供し、広報ネタの撮影に協力しました。	A

進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



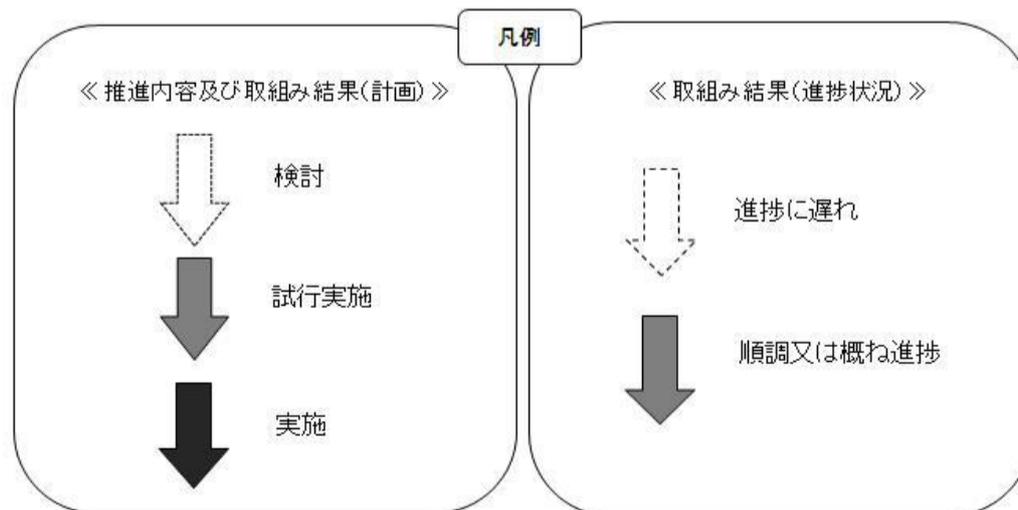
重点項目	(4)	市民とのパートナーシップの確立	推進責任者	生活環境部主幹 (25年度以降は シティセールス推 進課長)
取組事項	①	積極的な市政情報の提供		
推進項目	1	効果的な情報提供手法の研究・推進		
推進事項	2	まちの魅力に関する情報発信		
取組内容	市のイメージブランドを向上させるため、市の魅力を積極的にアピールします。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		まちの魅力をアピールする情報発信について検討し、実施します。	検討内容の報告 実施	
24		継続して実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			官民間問わず福生市に関する情報を掲載した様々なサイトへの入口となるポータルサイトをオープンしました。各サイトを紹介するとともに、福生にまつわる人へのインタビューなども掲載していく予定です。	B
24			市ホームページ内の地域ポータルサイト「fussa style」で情報発信を行いました。又、観光ガイドマップを一新し、新たに「FUSION TOWN FUSSA」を発行しました。	A
25			七夕まつり、落花生祭りなど情報発信に努めました。	B
26			昨年度に引き続き、地域ポータルサイト「FUSSA STYLE」を活用した情報発信をするとともに、たっけー☆☆のFacebookやtwitterなどを積極的に活用することでタイムリーな魅力発信ができるよう努めました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



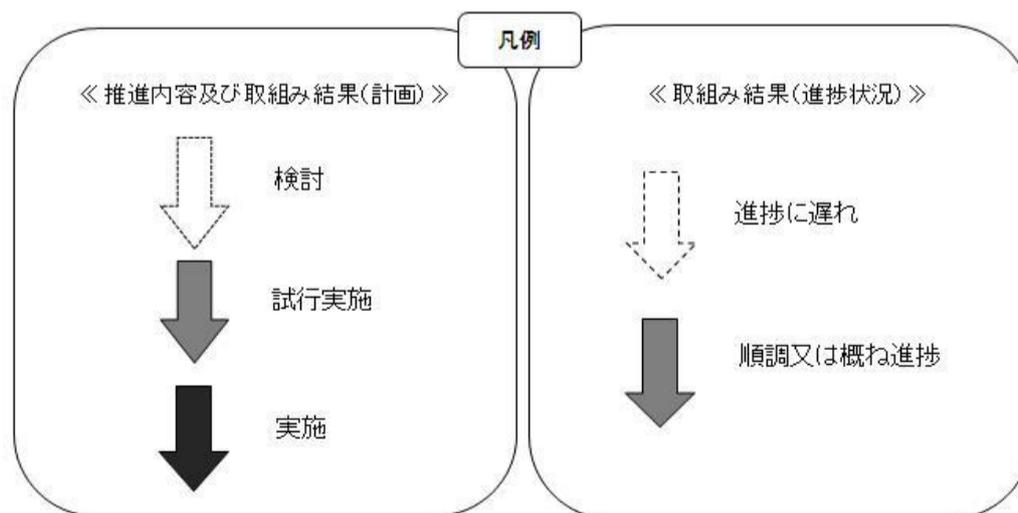
重点項目	(4)	市民とのパートナーシップの確立	推進 責任者	協働推進課長
取組事項	①	積極的な市政情報の提供		
推進項目	1	効果的な情報提供手法の研究・推進		
推進事項	3	市政出前講座の推進		
取組内容	市民との情報の共有を推進するため、市職員を講師として派遣する市政出前講座を実施し、行政情報の提供の充実を図ります。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	市民との情報の共有を図るため、講座内容の充実を図り、市政出前講座を実施します。	30回以上実施	
24		継続して実施します。	30回以上実施	
25		継続して実施します。	30回以上実施	
26		継続して実施します。	30回以上実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	市民との情報の共有を図るため、41回の市政出前講座を実施しました。	A
24			市民との情報の共有を図るため、25回の市政出前講座を実施しました。	B
25			市民との情報の共有を図るため、36回の市政出前講座を実施しました。	A
26			市民との情報の共有を図るため、30回の市政出前講座を実施した。	A

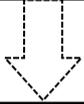
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



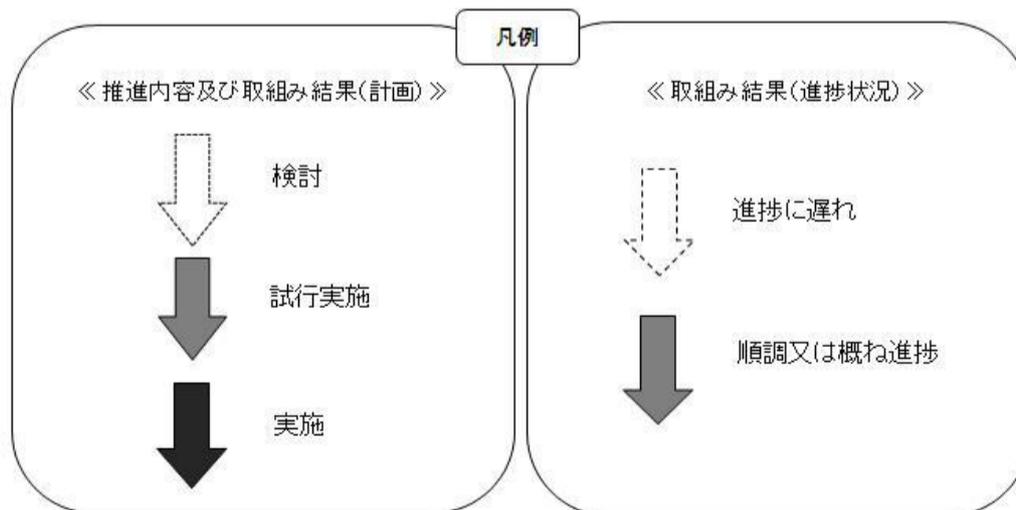
重点項目	(4)	市民とのパートナーシップの確立	推進 責任者	秘書広報課長
取組事項	①	積極的な市政情報の提供		
推進項目	1	効果的な情報提供手法の研究・推進		
推進事項	4	ホームページのリニューアル		
取組内容	探したい情報により早く、より簡単にたどり着け、市に興味を持てるようなホームページにリニューアルします。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	トップページ、全体の構成の一新や、検索機能の強化など、ホームページをリニューアルします。	実施	
24				
25				
26				
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23	↓	↓	ホームページのトップページ、全体の構成の一新や、検索機能の強化など、リニューアルを実施しました。また、携帯電話版ホームページの開設を行いました。	A
24				
25				
26				

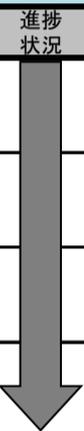
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



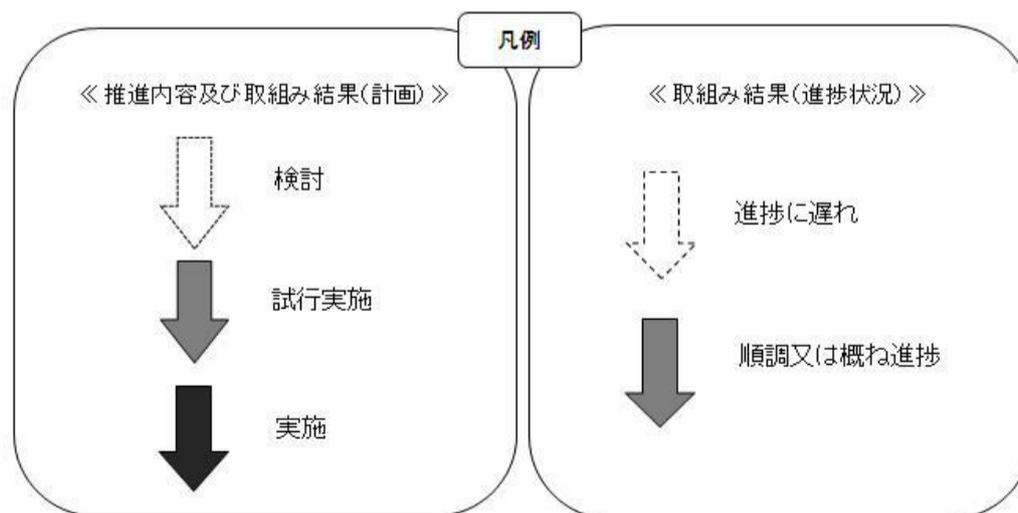
重点項目	(4)	市民とのパートナーシップの確立	推進責任者	企画調整課長 ※各担当課長
取組事項	①	積極的な市政情報の提供		
推進項目	2	パブリックコメントの推進		
推進事項	1	パブリックコメントの推進		
取組内容	各計画の策定や、市民等に影響する条例の制定・改廃等の際に行うパブリックコメントに、多くの意見の応募と反映がなされるよう手続を見直します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		現状のパブリックコメント制度の課題を抽出し、メール登録者へのお知らせや予告制度など、より多くの方の意見が反映される方法について検討します。	検討内容の報告	
24		検討内容に基づき、実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			市ホームページのリニューアルに伴い、パブリックコメントの専用ページを開設し、制度の概略や募集中案件、終了案件等を分かりやすく掲載しました。	B
24			より広く周知できるよう可能な限りのチャンネルを利用してパブリックコメントを実施し、市民への情報提供と意見集約を行いました。	A
25			福生市地域防災計画、福生市都市マスタープラン、福生市緑の基本計画、福生市住宅マスタープラン、福生市立図書館基本計画についてパブリックコメントを実施しました。	A
26			福生市総合計画（第4期）修正後期基本計画、第6次福生市行政改革大綱、福生市介護保険事業計画（第6期）及び福生市障害者計画・第4期福祉計画、福生市子ども・子育て支援事業計画についてパブリックコメントを実施しました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



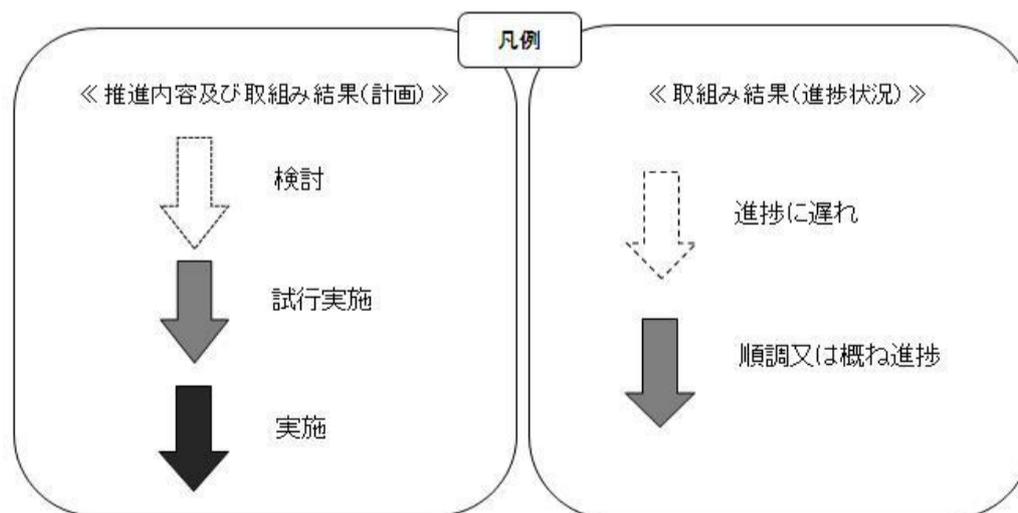
重点項目	(4)	市民とのパートナーシップの確立	推進 責任者	※全課長
取組事項	①	積極的な市政情報の提供		
推進項目	3	情報公開の推進		
推進事項	1	情報公開の推進		
取組内容	審議会等の会議内容を積極的に公開します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		審議会等の会議内容を積極的に公開します。		実施
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			各審議会等の傍聴のお知らせや会議録等の内容について、市ホームページなどで公開し、会議内容が非公開とされている審議会等については、制度の運用状況等の公開を実施しました。	B
24			公開可能な会議の議事録や傍聴可能な審議会等の情報提供を積極的に実施するとともに、各所管部署において提供可能な情報を極力増やすよう努めました。	B
25			国民健康保険運営協議会の傍聴や社会教育委員の会議の情報公開開始等、各所管部署にて会議等の積極的な情報公開を行っています。	B
26			各課において引き続き公開可能な会議の議事録や傍聴可能な審議会等の情報提供を積極的に実施しました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(4)	市民とのパートナーシップの確立	推進 責任者	企画調整課長
取組事項	①	積極的な市政情報の提供		
推進項目	4	自治基本条例制定の検討		
推進事項	1	自治基本条例制定の検討		
取組内容	市民参加、協働のルールである自治基本条例の制定に向けて検討を進めます。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	市民参加、協働のルールである自治基本条例作りに向け、市民フォーラムの開催や、市民研究会との連携等、市民とともに作り上げる体制を構築し、市民意識の高揚を図りながら、自治基本条例の検討を進めます。	検討内容の報告	
24				
25				
26	↓	市民意識の状況を踏まえ、自治基本条例の制度化に向けた検討を行います。	制度化	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	自治基本条例に関する先進事例などの情報収集に努めました。具体的な検討には至りませんでした。	C
24	↓	↓	自治基本条例に関する先進事例などの情報収集に努め、制定した場合の影響や効果などを多角的に検討しました。	B
25	↓	↓	自治基本条例に関する先進事例や法的な解釈等、多角的に検証し、今後の方向性について検討しました。	B
26	↓	↓	自治基本条例について多角的に検討した結果、制度化には至りませんでした。	B

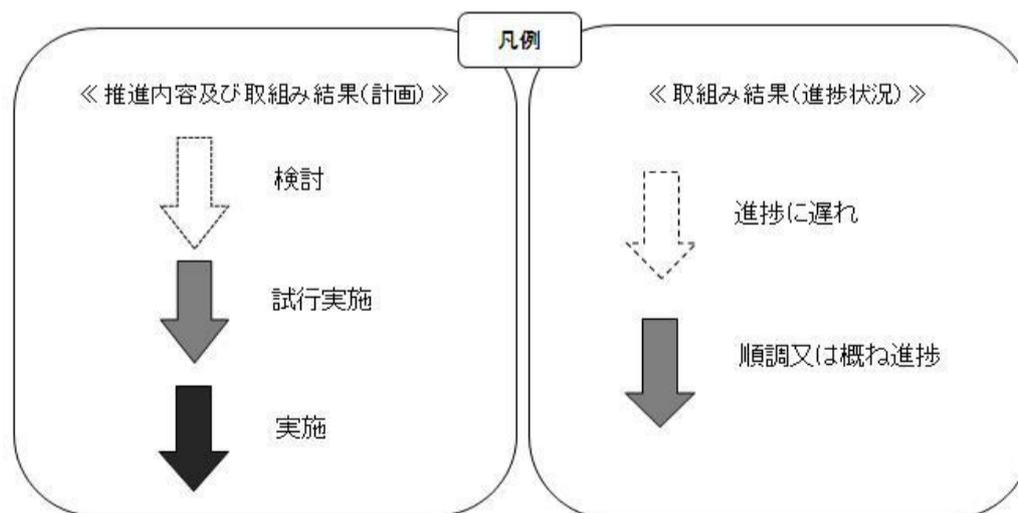
進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)

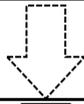
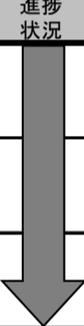


②市民意識の把握

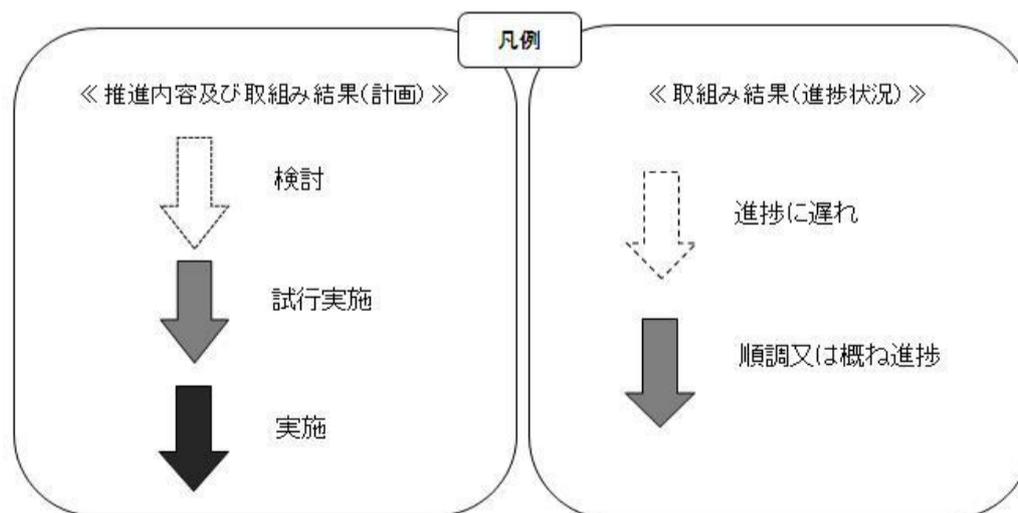
重点項目	(4)	市民とのパートナーシップの確立	推進 責任者	秘書広報課長
取組事項	②	市民意識の把握		
推進項目	1	市民意識の把握		
推進事項	1	タウンミーティングの実施		
取組内容	市民の市政に対する関心を更に高めるため、市民と市長とのタウンミーティングの実施を検討します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	タウンミーティングの実施方法について検討します。	検討内容の報告	
24	↓	検討内容に基づき、タウンミーティングを実施します。	実施	
25	↓	継続して実施します。	実施	
26	↓	継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23	↓	↓	他市の状況調査を行い、検討を進めました。	A
24	↓	↓	町会・自治会等の集会や地元説明会へ出席し、市民の声に耳を傾け、市政についての理解をいただく取組みを実施しました。	A
25	↓	↓	町会・自治会等の集会（8回）やミニ集会（13回）への出席など、市民の声に耳を傾け、市政についての理解をいただく取組みを実施しました。	A
26	↓	↓	町会・自治会等の集会など、市民の声に耳を傾け、市政についての理解をいただく取組みを実施しました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(4)	市民とのパートナーシップの確立	推進責任者	企画調整課長 秘書広報課長
取組事項	②	市民意識の把握		
推進項目	1	市民意識の把握		
推進事項	2	市民意識の的確な把握		
取組内容	市民ニーズに即した行政経営を推進するため、市民意識を的確に把握する方策を検討して実施します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		市政モニター（無作為抽出又は公募）や市民満足度調査など、市民意識を的確に把握する方策について検討します。	検討内容の報告	
24		検討内容に基づき、実施します。実施結果は後期総合計画等、各計画に反映します。	実施	
25				
26				
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			新しい調査項目の検討など、市民意識を的確に把握する調査実施に向けての準備を行いました。	B
24			7月に市政世論調査を実施し、11月に報告書を作成しました。その後、調査結果の有効活用を図るため、各課へ報告書の評価・分析、今後の課題などを調査しました。	A
25			24年度実施の世論調査結果をどのように次年度施策に生かしているかといった各課への追跡調査等（検証編と分析編）を行い、庁内に公開しました。また、修正後期基本計画基礎調査において、施策の満足度等の意識調査を行いました。	A
26				

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)

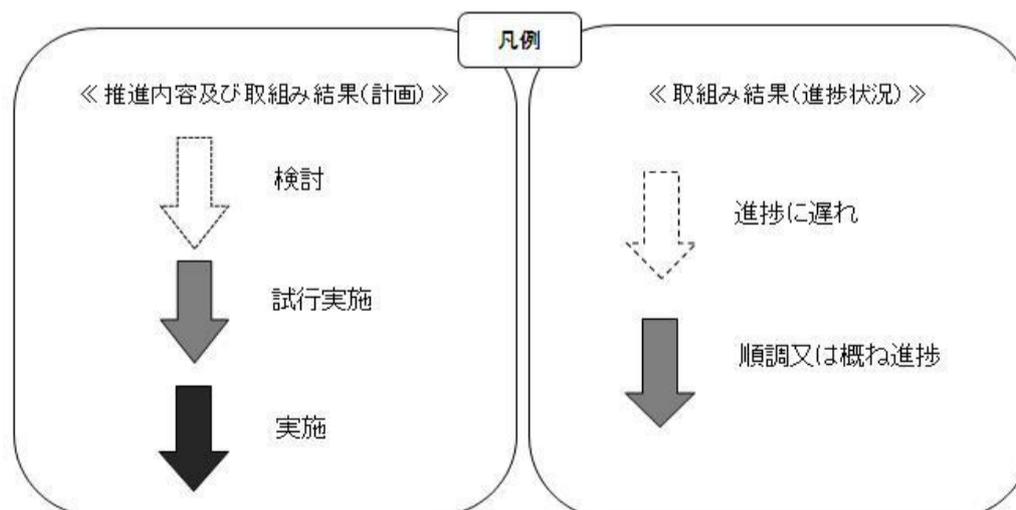


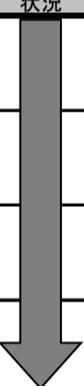
## (5) 地方自治を担う職員の育成と活用

### ① 人材育成の推進

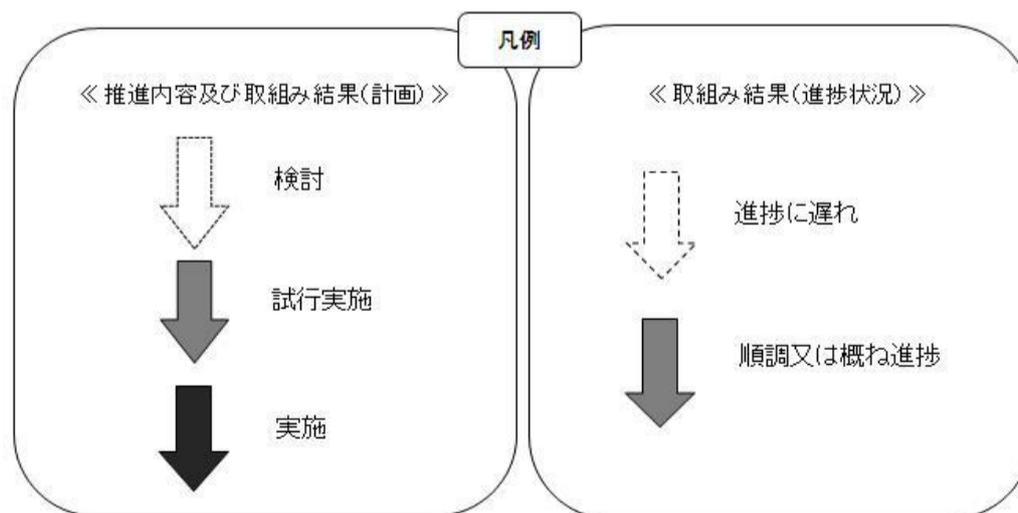
重点項目	(5)	地方自治を担う職員の育成と活用	推進 責任者	職員課長
取組事項	①	人材育成の推進		
推進項目	1	人材育成推進計画の策定・推進		
推進事項	1	人材育成推進計画の策定・推進		
取組内容	人材育成基本計画を着実に進めるため、人材育成推進計画を策定し、各項目を推進します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		人材育成推進計画を策定し、各項目を推進します。		人材育成推進計画の策定 各項目の実施
24		継続して実施します。		各項目の実施
25		継続して実施します。		各項目の実施
26		継続して実施します。		各項目の実施
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			平成23年7月に人材育成推進計画を策定し、「福生市人材育成基本計画」に登載された各事業について、より具体的な推進事項と推進責任者を定め、各項目の推進を図りました。	A
24			人材育成推進計画の各項目の推進を図るとともに、平成23年度の取組状況を取りまとめ、市ホームページで公開しました。	B
25			人材育成推進計画の各項目の推進を図るとともに、平成24年度の取組状況を取りまとめました。	B
26			人材育成推進計画の各項目の推進を図るとともに、これまでの取組みを見直し、平成27年度から実施する人材育成基本計画を作成しました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



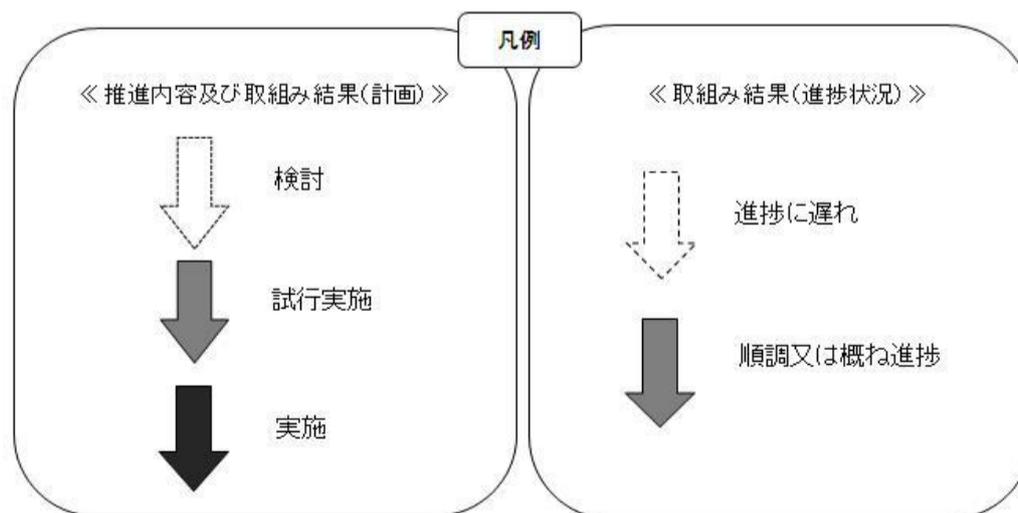
重点項目	(5)	地方自治を担う職員の育成と活用	推進 責任者	職員課長
取組事項	①	人材育成の推進		
推進項目	1	人材育成推進計画の策定・推進		
推進事項	2	人事考課制度の充実		
取組内容	職員1人ひとりの資質の向上と組織の活性化を促進し、併せて人材育成や能力開発につなげられるよう、人事考課制度の充実を図ります。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		人事考課制度の充実を図ります。		実施
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			人材育成に繋がる面談技法やコーチングを主眼においた人事考課研修を実施し、制度の充実を図りました。	A
24			人材育成に繋がる面談技法や部下指導（OJT）を主眼においた人事考課研修を実施し、制度の充実を図りました。	A
25			人材育成に繋がる面談技法や部下指導（OJT）を主眼においた人事考課研修を実施し、制度の充実を図りました。	A
26			人材育成に繋がる面談技法や部下指導（OJT）を主眼においた人事考課研修を実施し、制度の充実を図りました。	A

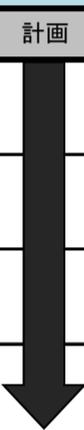
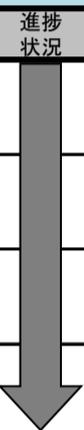
進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



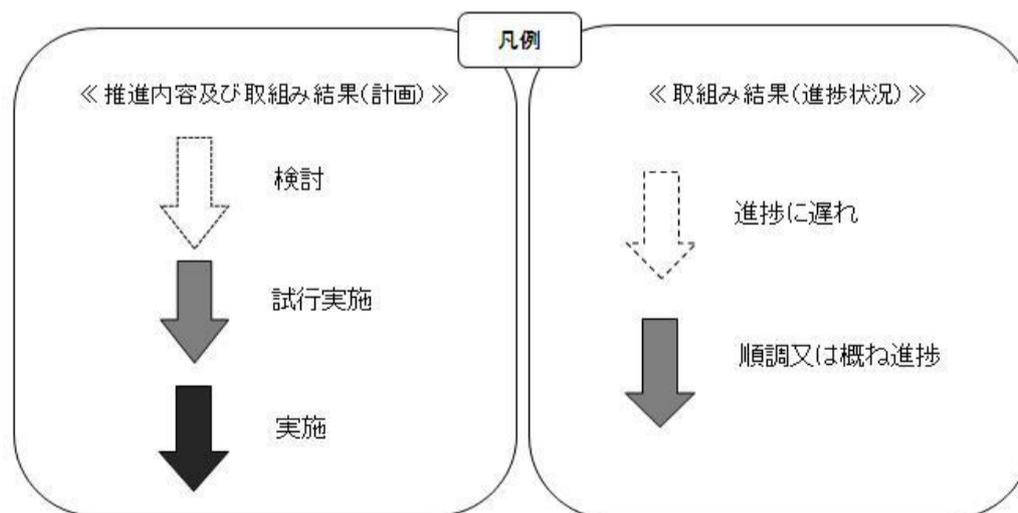
重点項目	(5)	地方自治を担う職員の育成と活用	推進 責任者	職員課長
取組事項	①	人材育成の推進		
推進項目	1	人材育成推進計画の策定・推進		
推進事項	3	知識・技術の確実な継承		
取組内容	職員の大量退職期を迎えることから、知識・技術の確実な継承という観点からの人材育成を行います。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		専門職研修への派遣、高度な技術・貴重な経験を有する職員による研修、事務処理マニュアルの共有化などにより、知識・技術の確実な継承を図ります。		実施
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			都市建設部門において、専門的な研修機関に職員1名を派遣するとともに、東京都市町村職員研修所の実務研修や技術職向けのスポット研修に職員を派遣し、知識習得と能力の向上を図りました。	A
24			都市建設部門において、専門的な研修機関に職員1名を派遣するとともに、東京都市町村職員研修所の実務研修や技術職向けのスポット研修に職員を派遣し、知識習得と能力の向上を図りました。	A
25			都市建設部門において、専門的な研修機関に職員1名を派遣するとともに、東京都市町村職員研修所の実務研修や技術職向けのスポット研修に職員を派遣し、知識習得と能力の向上を図りました。	A
26			都市建設部門において、専門的な研修機関に職員1名を派遣するとともに、東京都市町村職員研修所の実務研修や技術職向けのスポット研修に職員を派遣し、知識習得と能力の向上を図りました。	A

進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



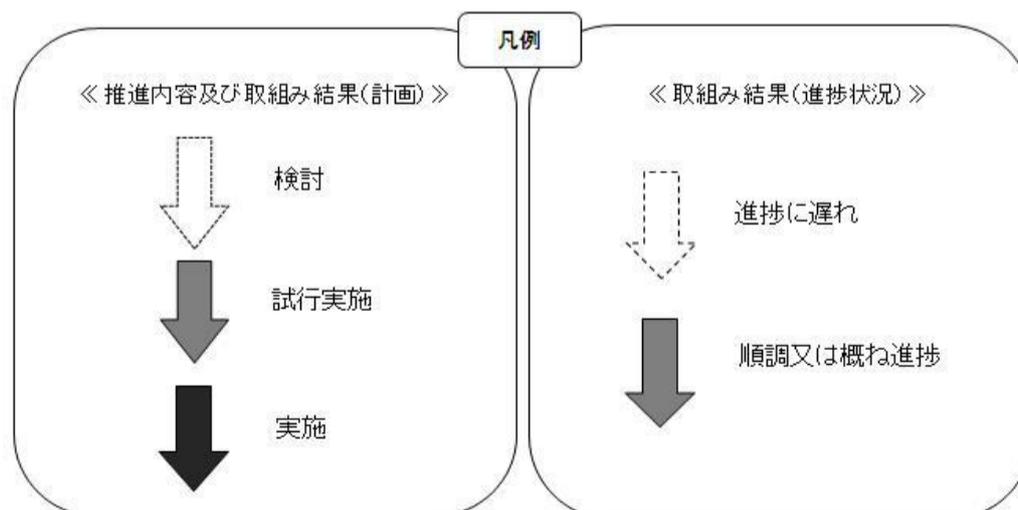
重点項目	(5)	地方自治を担う職員の育成と活用	推進 責任者	職員課長
取組事項	①	人材育成の推進		
推進項目	1	人材育成推進計画の策定・推進		
推進事項	4	職場内研修(OJT)の充実		
取組内容	人事考課研修、OJT研修を活用して、OJTによる人材育成を推進します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		人事考課研修、OJT研修を活用して、OJTによる人材育成を推進します。		実施
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			人事考課評価者研修、係長職OJT研修、チューター（新任職員育成担当者）対象のOJT研修を実施して、各職場のOJTによる人材育成を支援しました。	A
24			人事考課評価者研修、係長職研修、チューター（新任職員育成担当者）対象のOJT研修を実施して、各職場のOJTによる人材育成を支援しました。また、早期に庁内での政策形成の場に立ち会わせ、意識付けを図るよう管理職員に働きかけました。	A
25			人事考課評価者研修、係長職研修、チューター（新任職員育成担当者）対象のOJT研修を実施して、各職場のOJTによる人材育成を支援しました。また、早期に庁内での政策形成の場に立ち会わせ、意識付けを図るよう管理職員に働きかけました。	A
26			人事考課評価者研修、係長職研修、チューター（新任職員育成担当者）対象のOJT研修を実施して、各職場のOJTによる人材育成を支援しました。また、早期に庁内での政策形成の場に立ち会わせ、意識付けを図るよう管理職員に働きかけました。	A

進捗評価 A:順調に進んでいる(100%) B:概ね進んでいる(100%未満50%以上) C:遅れが見られる(50%未満)



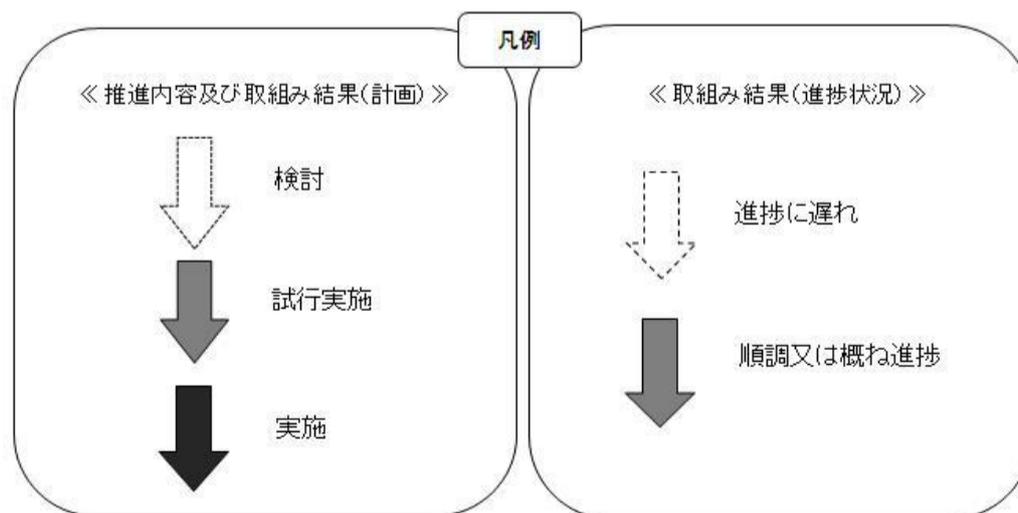
重点項目	(5)	地方自治を担う職員の育成と活用	推進 責任者	職員課長
取組事項	①	人材育成の推進		
推進項目	1	人材育成推進計画の策定・推進		
推進事項	5	職場外研修の充実		
取組内容	職員の視野を広げ、効率的な事務事業や多様な取組を行うことができるよう、職場外研修（組織内研修、派遣研修）を充実します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	職員の視野を広げ、効率的な事務事業や多様な取組を行うことができるよう、職場外研修（組織内研修、派遣研修）を充実します。		実施
24		継続して実施します。		実施
25		継続して実施します。		実施
26		継続して実施します。		実施
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23	↓	↓	職員の視野を広げ、多角的に能力を向上できるよう、職場外研修（組織内研修、派遣研修）の充実を図りました。（述べ受講者数：組織内研修者2,038名、専門研修8名、派遣研修277名）	A
24			職員の視野を広げ、多角的に能力を向上できるよう、職場外研修（組織内研修、派遣研修）の充実を図りました。（述べ受講者数：組織内研修2,121名、専門研修8名、派遣研修269名）	A
25			職員の視野を広げ、多角的に能力を向上できるよう、職場外研修（組織内研修、派遣研修）の充実を図りました。（述べ受講者数：組織内研修2,139名、専門研修10名、派遣研修264名）	A
26			職員の視野を広げ、多角的に能力を向上できるよう、職場外研修（組織内研修、派遣研修）の充実を図りました。（述べ受講者数：組織内研修2427名、専門研修16名、派遣研修252名）	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



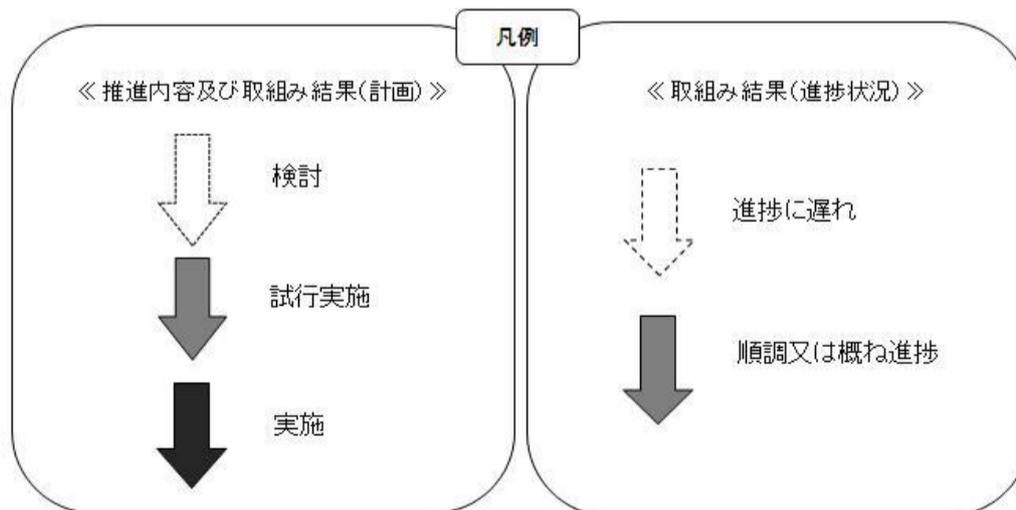
重点項目	(5)	地方自治を担う職員の育成と活用	推進 責任者	職員課長
取組事項	①	人材育成の推進		
推進項目	1	人材育成推進計画の策定・推進		
推進事項	6	職員の地域活動等への参加促進		
取組内容	職員が地域の課題や市民意識を正しく認識するため、地域活動への参加等、積極的な庁外の活動を促進します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		協働型自治社会を担う職員の育成に向け、地域の課題や市民意識を把握できるよう、地域活動への参加等、庁外の活動を促進する仕組みについて検討します。	実施	
24		検討内容を踏まえて、実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23			地域活動への参加促進を図るため、情報提供を行いました。参加を促進する仕組みについての具体的な方策の検討には至りませんでした。	B
24			新任職員対象の協働研修を、初めての試みとして、市民の協力を得て協働事業の企画を考案するワークショップ形式で行いました	A
25			新任職員に対し市民協働の基礎知識を習得させるため、職員対象の協働研修を受講させました。また、新任職員対象のシティセールス研修では市公式キャラクターを活用したPR活動を通じ、市民や市民活動団体との交流を体験する機会を設けました。	A
26			新任職員に対し市民協働の基礎知識を習得させるため、職員対象の協働研修を受講させました。また、新任職員対象のシティセールス研修では市公式キャラクターを活用したPR活動を通じ、市民や市民活動団体との交流を体験する機会を設けました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(5)	地方自治を担う職員の育成と活用	推進 責任者	職員課長
取組事項	①	人材育成の推進		
推進項目	1	人材育成推進計画の策定・推進		
推進事項	7	自己啓発支援制度の検討		
取組内容	職員の主体的な自己啓発活動を支援するための制度について検討します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23	↓	職員自己啓発活動を活性化するため、資格取得などキャリアアップを支援する仕組みや自己啓発支援休業制度など、職員の主体的な自己啓発活動を支援する制度について検討します。	検討内容の報告	
24				
25	↓	検討内容を踏まえて、実施します。	実施	
26				
取組み結果				
年度	計画	進捗状況	実施内容	進捗評価
23	↓	↓	職員の自己啓発活動を活発化するため、各種研修の案内や情報誌の関連部署への回覧などを行いました。	B
24			職員の意欲的な国際貢献活動や大学等課程の履修など、幅広い分野での挑戦を支援するため福生市職員の自己啓発等休業に関する条例を制定しました。(平成24年10月1日施行)	A
25			制度を活用する職員を支援しました。	A
26			職員が公務遂行上有益な知識、技術を自発的に習得するため、資格、免許等を取得した場合に経費の一部を助成する「福生市職員自己啓発活動助成制度」を構築し、職員の主体的な自己啓発活動を支援しました。	A

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)



重点項目	(5)	地方自治を担う職員の育成と活用	推進 責任者	職員課長
取組事項	①	人材育成の推進		
推進項目	1	人材育成推進計画の策定・推進		
推進事項	8	職員のジョブローテーションの確立		
取組内容	職員の能力開発や適正配置に活用する観点から、職員のジョブローテーションの在り方について検討し、効果的なモデルを確立します。			
年度	推進内容			目標,指標等
23		若手職員のジョブローテーションの在り方について検討し、モデルを設定します。	検討内容の報告 モデルの設定	
24		検討内容を踏まえて、実施します。	実施	
25		継続して実施します。	実施	
26		継続して実施します。	実施	
取組み結果				
年度	計画	進捗 状況	実施内容	進捗 評価
23			人事異動に関しては、採用後10年間で異なる職種の職場3箇所を経験できるよう配慮して実施しました。ジョブローテーションのあり方、モデル化については引き続き検討します。	B
24			人事異動に関しては、採用後10年間で異なる職種の職場3箇所を経験できるよう配慮して実施しました。ジョブローテーションのあり方、モデル化については、引き続き検討することとしました。	B
25			人事異動に関しては、採用後10年間で異なる職種の職場3箇所を経験できるよう配慮して実施しました。ジョブローテーションのあり方、モデル化については、引き続き検討することとしました。	B
26			人事異動に関しては、採用後10年間で異なる職種の職場3箇所を経験できるよう配慮して実施しました。ジョブローテーションのあり方、モデル化については、引き続き検討することとしました。	B

進捗評価 A: 順調に進んでいる(100%) B: 概ね進んでいる(100%未満50%以上) C: 遅れが見られる(50%未満)

